

鳥取県の政策に関する県民意識調査
結果報告書
(令和2年7月調査)

令和2年11月



目 次

	ページ
【 調査の概要 】	
1 調査の目的.....	1
2 調査の概要.....	1
3 資料のみかた.....	1
4 回収状況と信頼区間	2
5 回答者の情報	3
【 結果の概要 】	
結果の概要.....	6
【 調査結果 】	
I 鳥取県の住みやすさについて	9
問 1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか	9
問 2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください.....	11
問 3 あなたは鳥取県内の暮らしについてどう思われますか	13
問 4 鳥取県に暮らしていて、あなたは今の程度「幸せ」ですか	15
問 5 あなたの「幸福度」を判断する時に、あなたが重視することはなんですか	17
II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について	19
1 豊かな自然環境でのびのび鳥取らしく生きる	19
問 6-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度	19
問 6-1-2 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度	23
2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む.....	25
問 6-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度	25
問 6-2-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度	28
3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ.....	30
問 6-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度.....	30
問 6-3-2 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度.....	34
4 男女共同参画社会づくり.....	36
問 7 ワーク・ライフ・バランス、男女共同参画社会の言葉をご存じですか	36
問 8 男女に関する役割についてどう思いますか.....	39
問 9 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと 思いますか.....	40
問 10 男女ともにワーク・ライフ・バランス実践を促す労働環境をつくるために、行政が行うべき施策は 何だと思いませんか	42
問 11 介護と仕事を両立するために、行政が行うべき施策は何だと思いませんか	44

問 12	男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思えますか	46
------	--	----

Ⅲ	重点施策への関心・認識	48
----------	--------------------------	----

問 13	あなたは国連で採択された SDGs という言葉・内容を聞いたことがありますか	48
------	--	----

問 14	(「聞いたことがある」と回答した方へ)SDGs という言葉・内容をどうやって知りましたか.....	50
------	---	----

問 15	あなたは SDGs の 17 のゴール(8つの優先課題)のうち、どの課題に関心がありますか.....	52
------	--	----

【自由記載】	(問5、問9、問10、問11、問12、問14、問16の回答含む自由記載)	54
---------------	---	----

【資料】

調査票	62
-----------	----

集計結果.....	72
-----------	----

【 調 査 の 概 要 】

1 調査の目的

鳥取県には、都会にはない「豊かな自然」や「人と人との絆」、心豊かな暮らしを実現できる「幸せを感じる時間」があります。県ではこのような強みを活かし、県民の皆さんとともに様々な地方創生の取組みを進めています。

これからも、住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けていくために、現在の状況や今後の要望など、率直なご意見をお伺いするため調査を行ったものです。

2 調査の概要

- | | |
|-----------|--|
| (1)調査対象 | 鳥取県内在住の18歳以上75歳未満の者 3,000名 |
| (2)抽出方法 | 住民基本台帳に基づく無作為抽出法 |
| (3)調査時期 | 令和2年7月 |
| (4)調査方法 | (2)により抽出した者に対し、郵送により調査票を送付して実施した。なお、調査票の提出は無記名とした。 |
| (5)有効回答数 | 1,642名 |
| (6)回収率 | 54.7% (1,642/3,000) |
| (7)回答者の属性 | 性別:男性 691人(42.1%)、女性 876人(53.3%)
その他(回答したくない)33人(2.0%)、無回答 42人(2.6%)
年齢:18~19歳(2.7%)、20~29歳(9.9%)、30~39歳(11.0%)、
40~49歳(15.2%)、50~59歳(17.3%)、60~69歳(26.9%)、
70歳以上(15.2%)、無回答(2.0%) |

3 資料のみかた

(1) 比率(%:パーセント)の表示について

原則として、各設問の無回答を含む集計対象総数(副設問では設問該当対象数)に対する百分率(%)を表している。複数回答を求める設問では、百分率の合計は100%を超える。また、百分率は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示した。

(2)「無回答」の取り扱いについて

以下については「無回答」として取り扱うこととした。

- ・回答が選択されていない場合
- ・指定回答数以上を回答している場合 例)単数回答の設問に複数回答を行っている場合など

(3)クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18~19歳」標本の取り扱いについて

クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18~19歳」は標本数が少ないため他の性別、年代と比較・分析する場合は除外することとする。

4 回収状況と信頼区間

(1) 必要標本数について

今回の調査においては、18歳以上75歳未満の鳥取県推計人口377,305人(令和元年10月1日時点)から無作為に、3,000人を抽出し、調査の依頼を行った。そのうち有効回答数は1,642人であり、回収率は54.7%であった。

まず、標本数の設定については、次の式によって与えられる。

$$A = \frac{N}{\left[\frac{\varepsilon}{X(\alpha)} \right]^2 \cdot \frac{N-1}{\sigma^2} + 1}$$

- A = 必要標本数
- α = 推定を誤る確率
- $X(\alpha)$ = 正規分布の性質から与えられる値(1.96)
- N = 母集団の大きさ(満18歳以上75歳未満の県民)
- σ^2 = 母分散
- ε = 精度

本調査では、信頼度を、95%とし計算を行った。この場合、 $X(\alpha)$ は、1.96であり、母集団の大きさは377,305人。精度を仮に3%、母比率を50%とし、それぞれ代入して計算すると、以下のとおりとなる。

$$A = \frac{377,305}{\left[\frac{3}{1.96} \right]^2 \cdot \frac{377,304}{50 \times 50} + 1} = 1,064.1043$$

よって、今回の調査において必要な最小標本数は1,064人であり、有効回答1,642人はこの条件を満たしているといえる。

(2) 標本誤差について

有効回答票の標本誤差を次の式によって計算した。

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[\frac{N-n}{N-1} \right] \cdot \frac{Q(1-Q)}{n}}$$

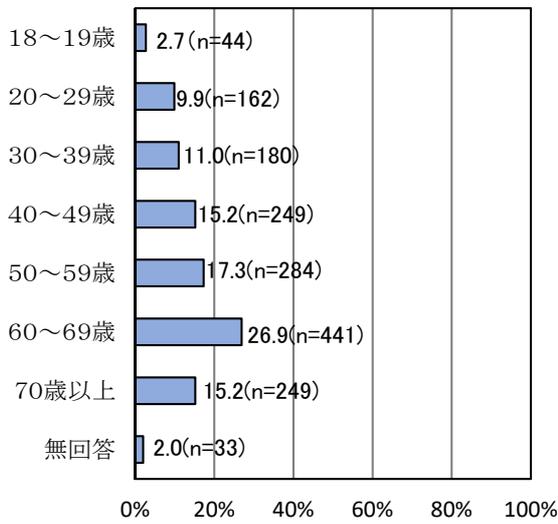
- B = 標本誤差
- N = 母集団の大きさ(満18歳以上75歳未満の県民)
- n = 回答者総数(1,642人)
- Q = 母比率(0.5とする)

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[\frac{375,663}{377,304} \right] \cdot \frac{0.5(1-0.5)}{1,642}} = \pm 2.41$$

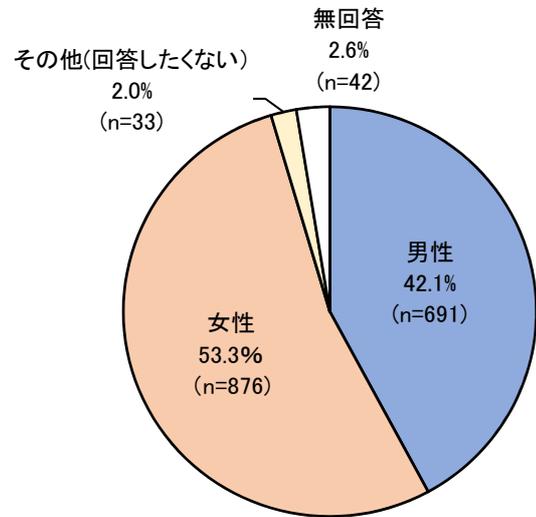
すなわち、標本誤差は $\pm 2.4\%$ しかないといえる。

5 回答者の情報

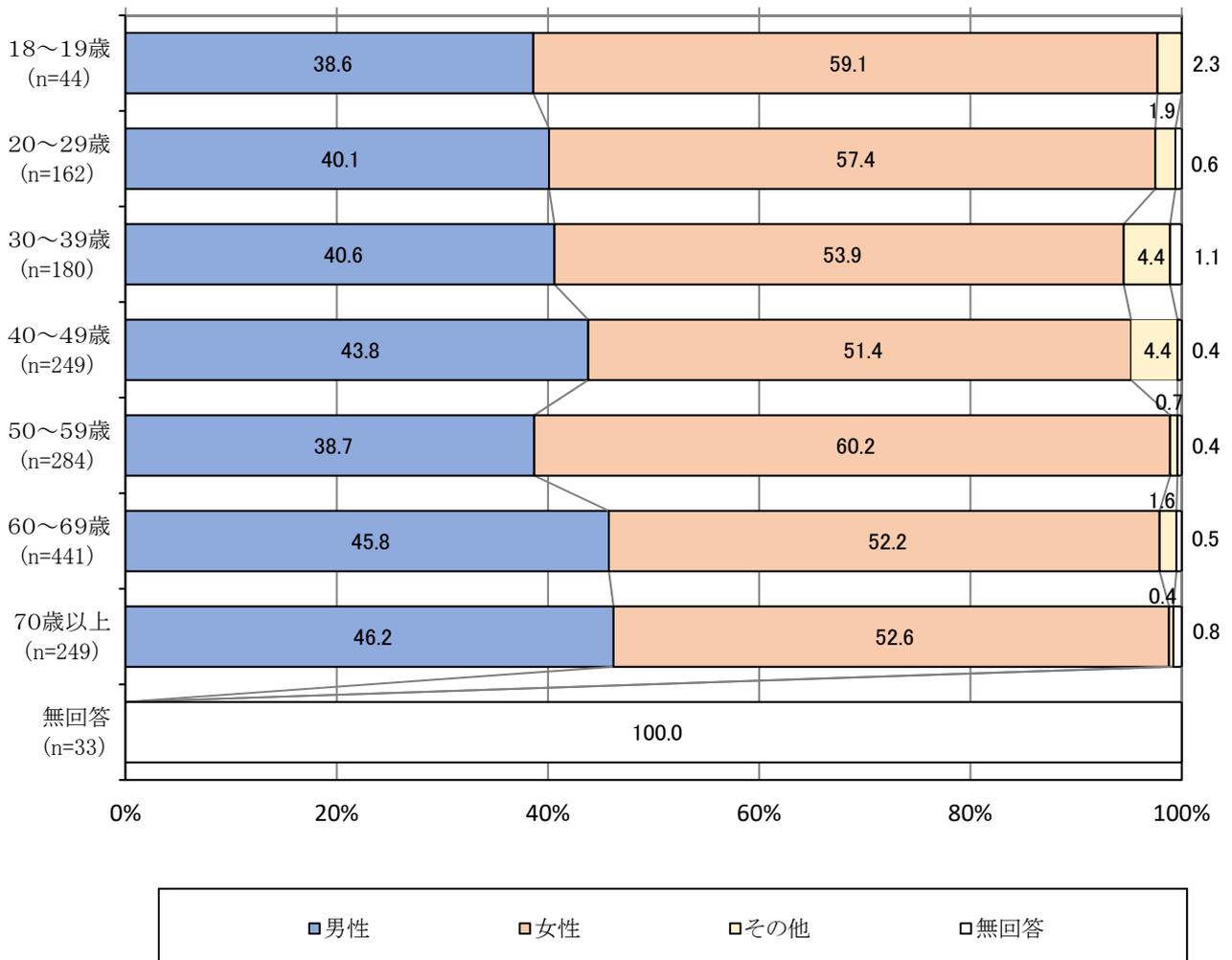
(1) 年代



(2) 性別



(3) 性別 × 年代



<市町村別調査対象者数>

区 分		人 口			抽 出 数		
		男性	女性	合計	男性	女性	合計
東 部 地 区	鳥取市	66,486	64,951	131,437	529	516	1,045
	岩美町	3,605	3,638	7,243	29	29	58
	八頭町	5,362	5,296	10,658	43	42	85
	若桜町	930	917	1,847	8	7	15
	智頭町	2,079	2,071	4,150	17	16	33
	(小計)	78,462	76,873	155,335	626	610	1,236
中 部 地 区	倉吉市	15,328	15,859	31,187	122	126	248
	湯梨浜町	5,317	5,361	10,678	42	43	85
	三朝町	1,963	1,938	3,901	16	15	31
	北栄町	4,715	4,799	9,514	37	39	76
	琴浦町	5,289	5,410	10,699	42	43	85
	(小計)	32,612	33,367	65,979	259	266	525
西 部 地 区	米子市	49,592	52,088	101,680	394	414	808
	境港市	11,129	11,161	22,290	88	89	177
	南部町	3,462	3,493	6,955	28	28	56
	伯耆町	3,391	3,422	6,813	26	27	53
	日吉津村	1,119	1,235	2,354	9	10	19
	大山町	5,156	4,964	10,120	41	39	80
	日南町	1,296	1,120	2,416	10	9	19
	日野町	889	869	1,758	7	7	14
	江府町	818	787	1,605	7	6	13
	(小計)	76,852	79,139	155,991	610	629	1,239
合 計		187,926	189,379	377,305	1,494	1,506	3,000

<調査対象者の特性>

【性別】

区 分	件 数	割 合
男性	691	42.1
女性	876	53.3
その他 (回答したくない)	33	2.0
無回答	42	2.6
計	1642	100

【年代】

区 分	件 数	割 合
18～19 歳	44	2.7
20～29 歳	162	9.9
30～39 歳	180	11.0
40～49 歳	249	15.2
50～59 歳	284	17.3
60～69 歳	441	26.9
70 歳以上	249	15.2
無回答	33	2.0
計	1642	100

【職業】

区 分	件 数	割 合
会社員 (公務員含む)	657	40.0
自営業 (家族従事者も含む)	174	10.6
パート ・ アルバイト	270	16.4
学生	63	3.8
専業主婦 (主夫)	175	10.7
無職	249	15.2
無回答	54	3.3
計	1642	100

【住まい】

区 分	件 数	割 合
鳥取市	540	32.9
米子市	431	26.2
倉吉市	131	8.0
境港市	106	6.5
岩美郡	29	1.8
八頭郡	52	3.2
若桜町	12	0.7
智頭町	23	1.4
湯梨浜町	41	2.5
三朝町	20	1.2
北栄町	43	2.6
琴浦町	46	2.8
南部町	32	1.9
伯耆町	32	1.9
日吉津村	9	0.5
大山町	40	2.4
日南町	9	0.5
日野町	6	0.4
江府町	6	0.4
無回答	34	2.1
計	1642	100

【 結 果 の 概 要 】

I 鳥取県の住みやすさについて

- 鳥取県に対する愛着や誇りに思う気持ちは、約7割の人が「感じている」と答えている。
- 鳥取県で、今暮らしている地域は、約7割の人が「住みやすい」と答えている。
- 豊かな自然環境に恵まれていると思う人が約9割と圧倒的に多く、また治安が良い、住民が親切で人と人とのつながりがあると思うと5割以上の人が答えている。
- 生活の中で公共交通機関の整備は、約5割の人が「整っていない」と思っている。
- 鳥取県での暮らしの幸せの程度について、「普通」以上が約9割である。
- 幸福度の判断で重視することは、約6割の人が「自身の健康の状況」「家計の状況」と答えている。

II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

【豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる】

- 「農林水産・畜産業の若き担い手育成」「外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり」の農林水産・畜産業の担い手育成、外国人観光客に対する取組に『不満』を感じている割合が多い。一方で、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」「農業の活力増進に関する取組」等の観光誘客と農業への取組に『満足』を感じている割合が多い。

（今後優先すべき重要度の高い項目）

- 「農林水産・畜産業の若き担い手育成」「豊かな観光資源を活用した観光誘客」「農業の活力増進」の農林水産・畜産関係、観光資源活用による誘客の取組が優先すべき項目の上位を占めている。

【人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む】

- 「未来を拓く人づくり」「絆を活かした中山間地域・まちなか振興」に『不満』を感じている割合が多い。一方で、「健康寿命の延伸」「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」「地域で子育て世代を支える取組」の健康、結婚、出産、子育てに関する取組に『満足』を感じている割合が多い。

（今後優先すべき重要度の高い項目）

- 「地域で子育て世代を支える取組」「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」「女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組」が優先すべき項目の上位を占めている。

【幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ】

- 「自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす」「次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圏拡大をめざす」「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める」取組等に『不満』を感じている割合が多い。一方で、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく」「アート・文化による地域づくりへの取組」「強靱な防災基盤の構築に向けた」取組に『満足』を感じている割合が多い。

（今後優先すべき重要度の高い項目）

- 「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」が優先すべき項目の上位を占めている。

【男女共同参画社会づくり】

- 「ワーク・ライフ・バランス」は約3割、「男女共同参画社会」は約5割が「知っている」と答えている。
- 男女に関する役割などについて、約8割の人が「現実として家事や子育てが女性の役割となっていると思う」、約7割の人が「現実として介護が女性の役割となっていると思う」と答えている。
- 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策について6割台後半の人が「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」と答えている。
- 男女ともにワーク・ライフ・バランスの実践を促す労働環境をつくるために行政が行うべき施策について、6割台後半の人が「ワーク・ライフ・バランスを実現するための労働環境整備の支援」と答えている。
- 介護と仕事を両立するために行政が行うべき施策について、4割以上の人が「男性の介護休暇(介護休業)取得に関して企業(雇用主)に対する経済的支援(補助金制度)」「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」「介護による離職者を再雇用した企業(雇用主)に対する経済的支援(補助金制度)」と答えている。
- 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力をいれるべきことについて、約4割の人が「就労における男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」「介護の施設・サービスや介護支援の充実」「保育の施設・サービスや子育て支援の充実」と答えている。

Ⅲ 重点施策への関心・認識

【SDGs(持続可能な開発目標)の認知度について】

- SDGsという言葉・内容について、約3割の人が「聞いたことがある」と答えている。
- SDGsという言葉・内容をどうやって知ったかについて、4割以上の人が「テレビ」「新聞・雑誌」と答えている。
- SDGsの17のゴール(8つの優先課題)のうち、どの課題に関心があるかについて、5割以上の人が「平和と安全・安心社会の実現」と答えている。

【 調 査 結 果 】

I 鳥取県の住みやすさについて

問1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか。(〇は1つ)

～鳥取県に対しての愛着や誇りを感じている人が約7割～

鳥取県に対する愛着や誇りは、「感じている」が50.7%、「少し感じている」が24.0%と、愛着や誇りを感じている人が74.7%となっている。一方、「あまり感じていない」が2.8%、「感じていない」が1.5%と愛着や誇りを感じていない人は、4.3%と1割に満たない。

平成28年度-令和2年度を比較してみると、「感じている」「少し感じている」の合計は28年度が約8割と最も割合が高く、29年度以降は約7割とほぼ横ばいで推移しているが、2年度は前年度より3ポイント増加している。

年代別でみると、愛着や誇りを「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、70歳代以上が最も高く、30歳代が最も低くなっている。

性・年代別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は男女共に70歳代が高くなっている。一方で、男性は20歳代が、女性は30歳代が最も低くなっている。

地域別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、中部地区が他の地域に比べ高くなっている。

図1 鳥取県に対しての愛着や誇りについて(n=1,642)

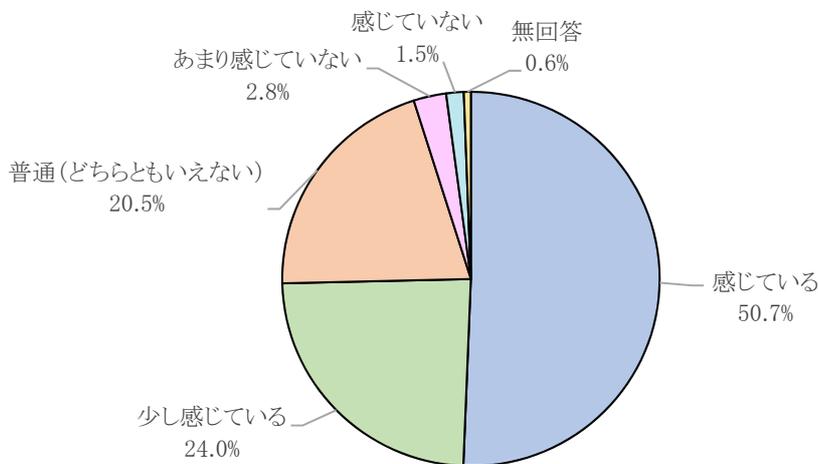


図2 鳥取県に対しての愛着や誇りについて

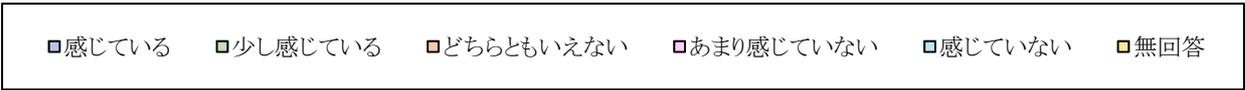
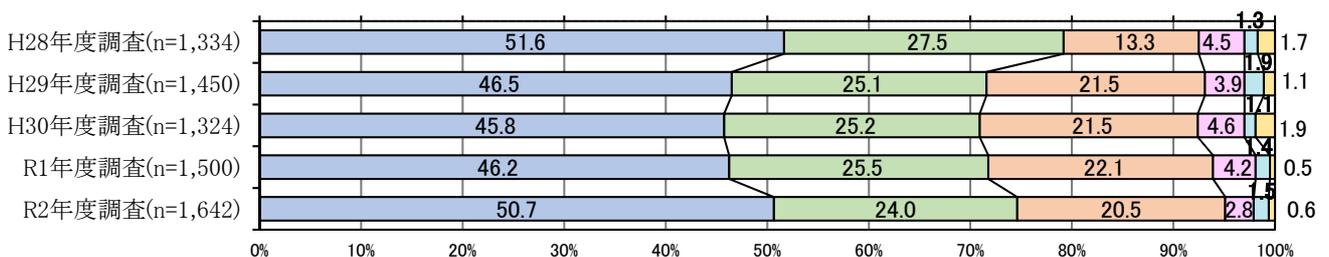
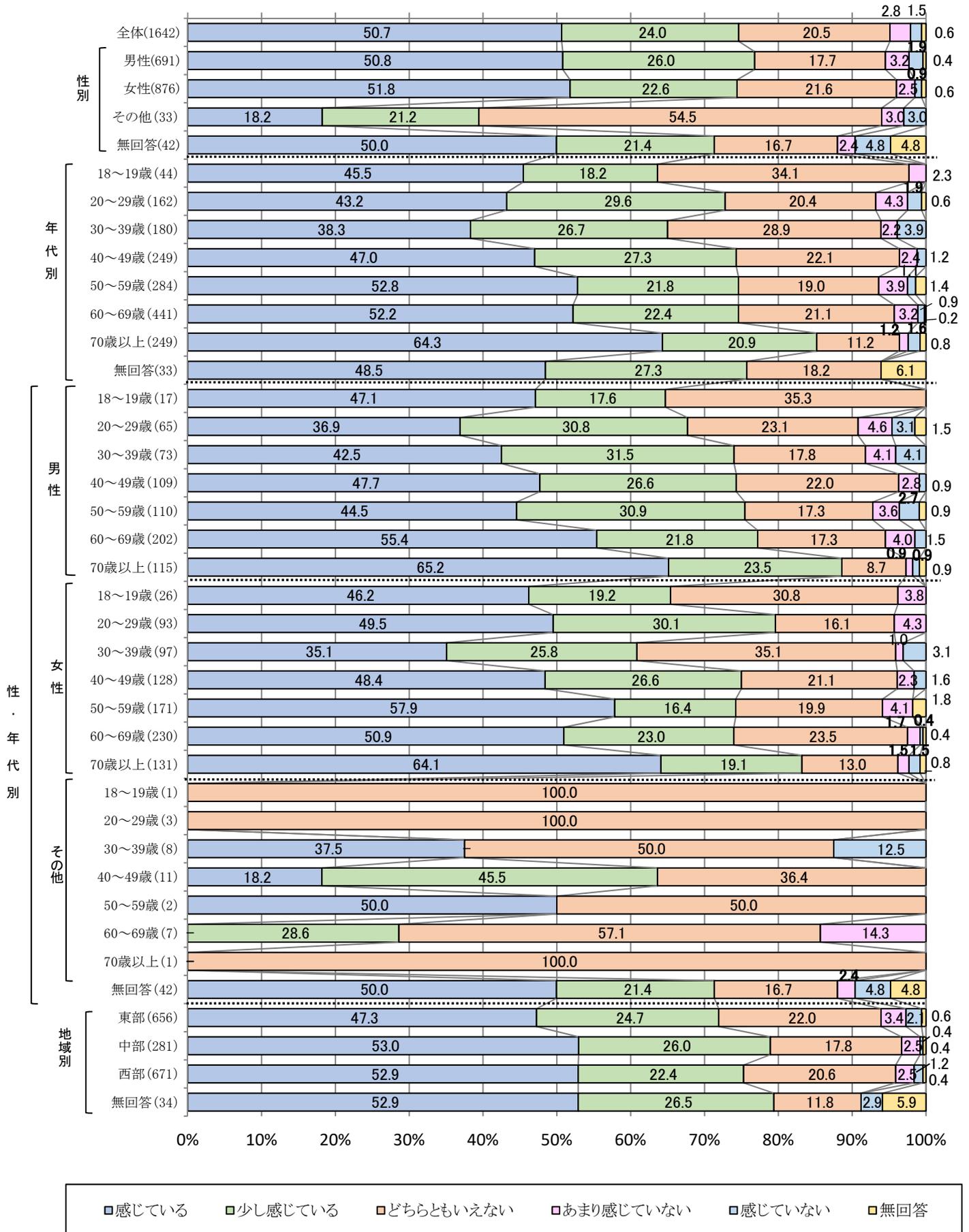


図3 鳥取県に対しての愛着や誇りについて



問2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください。(〇は1つ)

～「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」と約7割の人が住みやすいと回答～

今暮らしている地域の住みやすさは、「とても住みやすい」が24.8%、「どちらかという住みやすい」が45.9%と、住みやすいと答えている人が70.7%となっている。

一方、「どちらかという住みにくい」が4.9%、「住みにくい」が1.5%と、住みにくいと答えている人は6.4%となっている。

平成28年度-令和2年度を比較してみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」の合計は、28年度の74.9%が最も割合が高く、29年度以降は減少傾向にあったが、2年度は前年度より9.4ポイント増加している。

年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、60歳代以上が高く、20歳代が最も低くなっている。

性・年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、男性は40歳代と60歳代以上が高く、女性は40歳代以上が高くなっている。

地域別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べ高くなっている。

図4 今暮らしている地域の住みやすさ(n=1,642)

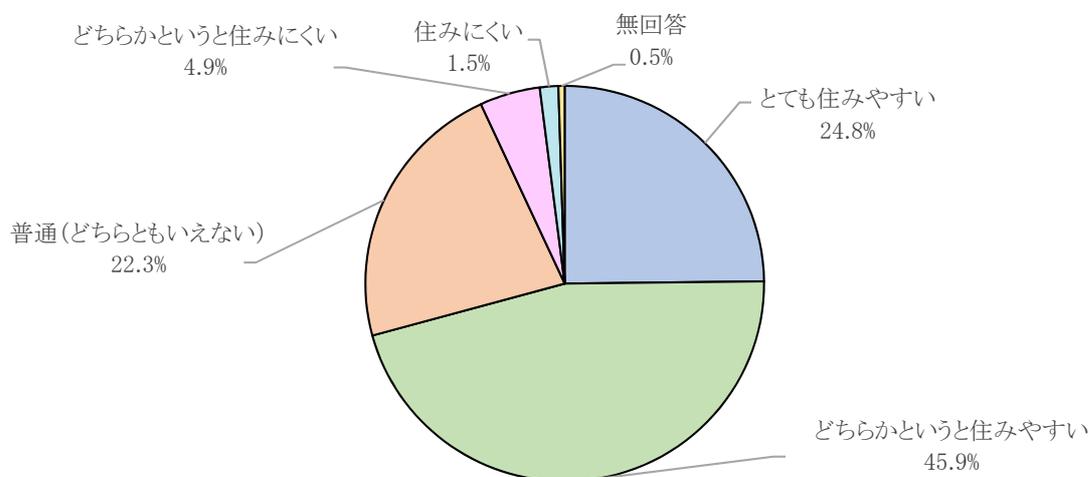
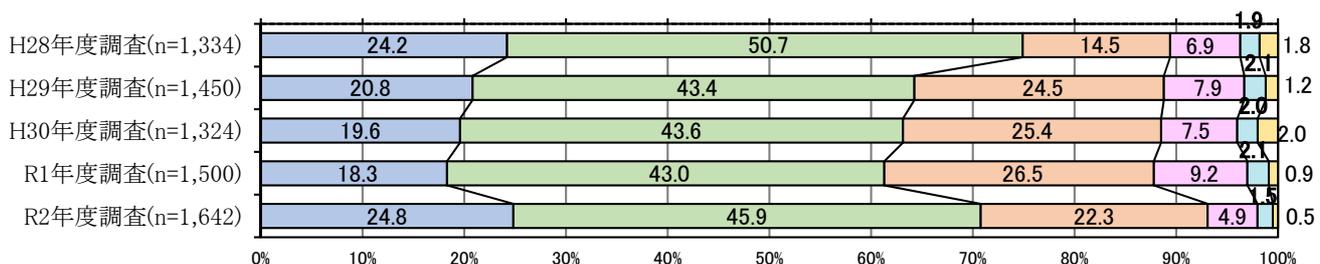
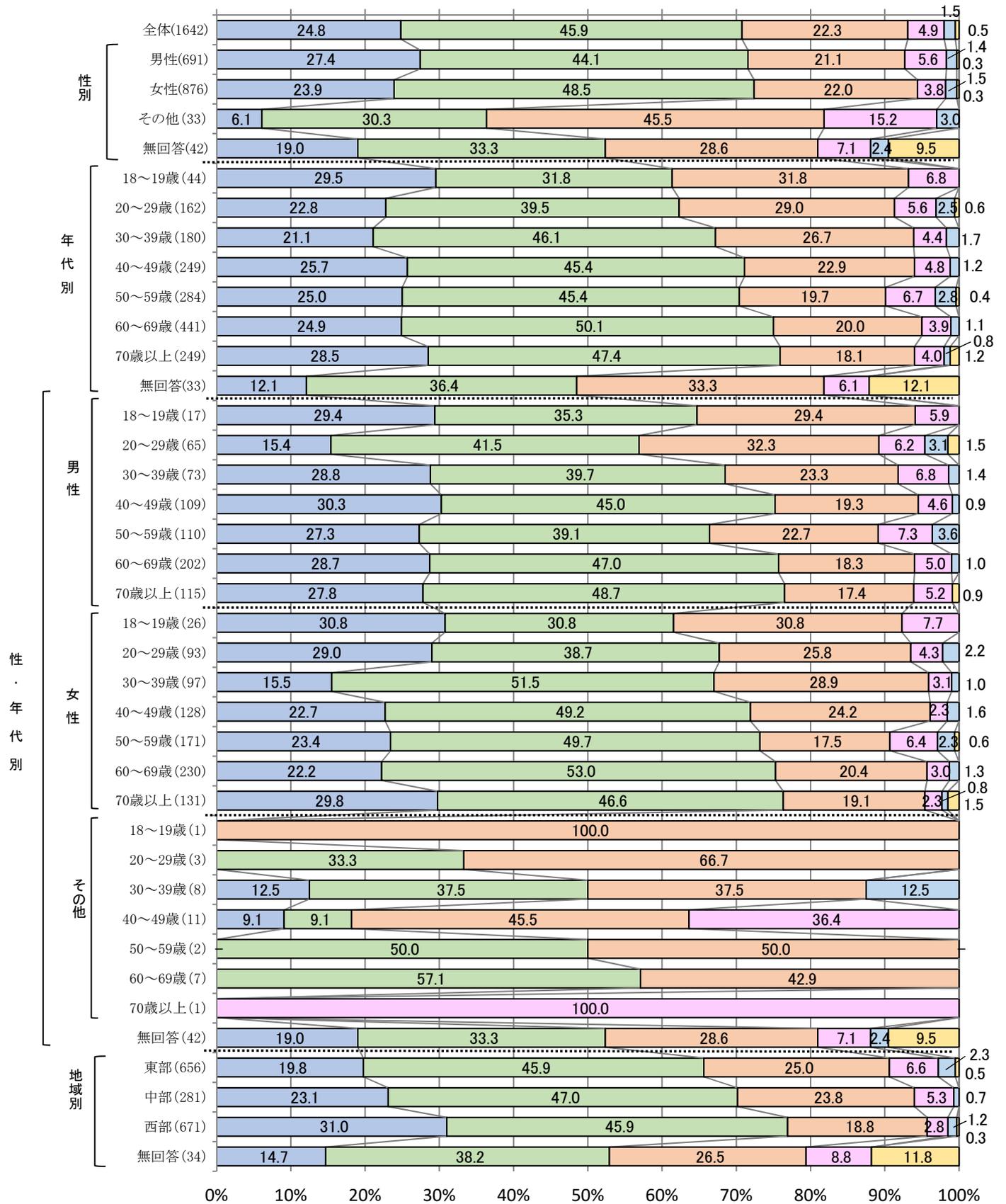


図5 今暮らしている地域の住みやすさ



■とても住みやすい ■どちらかという住みやすい ■どちらともいえない ■どちらかという住みにくい ■住みにくい ■無回答

図6 今暮らしている地域の住みやすさ



とても住みやすい
 どちらかという住みやすい
 どちらともいえない
 どちらかという住みにくい
 住みにくい
 無回答

問3 鳥取県内に暮らしていて、次の項目（設問）についてどう思われますか。
項目ごとに表中のいずれかに○を記入してください。

～「豊かな自然環境に恵まれている」と思う人が約9割～

鳥取県内に暮らしていてよく感じる（そう思う）項目は、上位項目では「豊かな自然環境に恵まれている」が91.7%と最も割合が高く、次いで「地域の治安が良いと感じている」が66.8%、「住んでいる住民（県民）が親切である」が55.8%、「地域での人と人とのつながりがある」が54.4%と続き、自然環境、治安、人とのつながりを鳥取県内に暮らす良い面として答えている。

一方、鳥取県内に暮らしていて良いと感じない（そう思わない）項目は、上位項目では「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」が53.3%で最も割合が高く、次いで「地域の防災組織が整っている」が13.6%、「ストレスなく日常生活を送ることができる」が11.4%と続いている。

平成28年度～令和2年度を比較してみると、「豊かな自然環境に恵まれている」は、よく感じる（そう思う）回答が全ての年度で約9割、「地域の治安が良いと感じている」が6割台、「住んでいる住民（県民）が親切である」「地域での人と人とのつながりがある」が5割台となっている。

一方、「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」は1割台で概ね横ばい、「地域の防災組織が整っている」「子どもの教育環境が充実している」は全ての年度で2割台ではあるが上昇傾向が認められる。

また、前年度（元年度）との比較では、「子育て支援が充実している」「ストレスなく日常生活を送ることができる」についてよく感じる（そう思う）とした割合は前年度より5ポイント以上増加している。

図7 鳥取県内の暮らしについて(n=1,642)

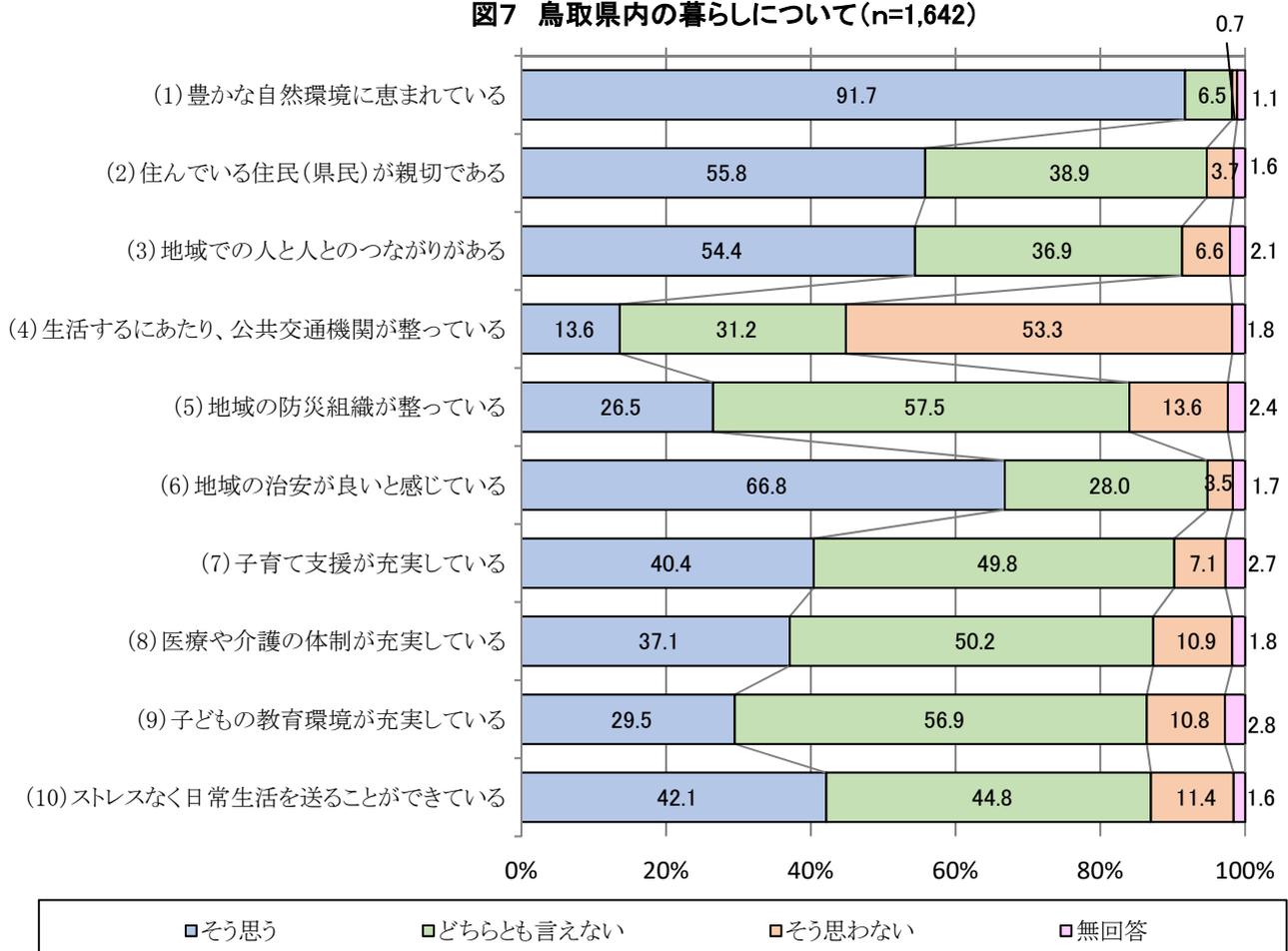
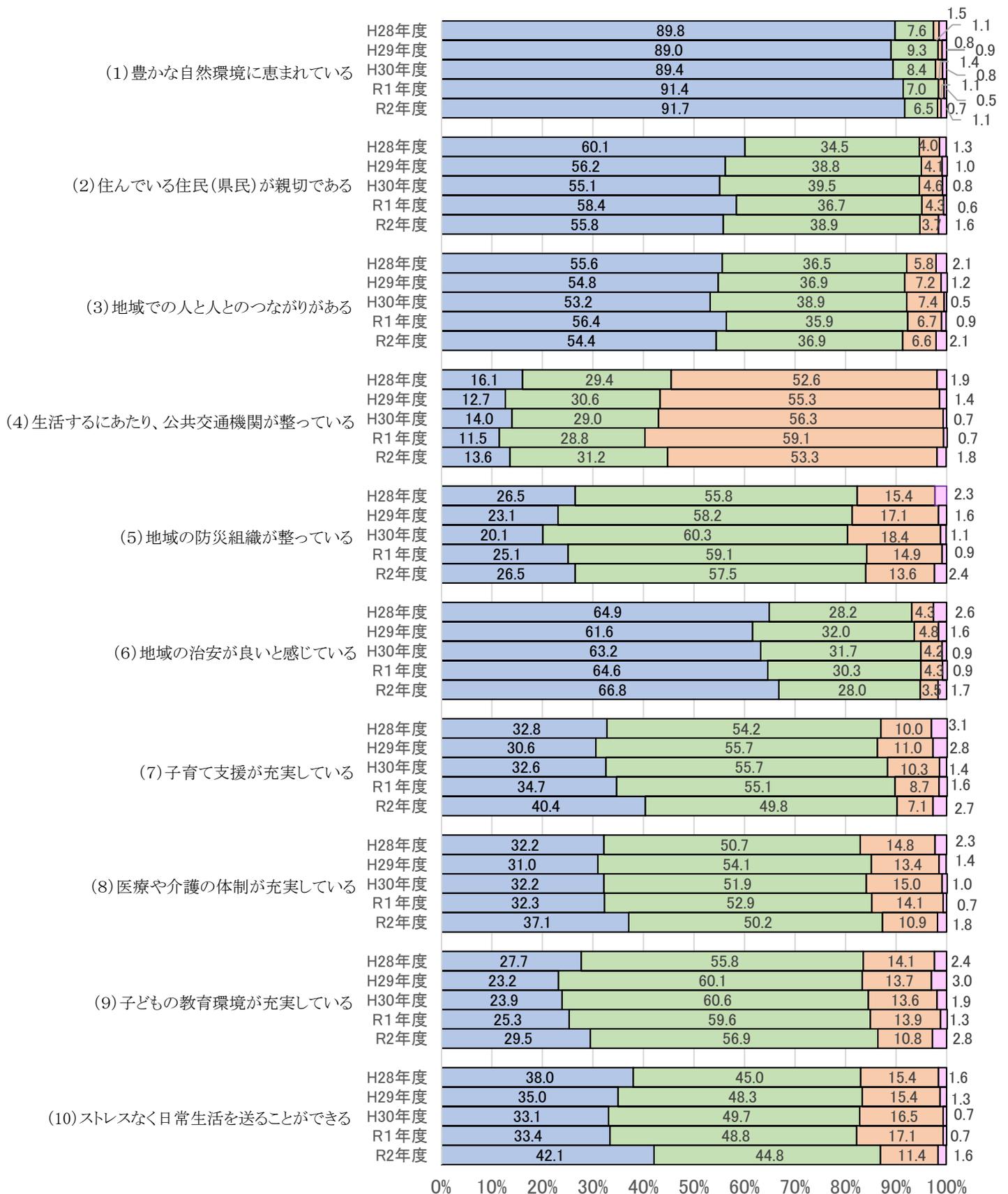


図8 鳥取県内の暮らしについて(n=1,648)



■ そう思う ■ どちらとも言えない ■ そう思わない ■ 無回答

問4 鳥取県に暮らしていて、あなたは今どの程度「幸せ」ですか。

～5「普通」から10「とても幸せ」が約9割～

幸福度について10点満点で質問したところ、5「普通」が25.9%と最も割合が高く、「8」が21.1%、「7」が18.9%、「6」が12.7%と続き、「5普通」以上と回答した割合は91.3%となっており、前年度より6.8ポイント増加している。

図9 鳥取県に暮らしていて、「幸せ」ですか(n=1,642)

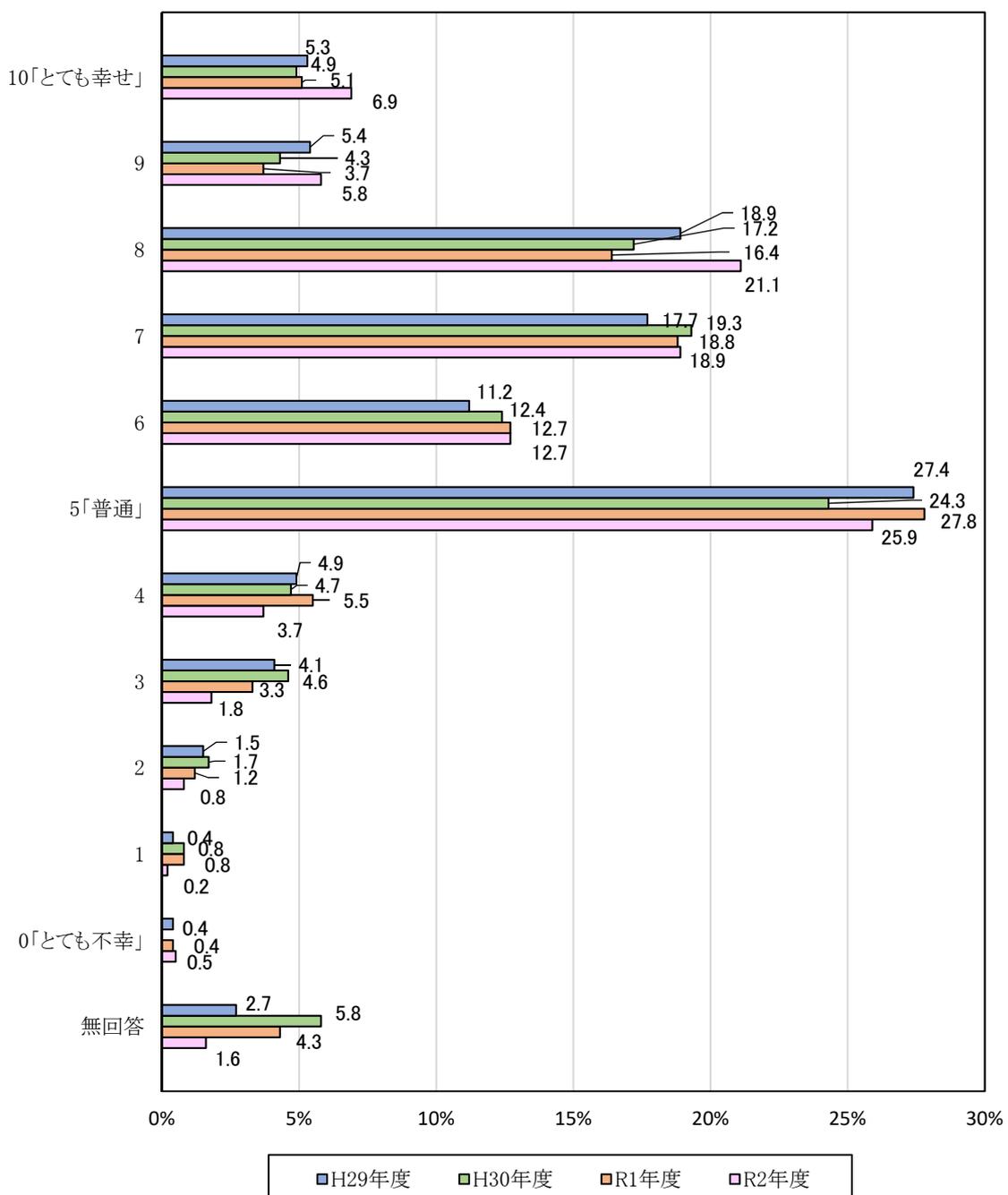
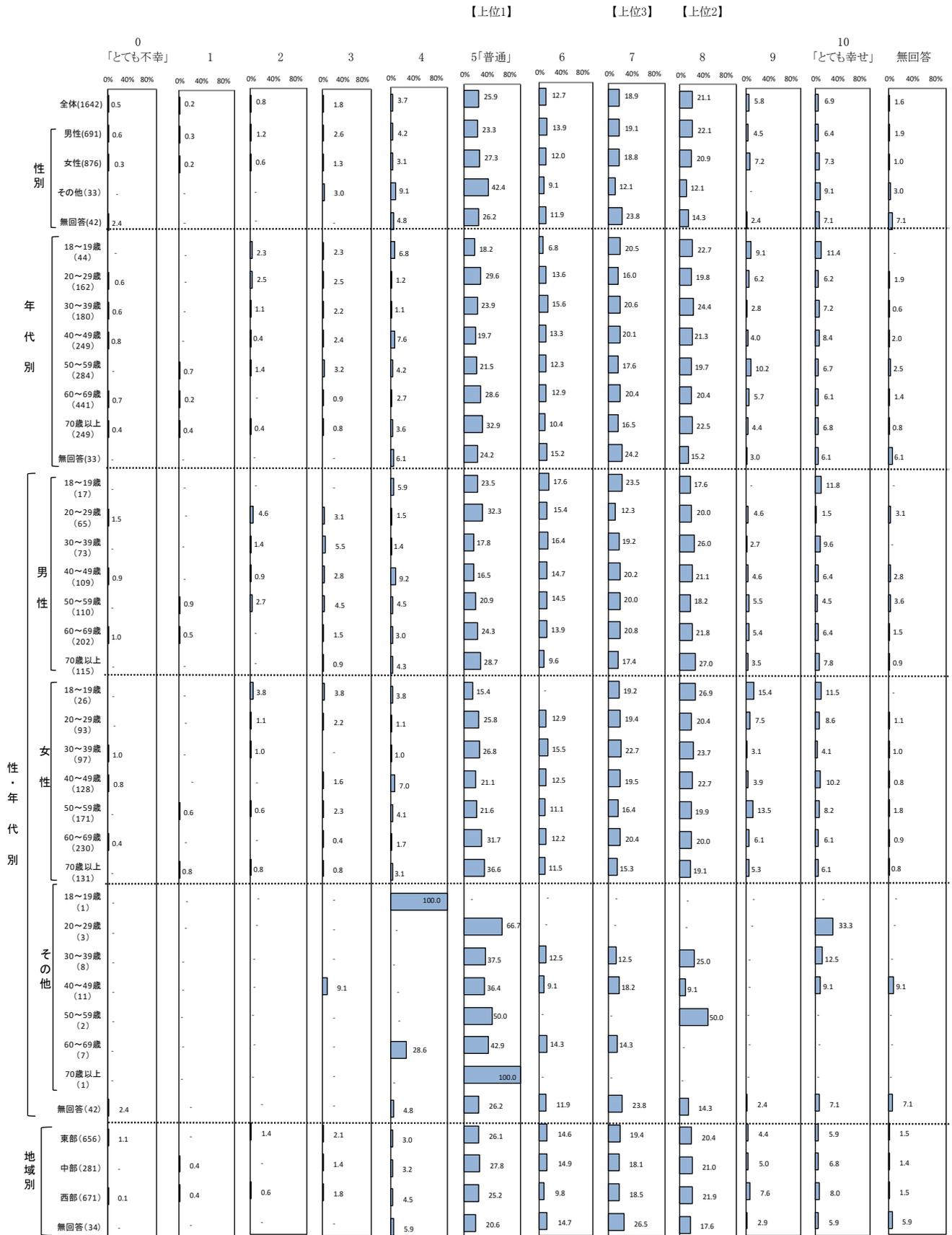


図 10 鳥取県に暮らして、「幸せ」ですか



問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。
 (〇はいくつでも)

～「自身の健康の状況」「家計の状況」が6割以上～

幸福度を判断するときに重視することは、「自身の健康の状況」が68.0%と最も割合が高く、次いで「家計の状況」が66.4%、「家族関係」が56.8%となっている。

平成29年度-令和2年度を比較してみると、上位3項目は常に「自身の健康の状況」、「家計の状況」、「家族関係」となっている。また、前年度(元年度)との比較では「仕事(学校)の充実度」、「友人関係」、「自然環境(住みやすさ)」の割合が3～4ポイント増加している。

年代別でみると、「自身の健康状況」「家計の状況」は30歳代以上で割合が高く、「自由な時間(充実した余暇)」は20歳代、「精神的なゆとり」は30歳代の割合が高くなっている。

性・年代別でみると、「自身の健康の状況」は女性の30歳代以上、「家計の状況」は女性の30～50歳代で7割以上と高くなっている。

図11 「幸福度」の判断で重視することは(n=1,642)

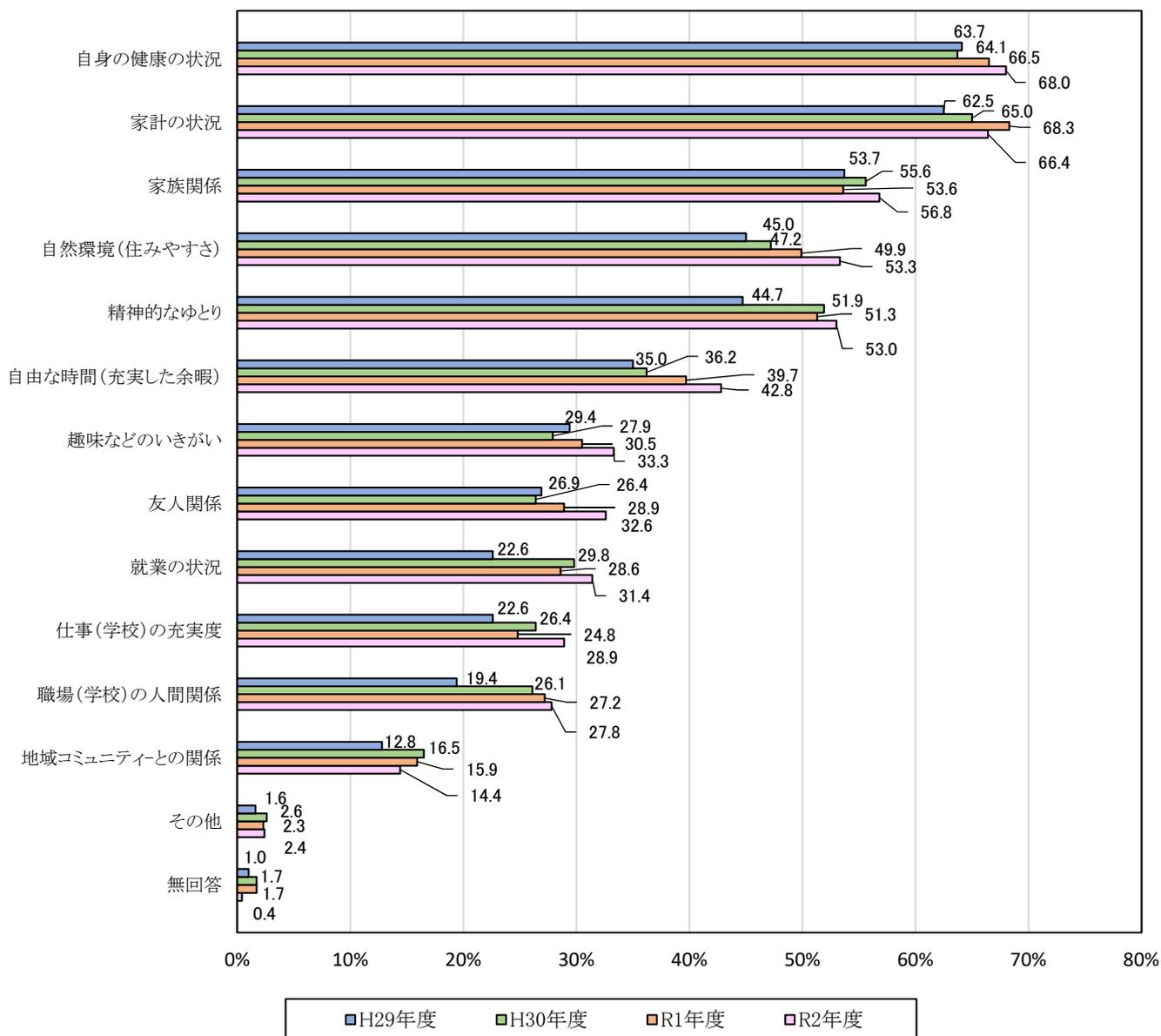
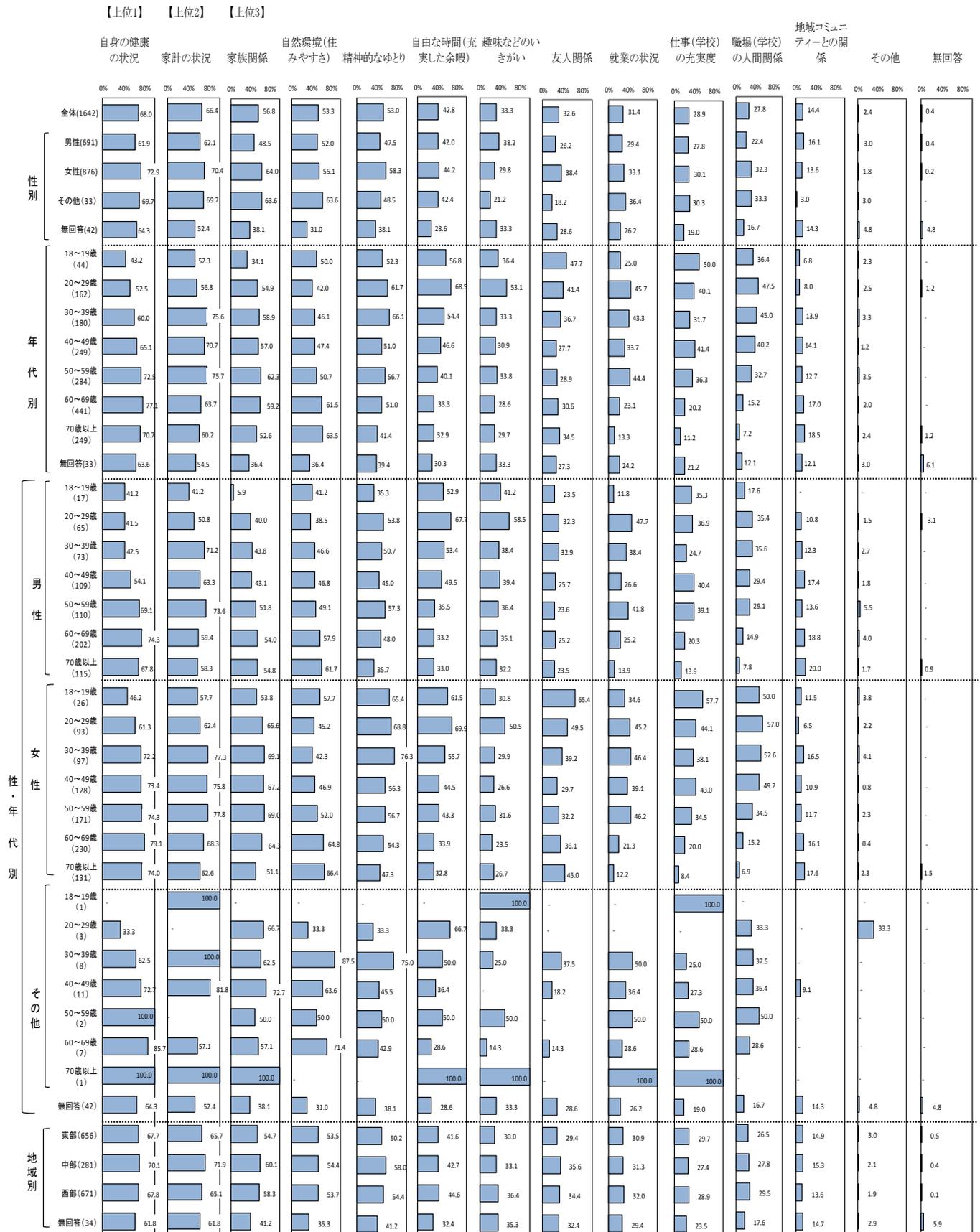


図 12 「幸福度」の判断で重視すること



II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

1 豊かな自然環境でのびのび鳥取らしく生きる

問6 鳥取県の施策等について、あなたの満足度をお聞きしますので、それぞれ5段階で評価をお願いします。(1～5のいずれかの数字に○をしてください。)

※「5」は満足、「1」は不満

問6-1 「豊かな自然環境でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度

～「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」の満足度がトップ、「農業の活力増進に関する取組」は前年度比 17.3 ポイントアップ～

「豊かな自然環境でのびのび鳥取らしく生きる」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が 34.6%と最も割合が高く、次いで「農業の活力増進に関する取組」が 33.4%、「スポーツによる交流促進を進める取組」「海洋・森林等の環境保全と利活用の推進」が 21.5%と続いている。

平成 28 年度-令和2年度を比較してみると、満足度は全ての年度で「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が3割台で推移している。また、前年度(元年度)との比較では、「農業の活力増進に関する取組」「スポーツによる交流促進を進める取組」「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」の「満足・やや満足」と回答した割合が特に増加している。また、全体的に「不満・やや不満」と回答した割合は減少傾向にある。

一方、「外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり」の満足度は前年度と比較し 7.5 ポイント減少している。

図13 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度(n=1,642)

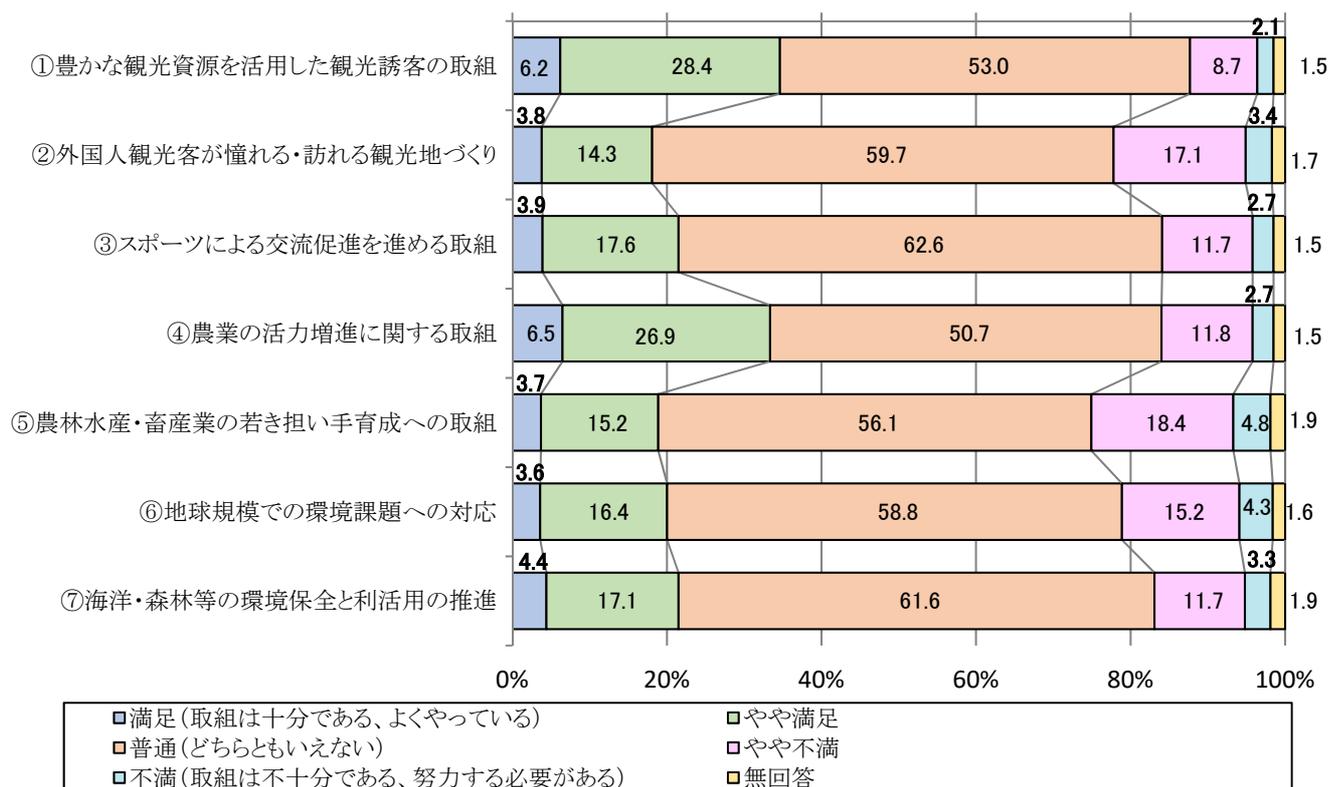
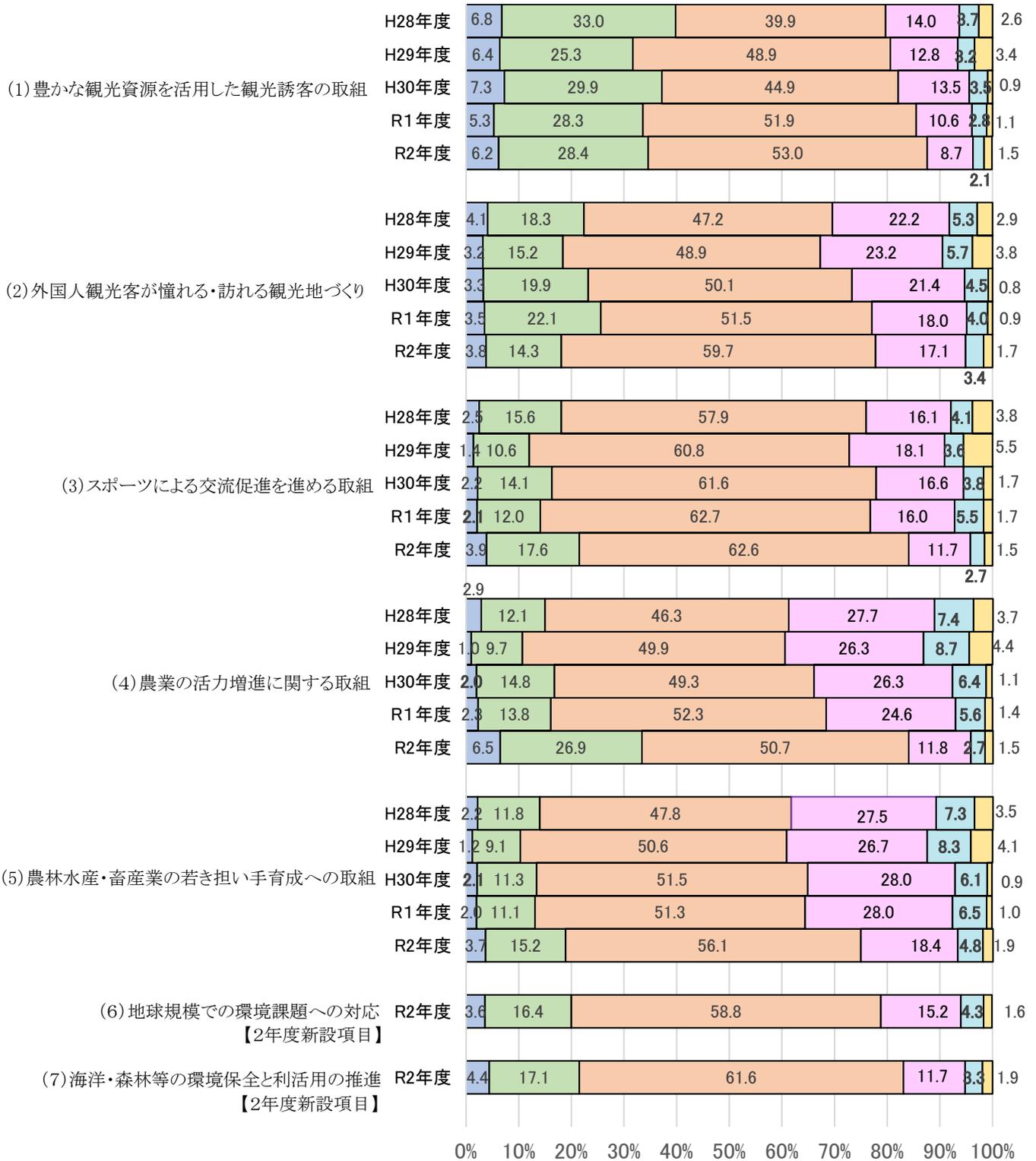


図14 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」の満足度



満足(取組は十分である、よくやっている)
 やや満足
 普通(どちらともいえない)
 やや不満
 不満(取組は不十分である、努力する必要がある)
 無回答

●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

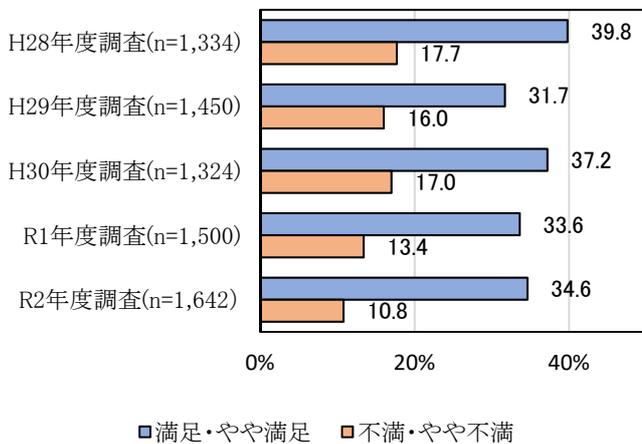
- (4) 農業の活力増進に関する取組 【+17.3】
- (3) スポーツによる交流促進を進める取組 【+7.4】
- (5) 農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組 【+5.8】
- (1) 豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組 【+1.0】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

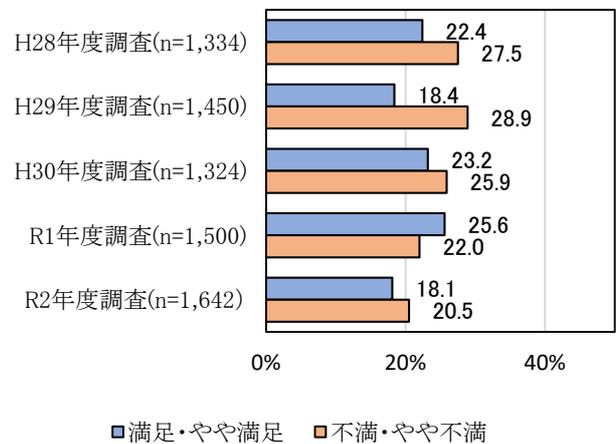
該当なし

●満足度・不満足度の比較(H28年度～R2年度までのデータが揃っている項目を掲載)

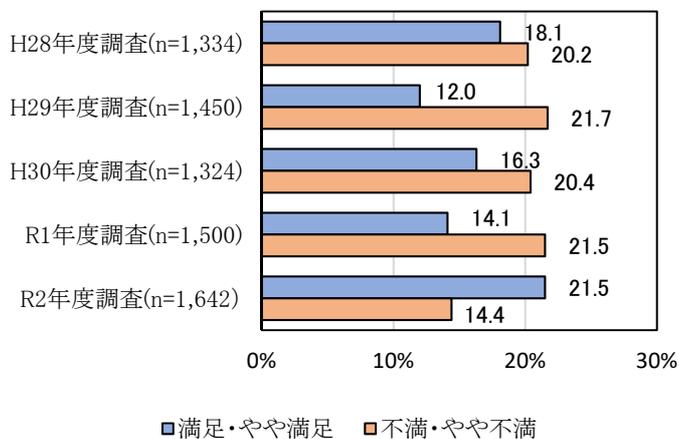
(1) 豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組



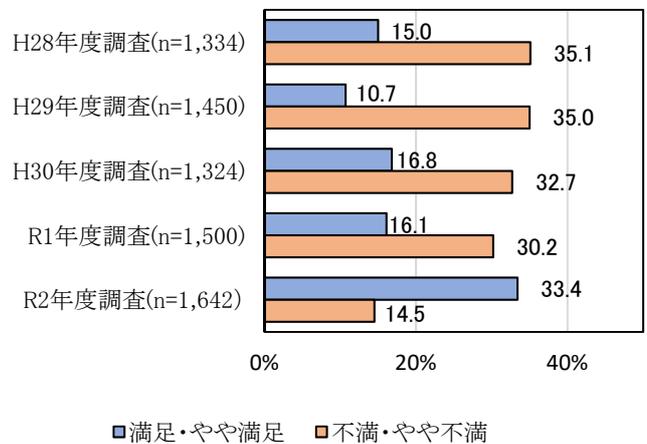
(2) 外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり



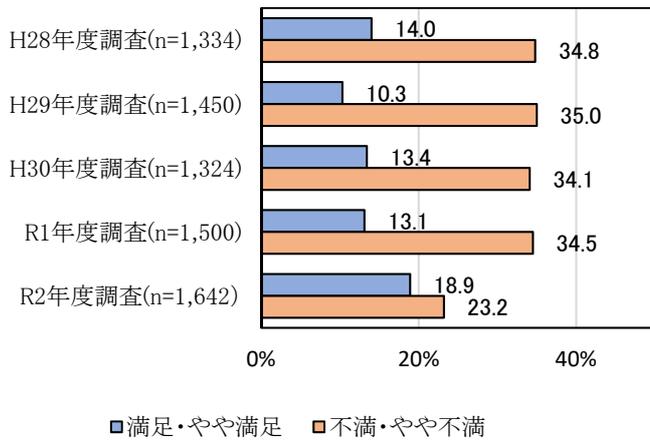
(3) スポーツによる交流促進を進める取組



(4) 農業の活力増進に関する取組



(5) 農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組



問6-1-2 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」の施策等のうち、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～農林水産・畜産業の振興や観光資源を活用した誘客の取組が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」が53.9%と最も高く、次いで「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が52.7%、「農業の活力増進に関する取組」が52.0%と続いている。

平成28年度-令和2年度を比較してみると、「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」は毎年増加している。また、前年度(元年度)との比較では、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が20.0ポイント、「農業の活力増進に関する取組」が9.8ポイント増加している。

図15 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度

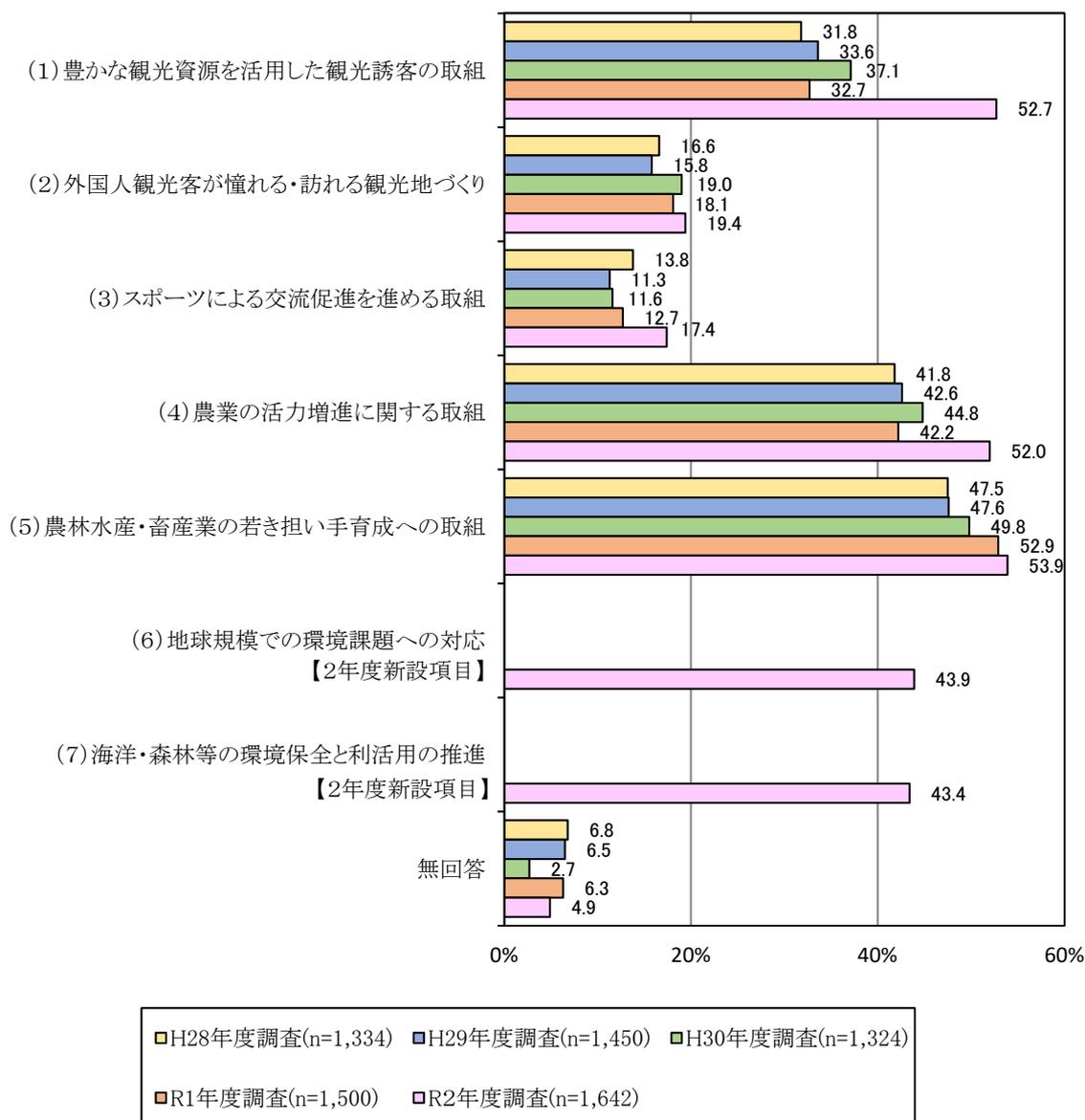
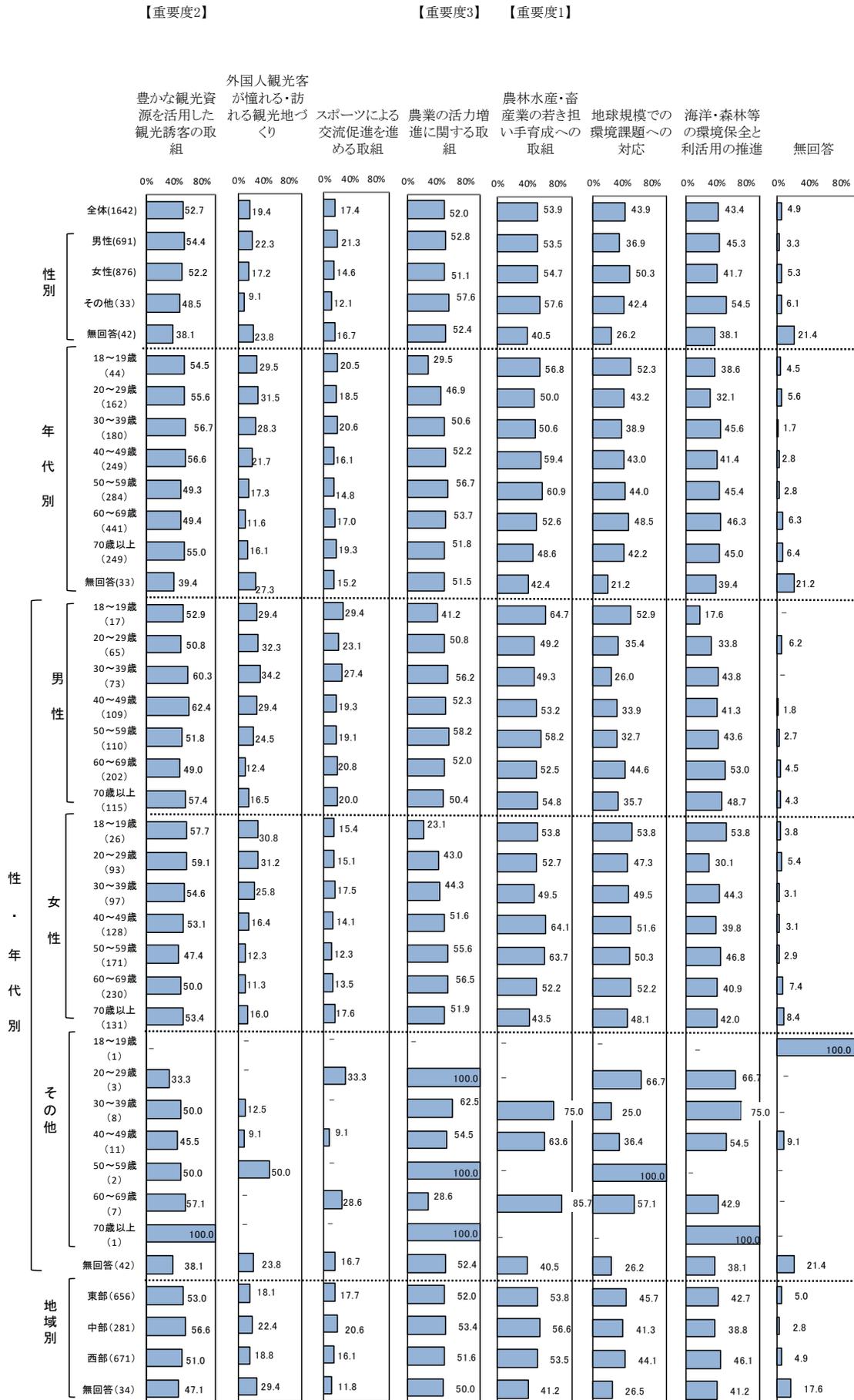


図16 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる(今後優先すべき項目)



2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

問6-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度

～健康寿命の延伸や結婚・出産・子育ての希望を叶える取組の満足度がトップ～

「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「健康寿命の延伸」が 26.2%と最も割合が高く、次いで「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」が 26.1%、「地域で子育て世代を支える取組」が 22.5%となっている。

平成 28 年度-令和2年度を比較してみると、「地域で子育て世代を支える取組」の満足度は増加傾向にある。「絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組」の満足度は前年度と比較して 4.6 ポイント増加し、不満(不満・やや不満足)は 16.0 ポイント減少している。

一方、「地域を支える人財育成の取組」の満足度は、前年度と比較して 7.1 ポイント減少している。

図17 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度(n=1,642)

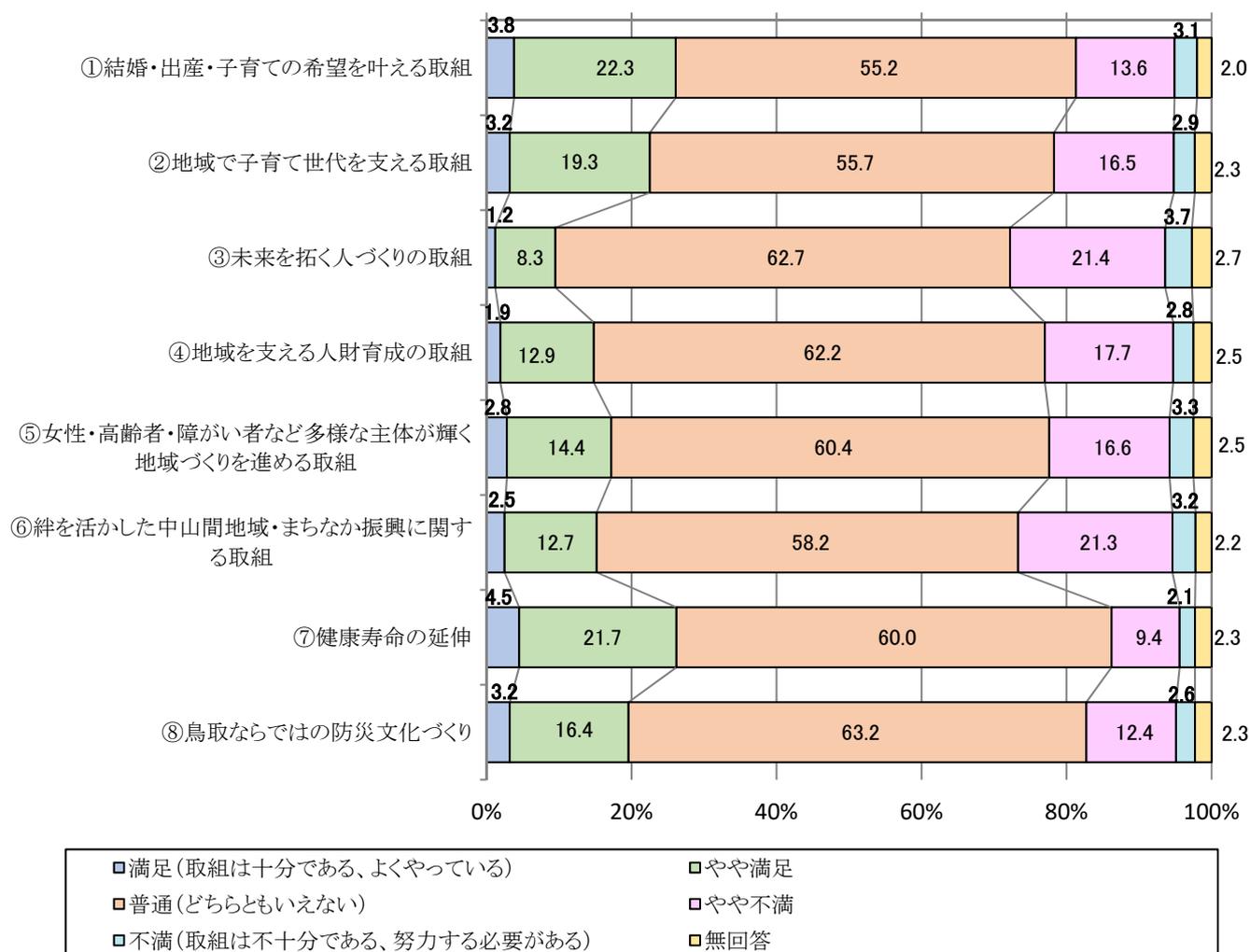
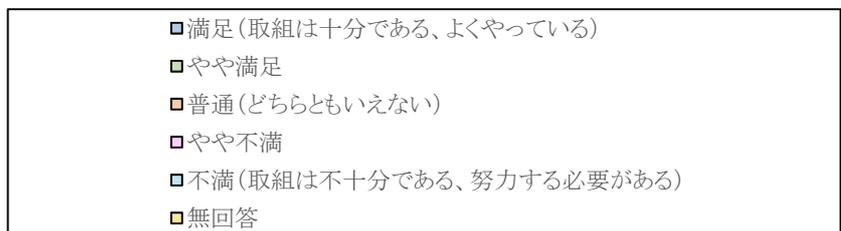
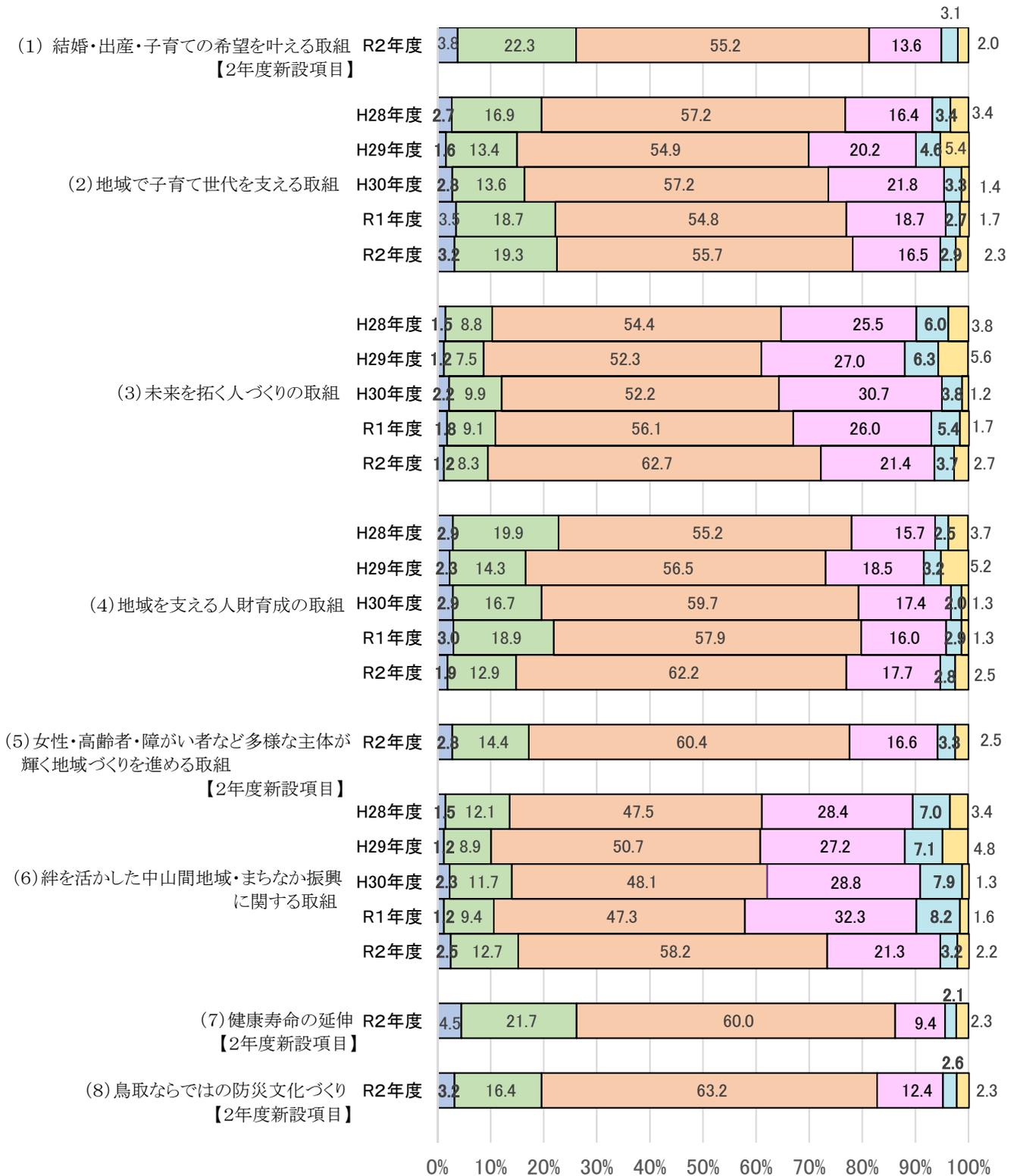


図18 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」の満足度



●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

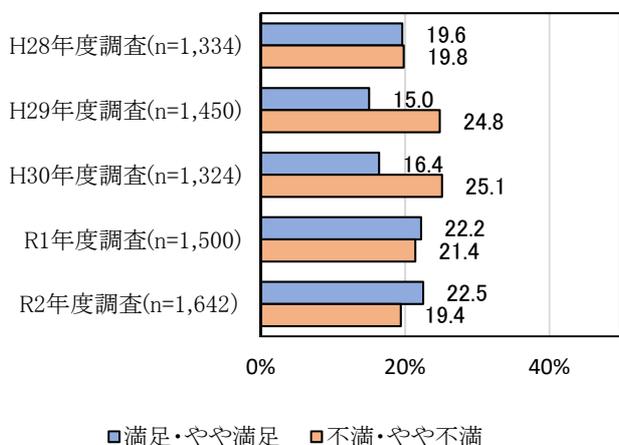
- (6) 絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組 【+4.6】
- (2) 地域で子育て世代を支える取組 【+0.3】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

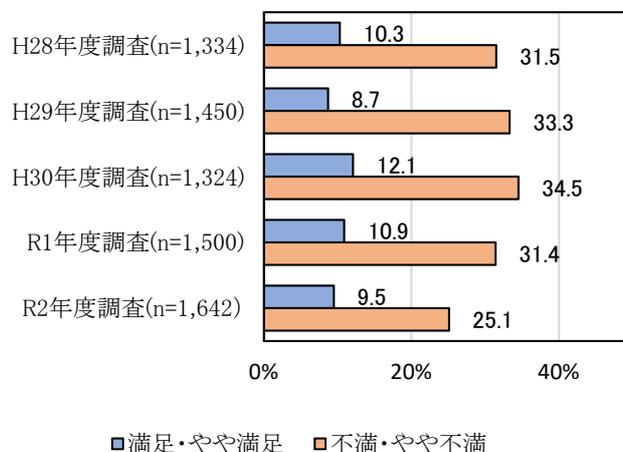
- (2) 地域を支える人財育成の取組 【+1.6】

●満足度・不満足度の比較(H28年度～R2年度までのデータが揃っている項目を掲載)

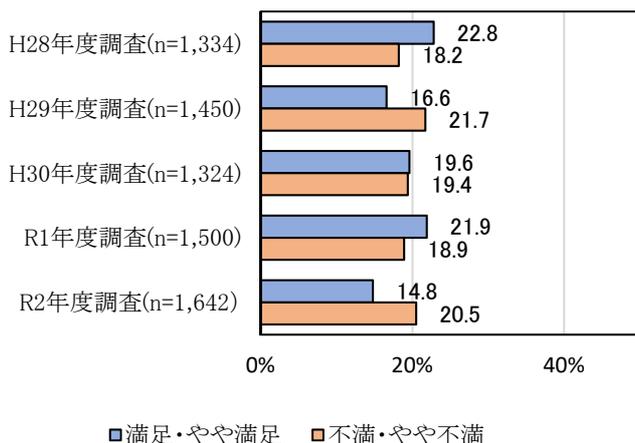
(2) 地域で子育て世代を支える取組



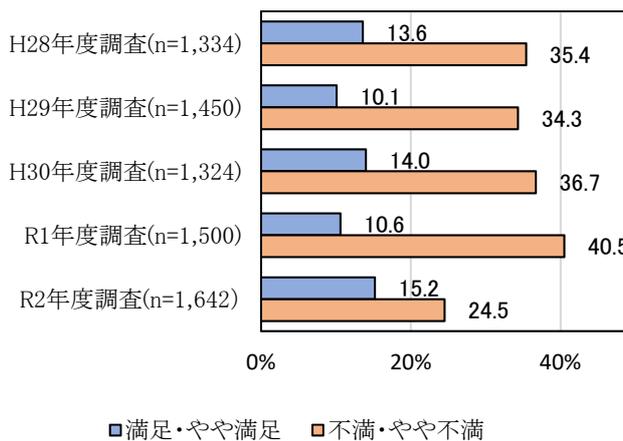
(3) 未来を拓く人づくりの取組



(4) 地域を支える人財育成の取組



(6) 絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組



問6-2-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」の施策のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「地域で子育て世代を支える取組」「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「地域で子育て世代を支える取組」が49.6%と最も割合が高く、次いで「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」が46.4%、「女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組」が36.7%となっている。

前年度(元年度)と比較してみると、「地域で子育て世代を支える取組」が21.3ポイント、「地域を支える人財育成の取組」が10.0ポイント増加している。

性・年代別でみると、「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」の割合は男性の20～30歳代で高く、「地域で子育て世代を支える取組」は女性の20～40歳代で高くなっている。

図19 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度

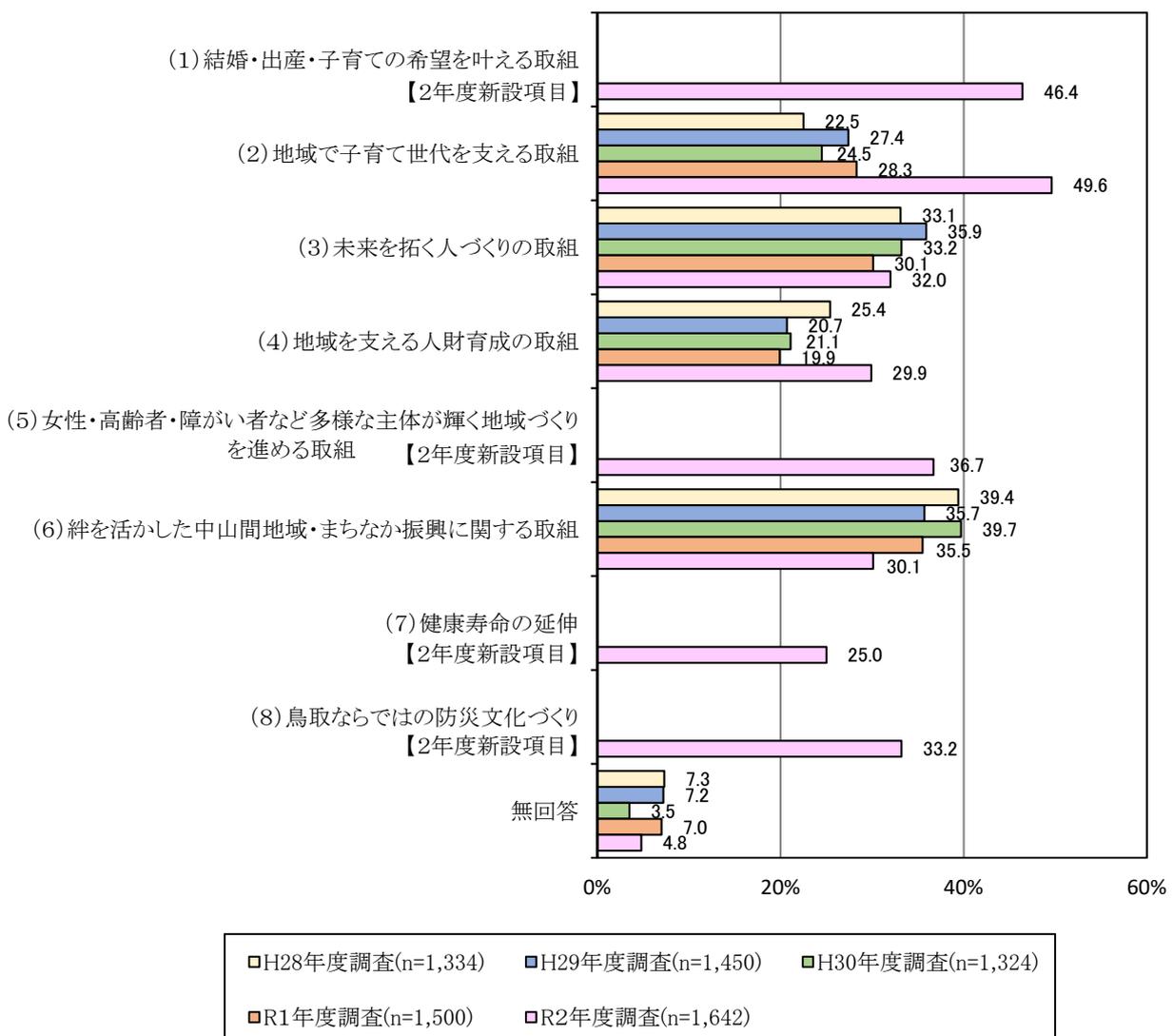
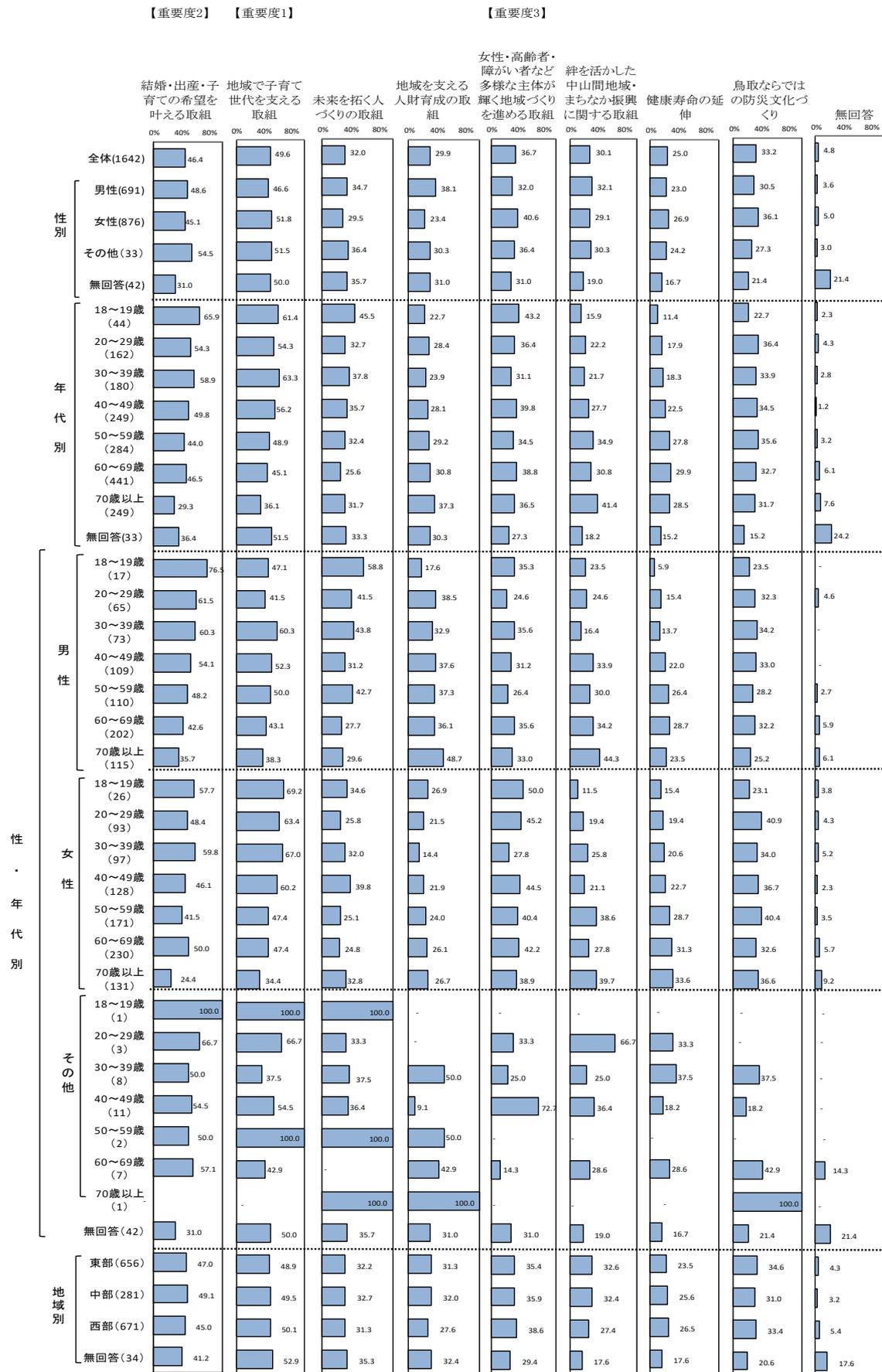


図 20 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む(今後優先すべき項目)



3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

問6-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度

～移住定住の取組やアート・文化、防災基盤構築の取組が上位～

「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」が29.2%と最も割合が高く、次いで「アート・文化による地域づくりへの取組」が26.4%、「強靱な防災基盤の構築に向けた取組」が19.4%となっている。

平成28年度-令和2年度を比較してみると、満足度は「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」「アート・文化による地域づくりへの取組」が29年度以降、年々増加している。

また、前年度(元年度)との比較では、満足度は「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」が13.4ポイント、「アート・文化による地域づくりへの取組」が11.8ポイント増加している。不満足度(不満・やや不満の計)は、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」が19.7ポイント、「自らの能力を發揮できる働き方の実現をめざす取組」が14.4ポイントと大きく減少している。

図21 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度(n=1,642)

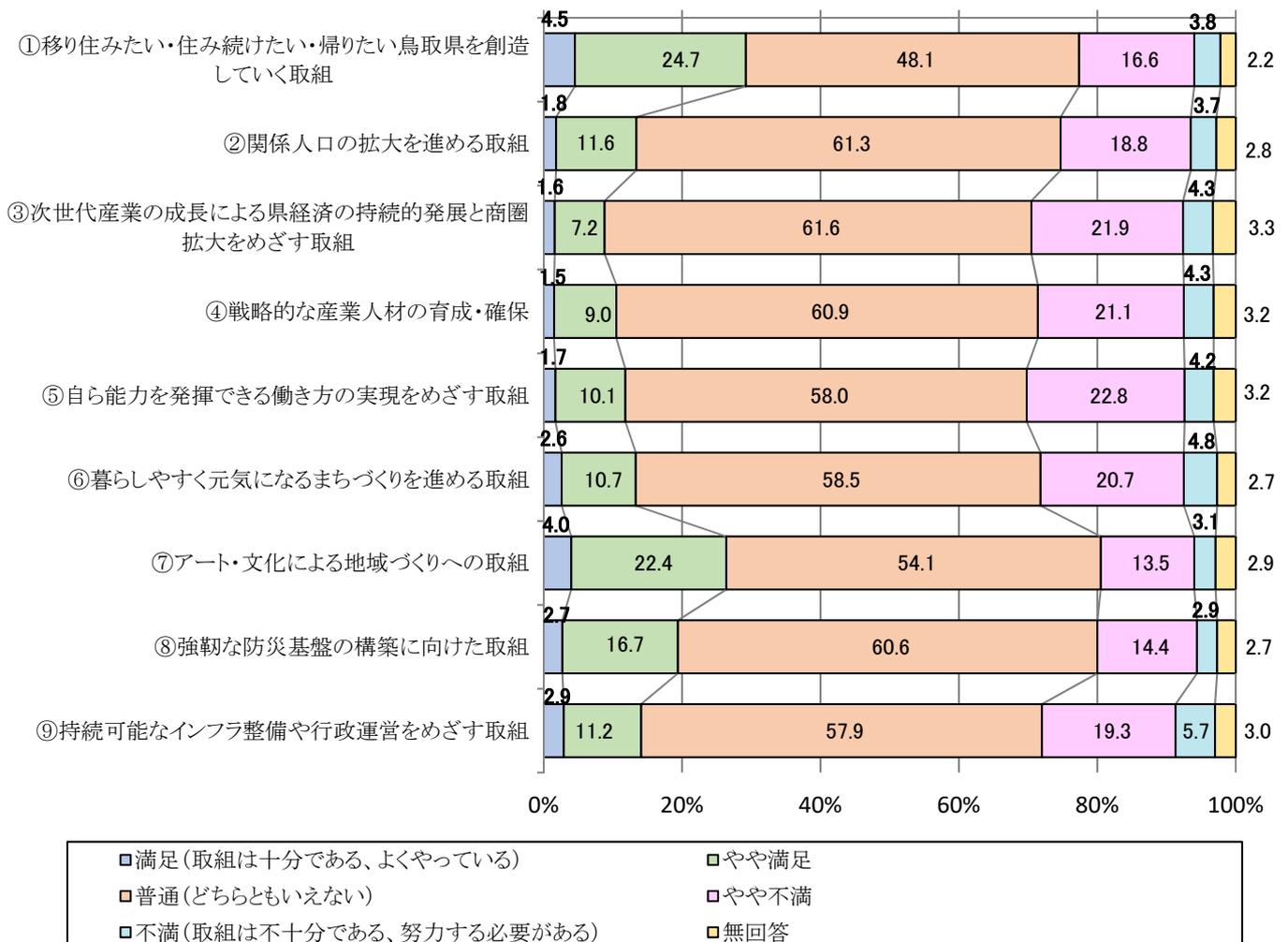
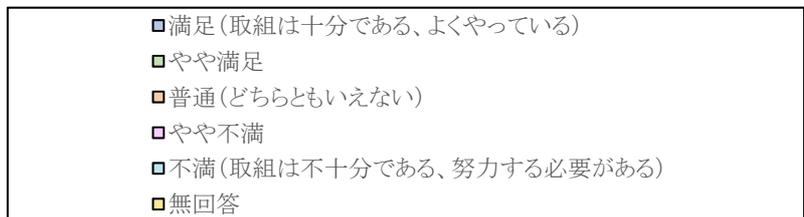
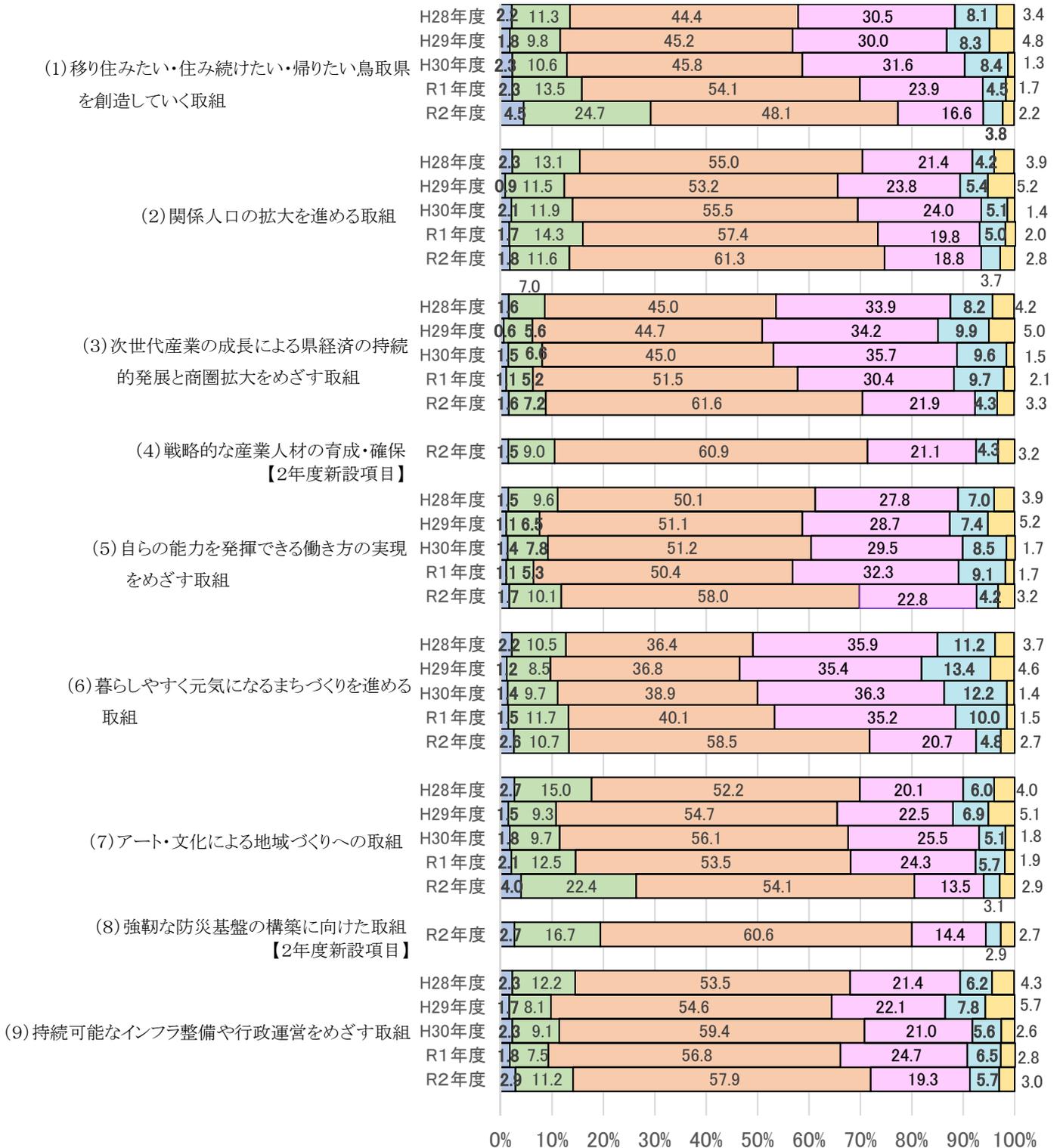


図22 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」満足度



●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

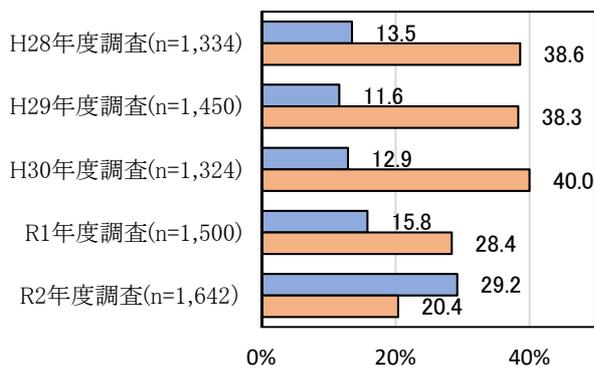
- (1) 移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組 【+13.4】
- (7) アート・文化による地域づくりへの取組 【+11.8】
- (5) 自らの能力を發揮できる働き方の実現をめざす取組 【+5.4】
- (9) 持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組 【+4.8】
- (3) 次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圈拡大をめざす取組 【+2.5】
- (6) 暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組 【+0.1】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

該当なし

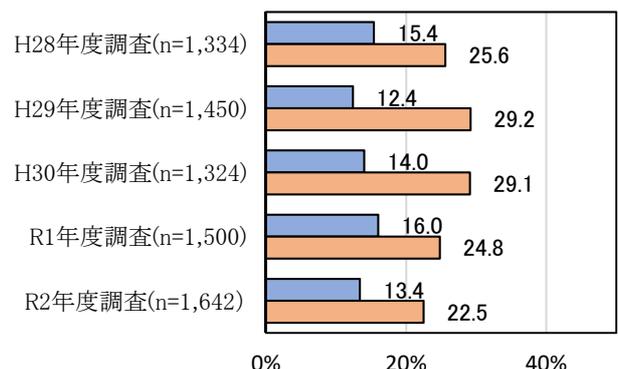
●満足度・不満足度の比較 (H28年度～R2年度までのデータが揃っている項目を掲載)

(1) 移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組



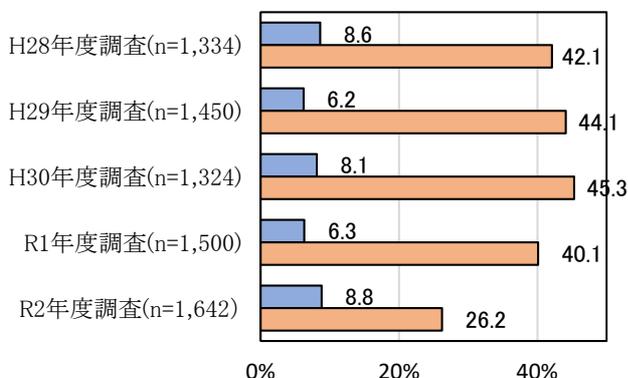
■満足・やや満足 ■不満・やや不満

(2) 関係人口の拡大を進める取組



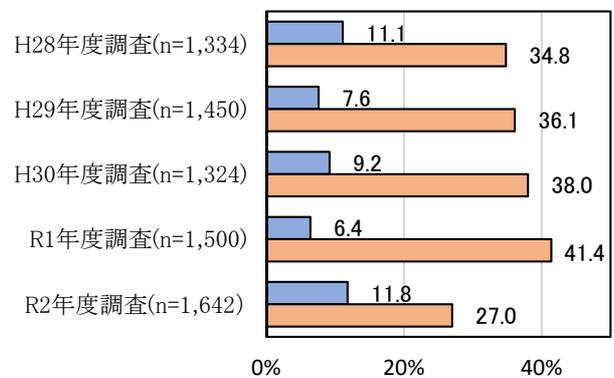
■満足・やや満足 ■不満・やや不満

(3) 次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圈拡大をめざす取組



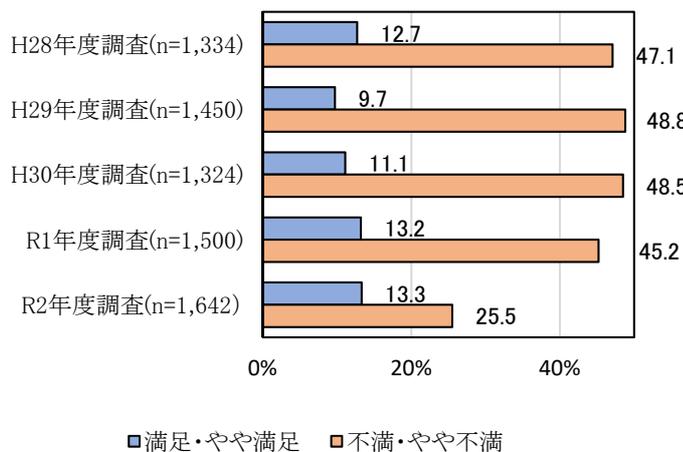
■満足・やや満足 ■不満・やや不満

(5) 自らの能力を發揮できる働き方の実現をめざす取組

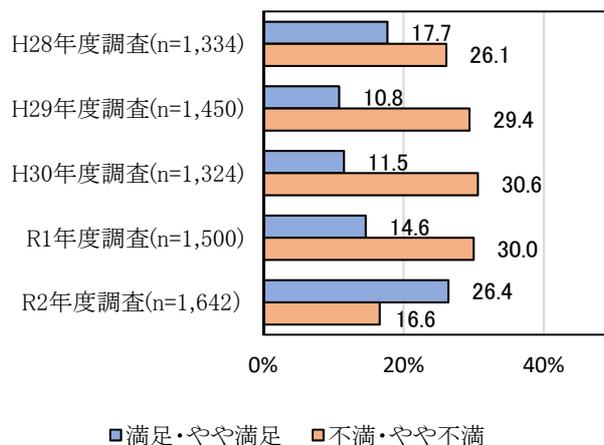


■満足・やや満足 ■不満・やや不満

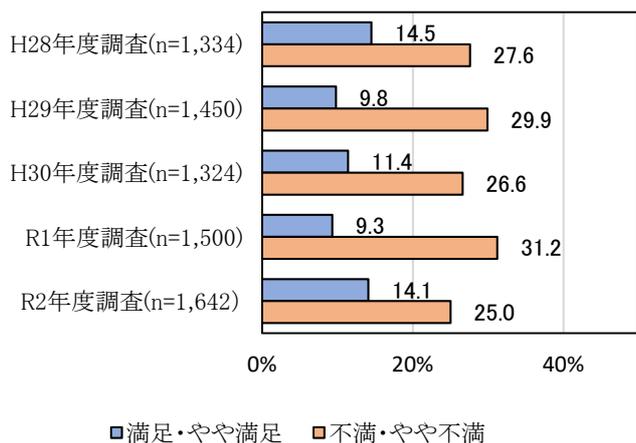
(6) 暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組



(7) アート・文化による地域づくりへの取組



(9) 持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組



問 6-3-2 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」の施策等のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

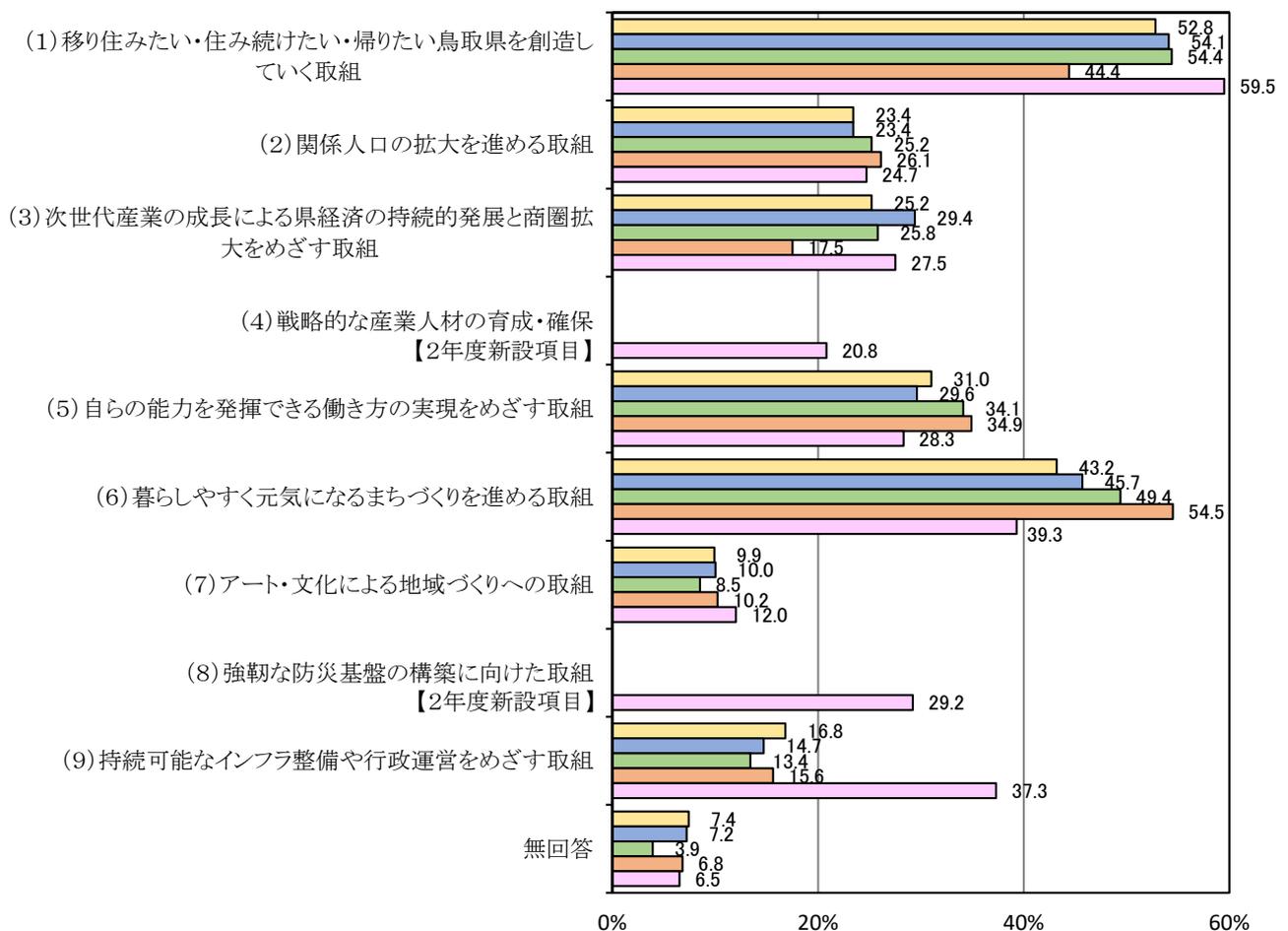
～「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」が59.5%と最も割合が高く、次いで「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」が39.3%、「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」が37.3%となっている。

平成 28 年度-令和2年度を比較してみると、「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」は元年度まで1割台で推移しているが、2年度はこれまでの2倍以上と大幅に増加している。

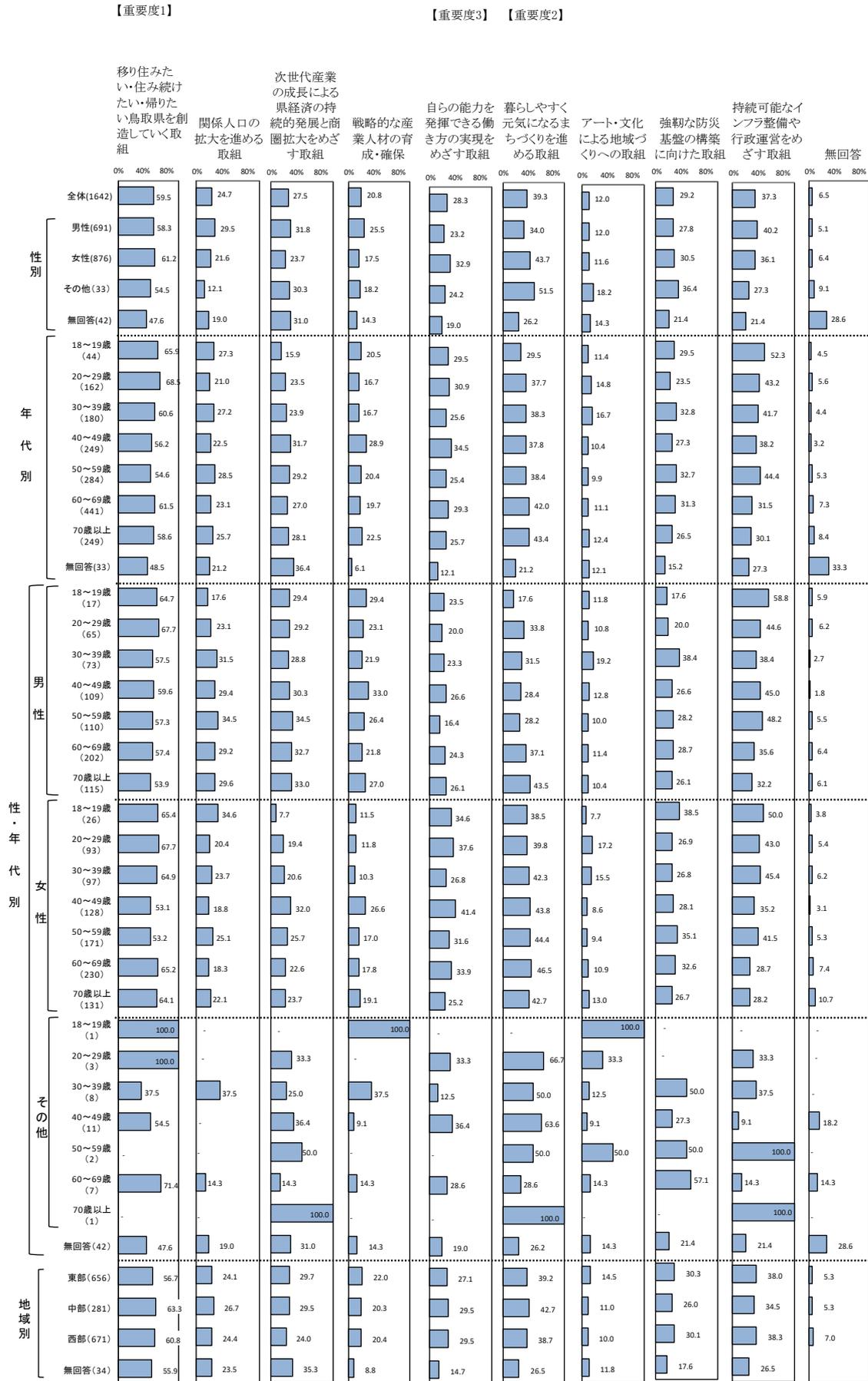
性・年代別でみると、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」の割合は男性の20歳代、女性の20～30歳代と60歳代以上で高くなっている。「自らの能力を發揮できる働き方の実現をめざす取組」は女性の40歳代が高く、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」は70歳代を除く全ての年代で男性より女性の割合が高くなっている。

図23 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度



■ H28年度調査(n=1,334)
 ■ H29年度調査(n=1,450)
 ■ H30年度調査(n=1,324)
■ R1年度調査(n=1,500)
 ■ R2年度調査(n=1,642)

図 24 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ(今後優先すべき項目)



4 男女共同参画社会づくり

問7 あなたは、次の言葉をご存知ですか。それぞれひとつずつに○をしてください。

～「知っている」割合は「ワーク・ライフ・バランス」が約3割、「男女共同参画社会」が約5割～

ワーク・ライフ・バランスについて「知っている」が33.6%、一方、「知らない」が32.3%となっている。男女共同参画社会については、「知っている」が52.1%、「知らない」が10.7%となっている。

平成29年度-令和2年度を比較してみると、「ワーク・ライフ・バランス」、「男女共同参画社会」ともに「知っている」は前年度(元年度)まで年度毎に増加傾向にあるが、2年度は減少している。

年代別でみると、「ワーク・ライフ・バランス」を「知っている」は30歳代が高く、「男女共同参画社会」を「知っている」は20～30歳代と50歳代で高くなっている。

性・年代別でみると、「ワーク・ライフ・バランス」を「知っている」は女性の20～30歳代、「男女共同参画社会」を「知っている」は女性の20歳代と50歳代で高くなっている。

図25 あなたは次の言葉をご存知ですか (n=1,642)

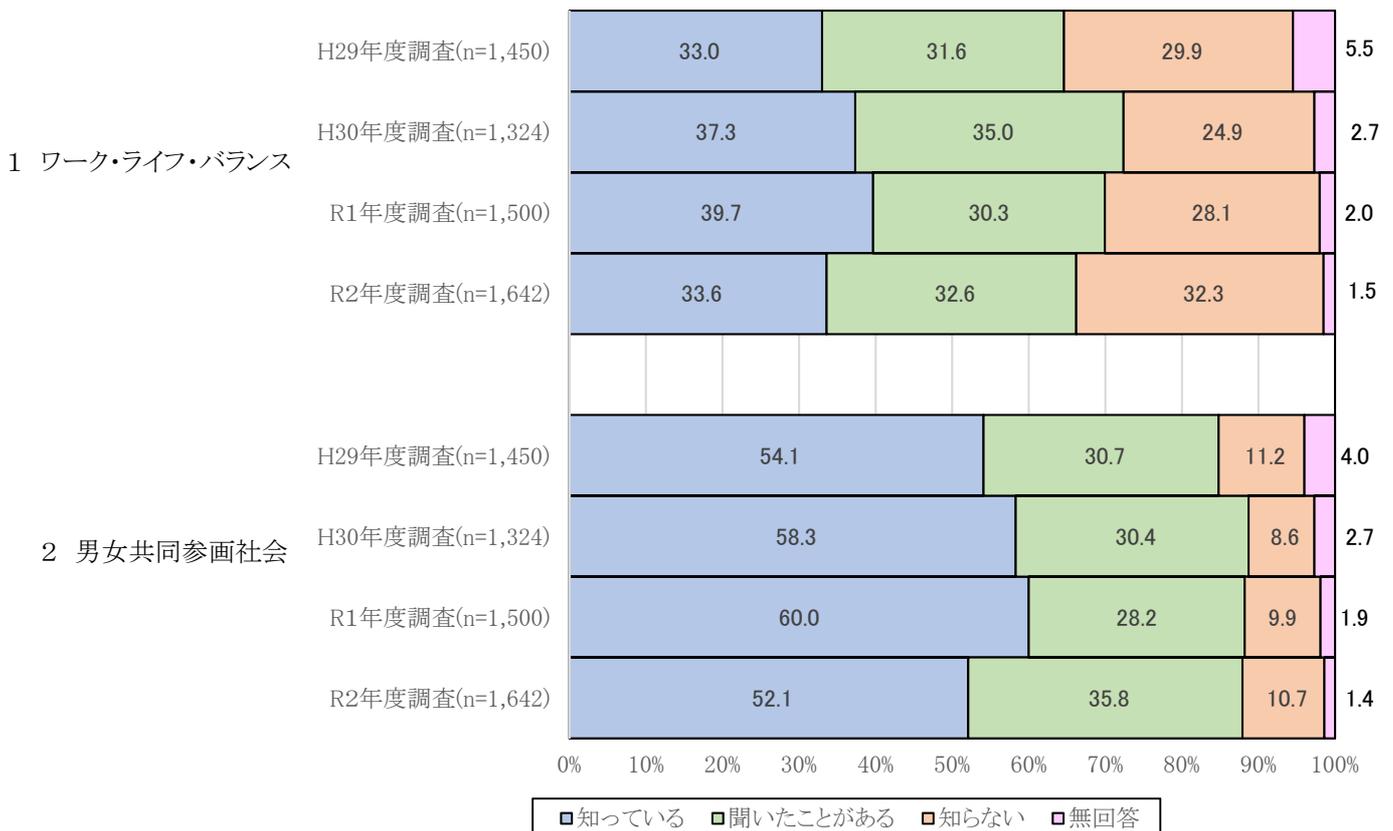


図26 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っているか

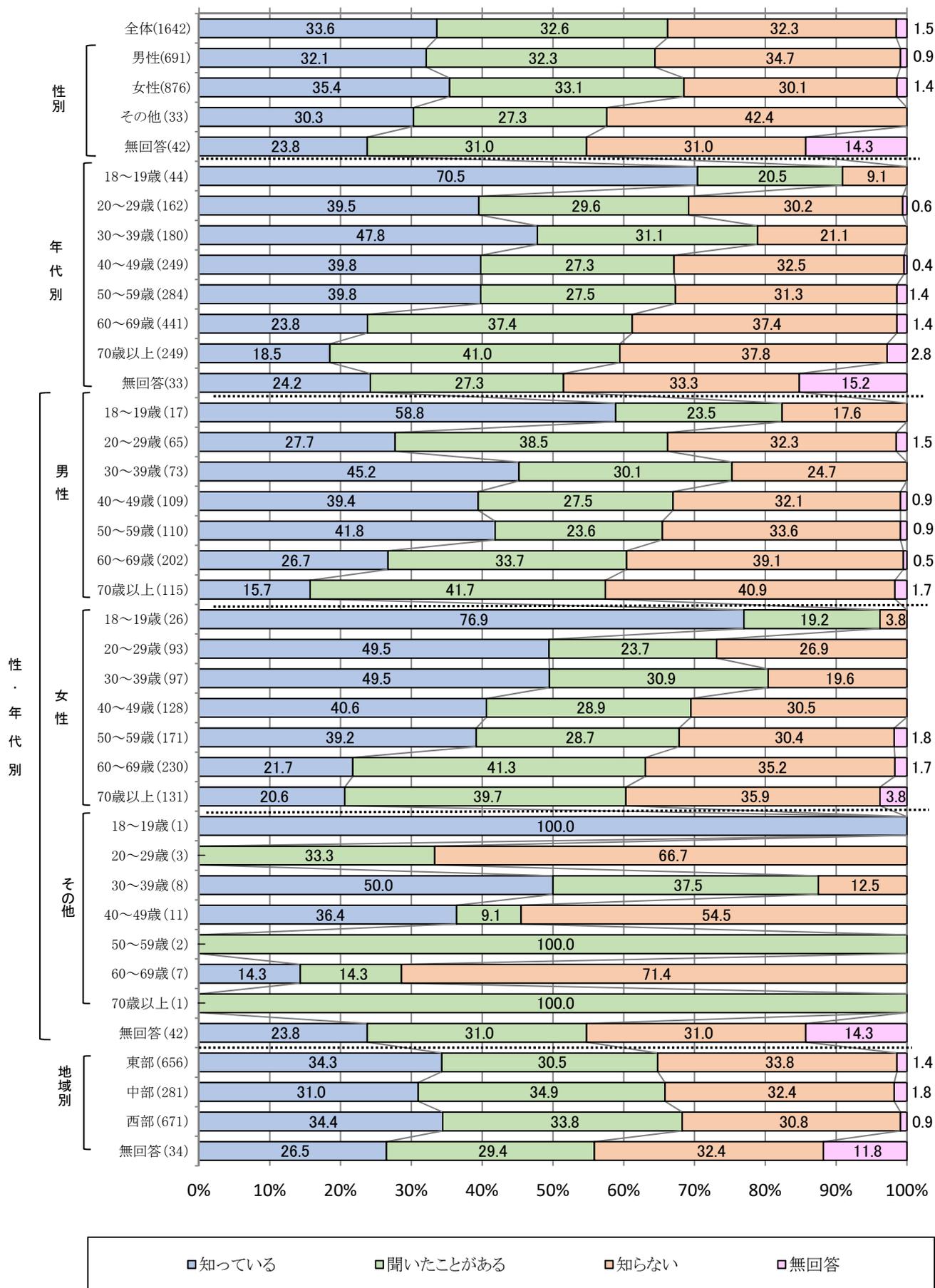
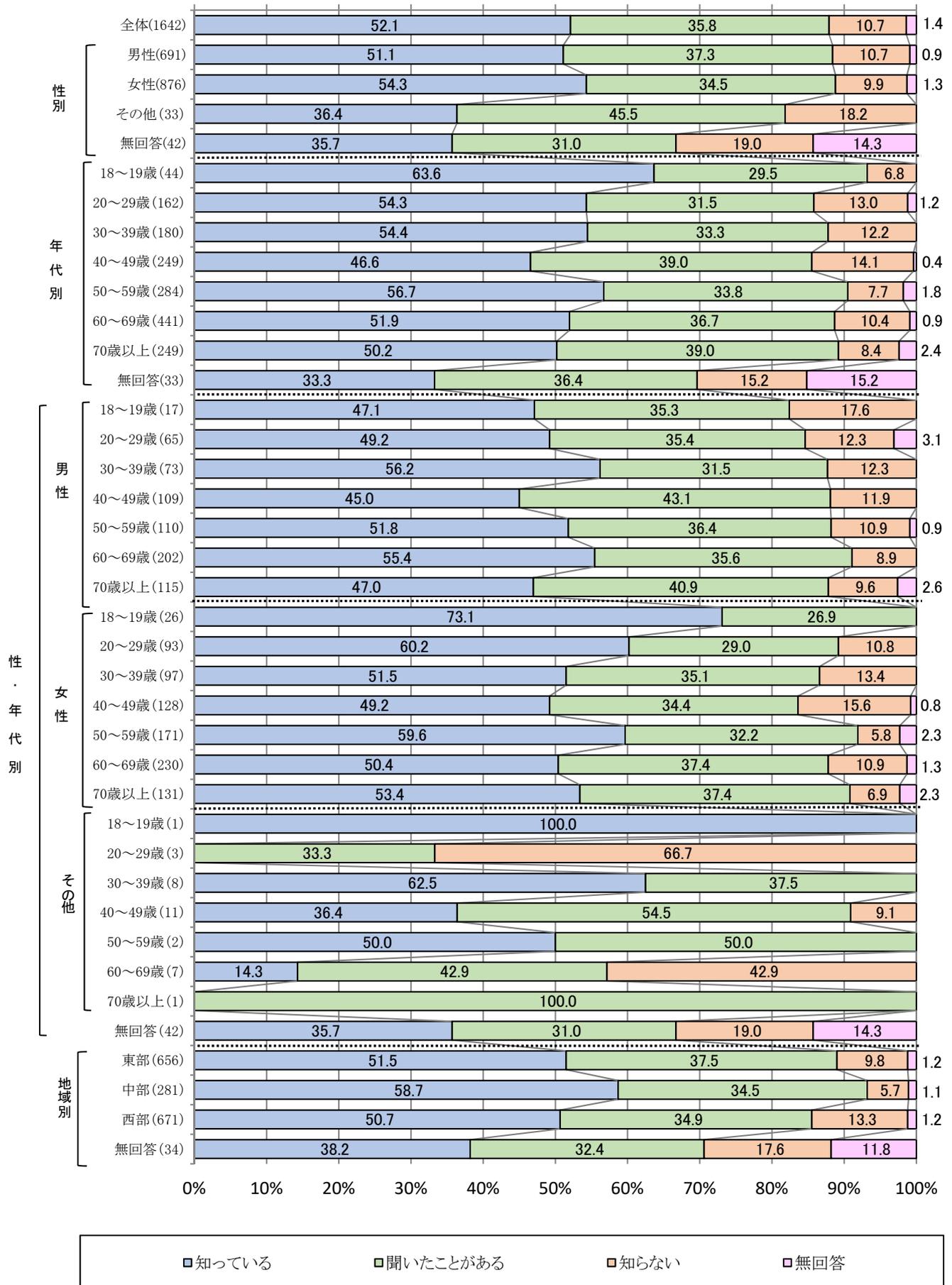


図27 「男女共同参画」という言葉を知っているか



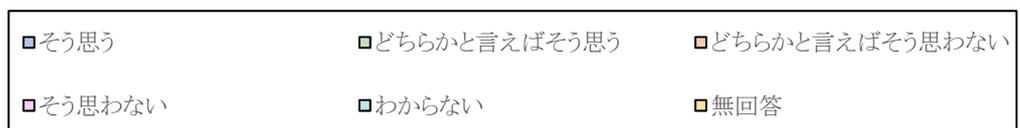
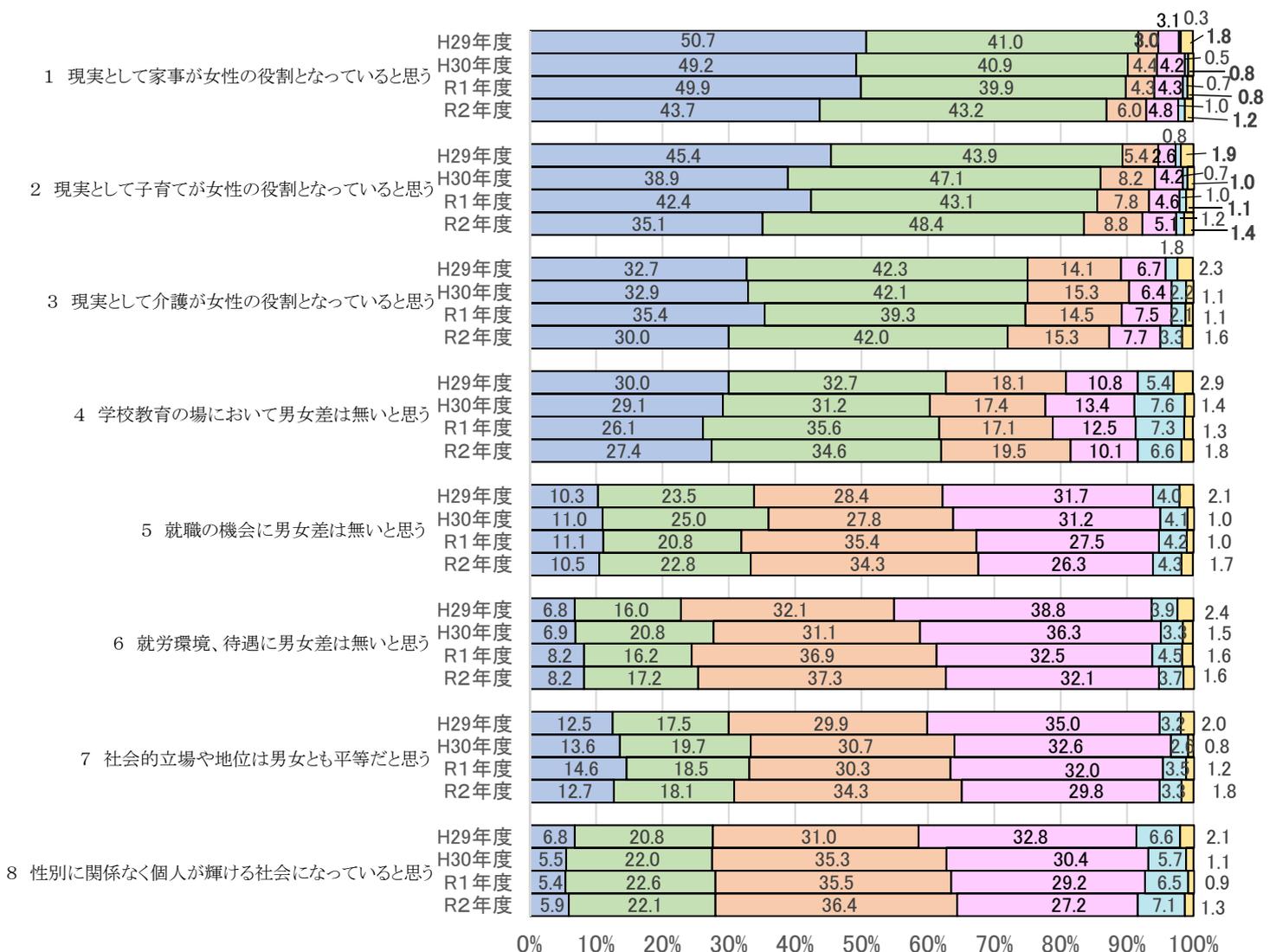
問8 男女に関する役割などについてお聞きします。次の項目(設問)についてどう思われますか、項目ごとに表中のいずれかに○を記入してください。

～現実として「家事、子育て、介護が女性の役割」となっていると思う人が多数～

男女に関する役割などについて、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を合わせるとは、「現実として家事が女性の役割となっていると思う」が86.9%と最も割合が高く、次いで「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」が83.5%、「現実として介護が女性の役割となっていると思う」が72.0%となっている。

また、平成29年度-令和2年度を比較してみると、「現実として家事が女性の役割となっている」、「現実として子育てが女性の役割となっている」、「現実として介護が女性の役割となっている」は、「そう思う」の割合が年度毎に減少している。

図28 男女に関する役割(n=1,642)



問9 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策
(〇は3つまで)

～「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」
「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」「男性の家庭での活躍を促す、経営者・従業員に向けた職場における意識啓発」が上位～

男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」が66.3%と最も割合が高く、次いで「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」が53.3%、「男性の家庭での活躍を促す、経営者・従業員に向けた職場における意識啓発」が50.3%となっている。

前年度(令和元年度)と比較してみると、「男性の家庭での活躍を促す、経営者・従業員に向けた職場における意識啓発」の割合が4.8ポイントと特に増加している。

年代別でみると、「男性の家庭での活躍を促す、経営者・従業員に向けた職場における意識啓発」「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」は20～40歳代で割合が高くなっている。

性・年代別でみると、「男性の家庭での活躍を促す、経営者・従業員に向けた職場における意識啓発」は男性の20歳代と50歳代、女性の20～40歳代で割合が高く、「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」は女性の20～30歳代で割合が高くなっている。

図29 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思いますか(n=1,642)

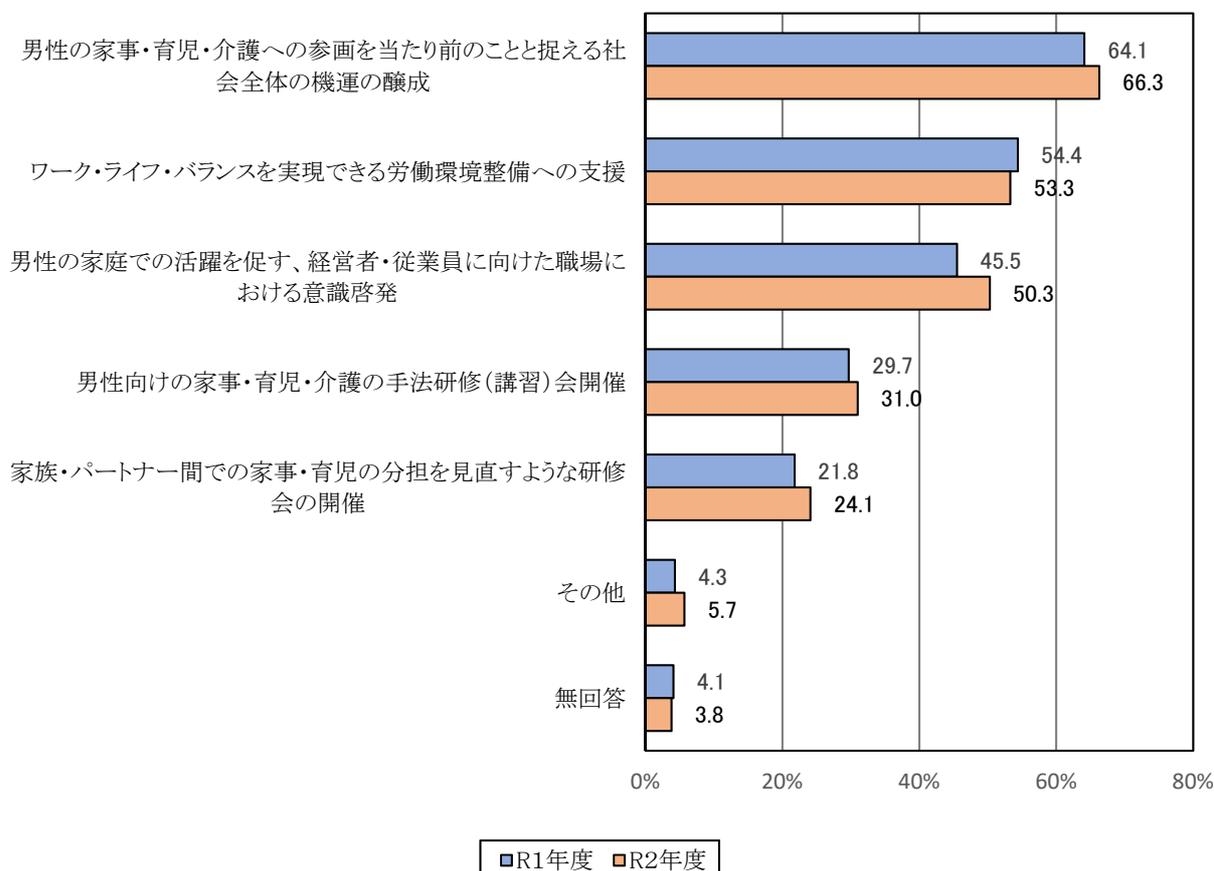
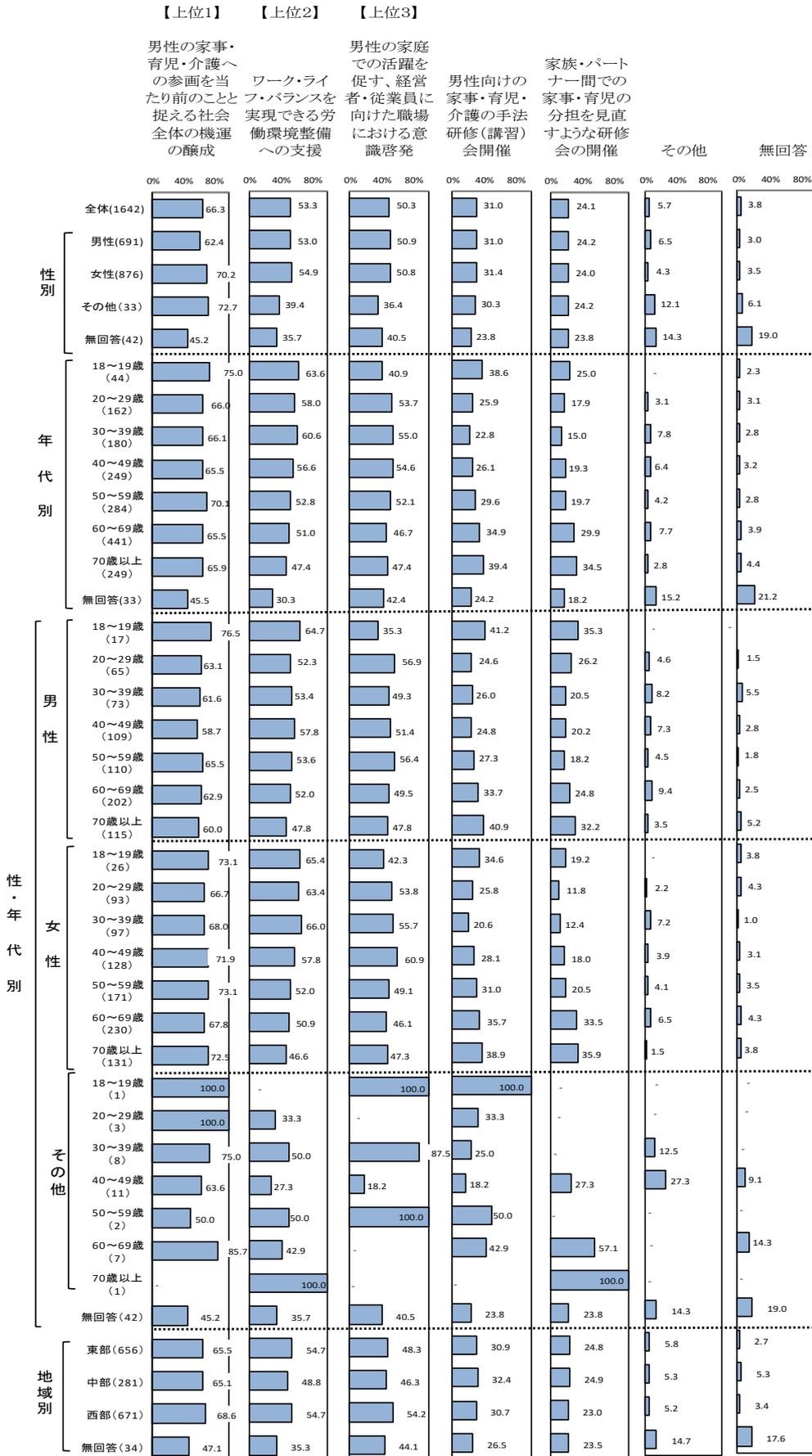


図 30 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策



問 10 男女ともにワーク・ライフ・バランスの実践を促す労働環境をつくるために、行政が行うべき施策(〇はいくつでも)

～「ワーク・ライフ・バランスを実現するための労働環境整備の支援」、「部下の仕事と家庭の両立を応援する「イクボス・ファミボス」の理念普及、機運醸成のための広報」、「企業(雇用主)対象のイクボス・ファミボス研修会等の開催」が上位～

男女ともにワーク・ライフ・バランスの実践を促す労働環境をつくるために、行政が行うべき施策は、「ワーク・ライフ・バランスを実現するための労働環境整備の支援」が67.5%と最も割合が高く、次いで「部下の仕事と家庭の両立を応援する「イクボス・ファミボス」の理念普及、機運醸成のための広報」が41.6%、「企業(雇用主)対象のイクボス・ファミボス研修会等の開催」が34.4%となっている。

平成 30 年度-令和2年度を比較してみると、「部下の仕事と家庭の両立を応援する「イクボス・ファミボス」の理念普及、機運醸成のための広報」の割合が年度毎に増加している。

年代別でみると、「ワーク・ライフ・バランスを実現するための労働環境整備の支援」は30～40歳代で高くなっている。

性・年代別でみると、「部下の仕事と家庭の両立を応援する「イクボス・ファミボス」の理念普及、機運醸成のための広報」は女性の30歳代の割合が高くなっている。

図31 男女ともにワーク・ライフ・バランスの実践を促す労働環境をつくるために、行政が行うべき施策(n=1,642)

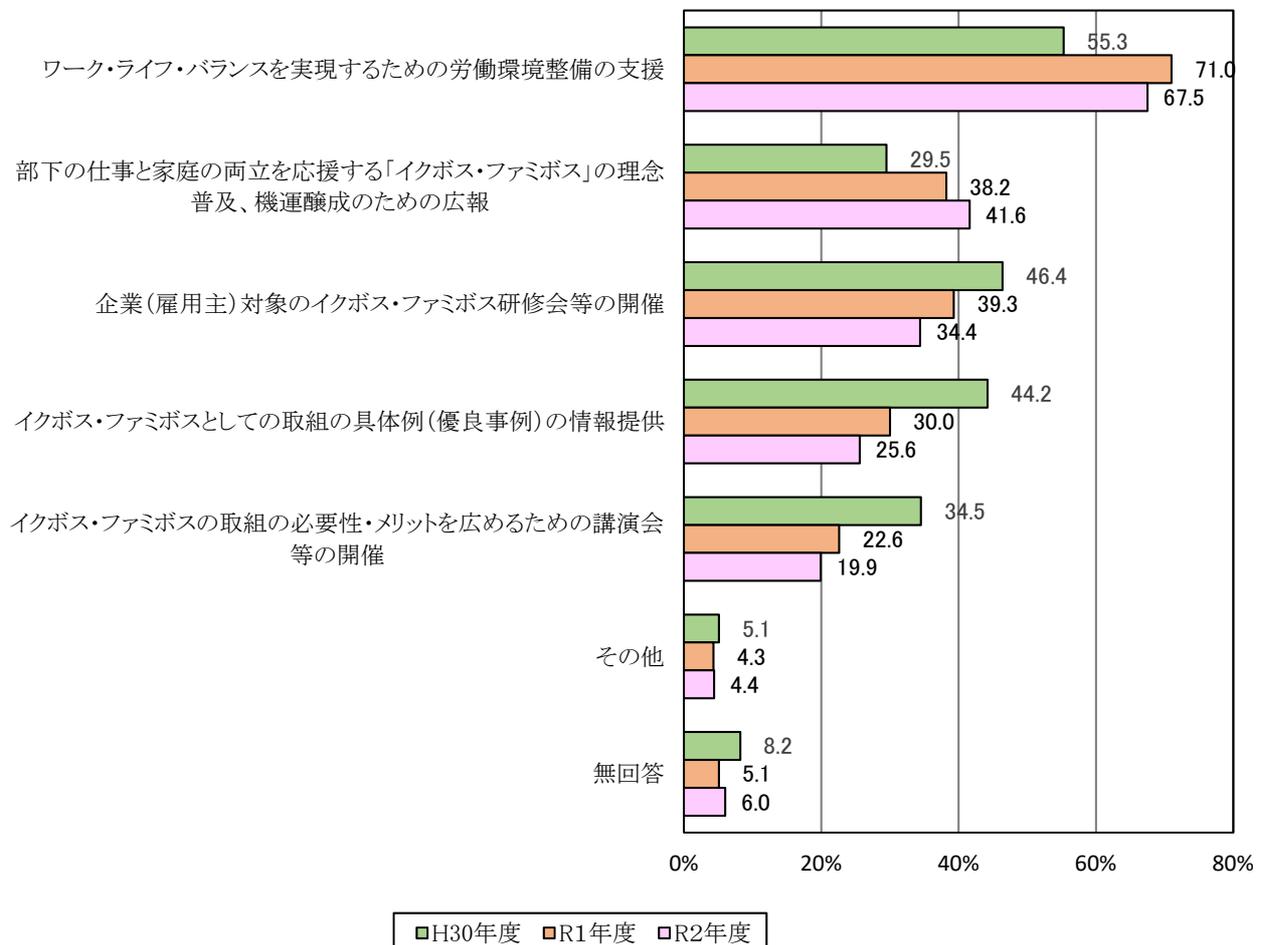
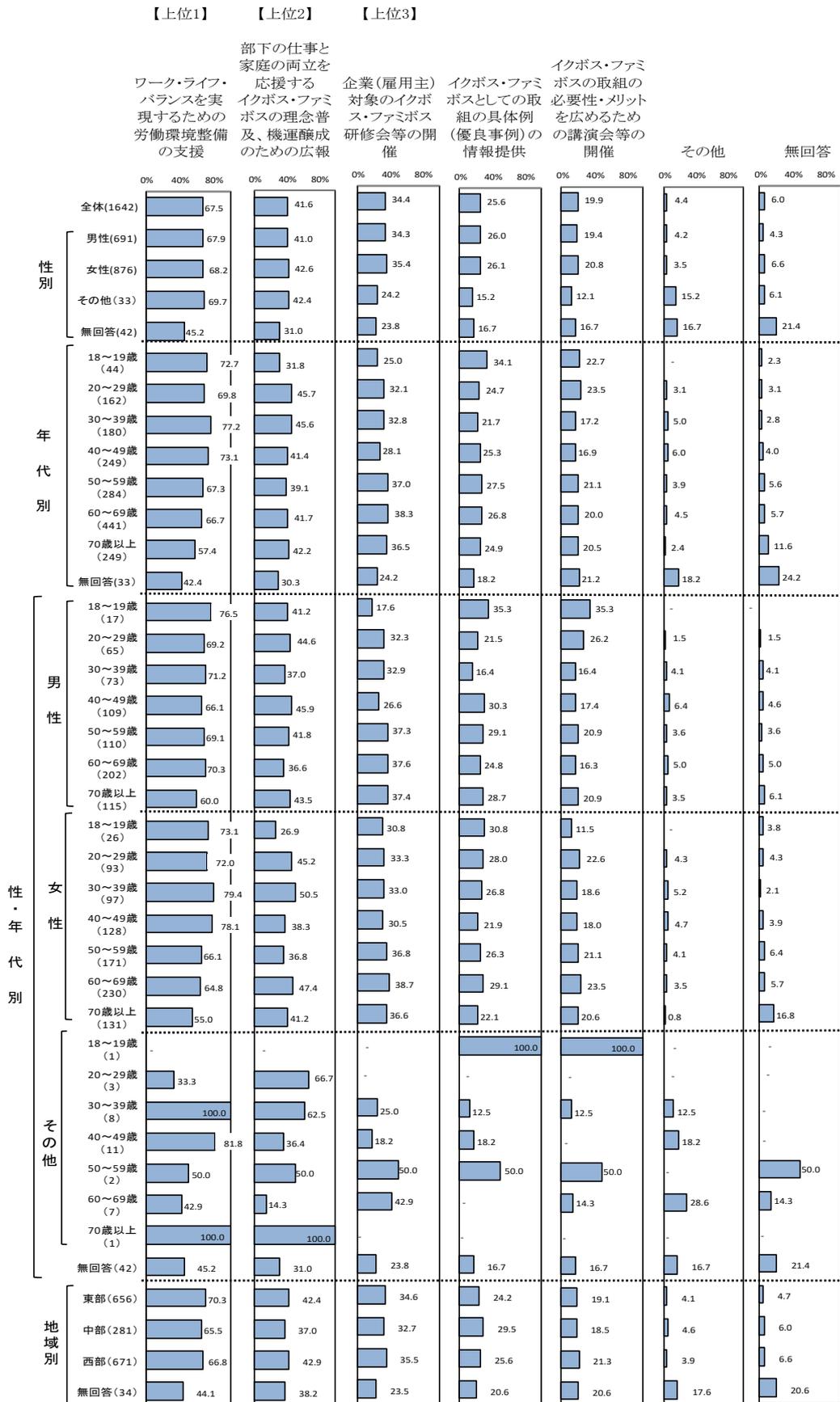


図 32 男女ともにワーク・ライフ・バランスの実践を促す労働環境整備をつくるために、行政が行うべき施策



問 11 介護と仕事を両立するために、行政が行うべき施策は何だと思いますか。

(○は3つまで)

～「男性の介護休暇(介護休業)取得に関して企業(雇用主)に対する経済的支援(補助金制度)」、「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」、「介護による離職者を再雇用した企業(雇用主)に対する経済的支援(補助金制度)」が上位～

介護と仕事を両立するために、行政が行うべき施策は、「男性の介護休暇(介護休業)取得に関して企業(雇用主)に対する経済的支援(補助金制度)」が47.0%と最も割合が高く、次いで「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」が46.5%、「介護による離職者を再雇用した企業(雇用主)に対する経済的支援(補助金制度)」が43.2%となっている。

平成30年度-令和2年度を比較してみると、「男性の介護休暇(介護休業)取得に関して企業(雇用主)に対する経済的支援(補助金制度)」の割合が令和元年度と比較し、1.7ポイント増加している。

性・年代別でみると、「男性の介護休暇(介護休業)取得に関して企業(雇用主)に対する経済的支援(補助金制度)」の割合は男性の40歳代、60歳以上、女性の30歳代で高く、「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」の割合は女性の20～30歳代で高くなっている。

図33 介護と仕事を両立するために、行政が行うべき施策(n=1,642)

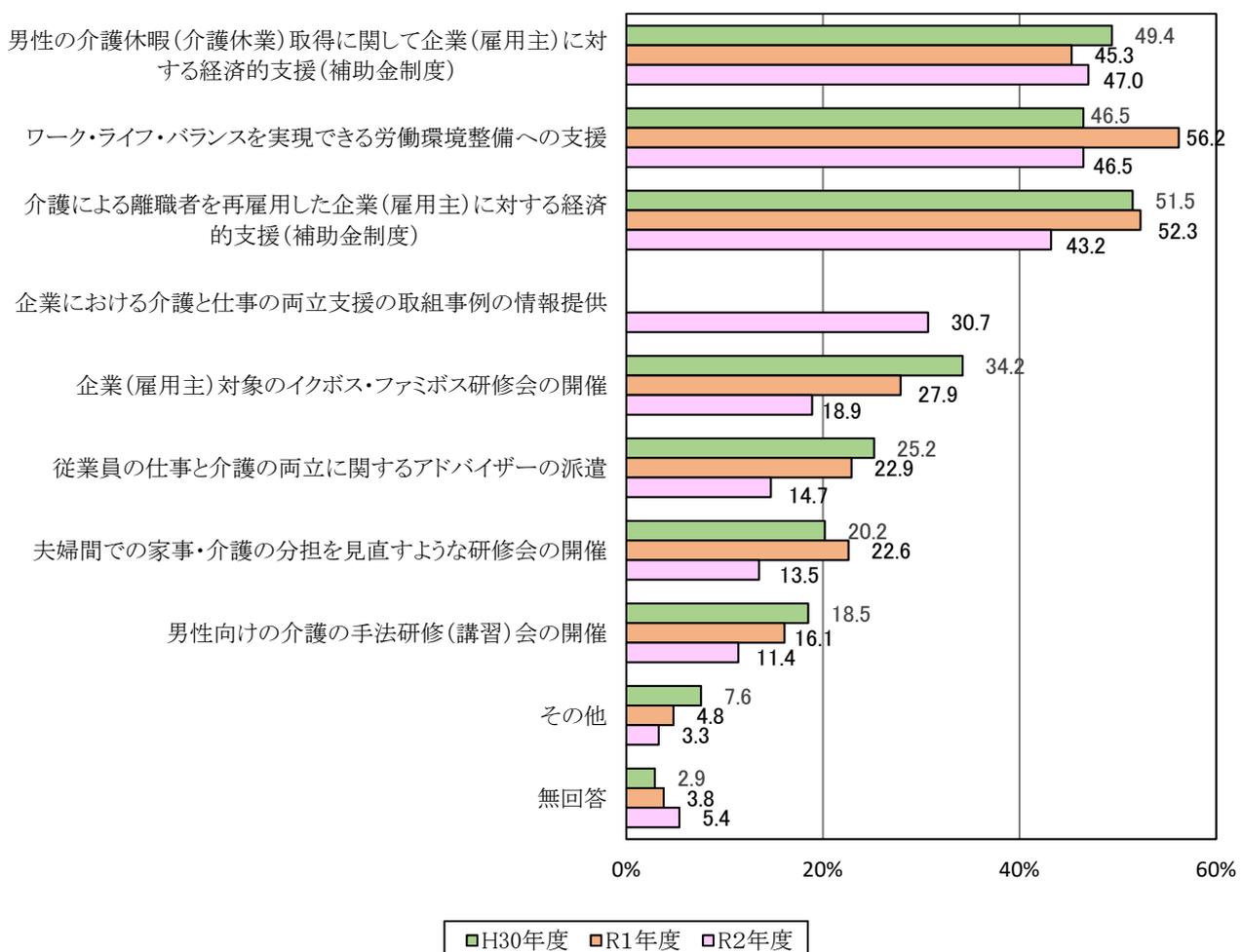
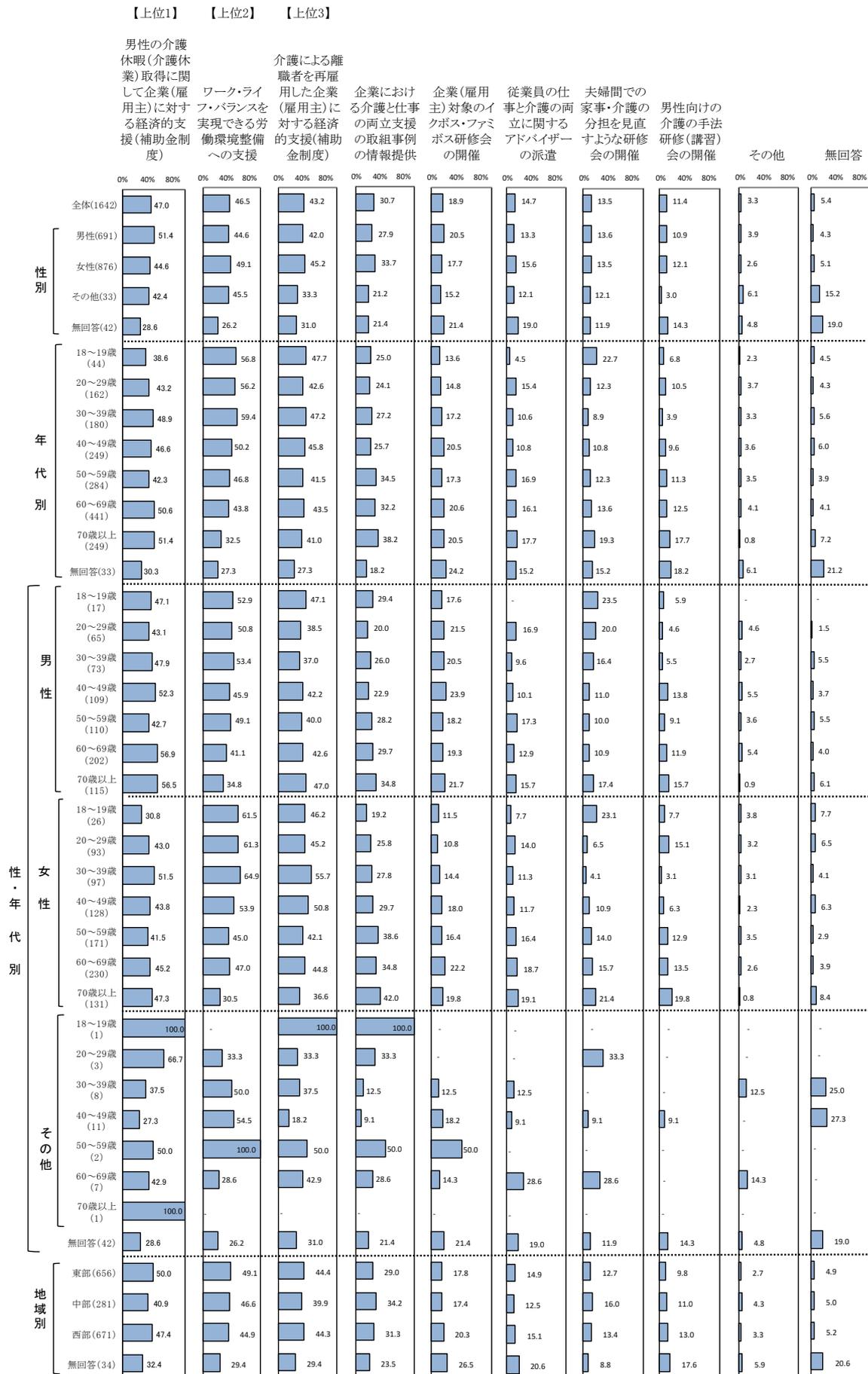


図 34 介護と仕事を両立するために、行政が行うべき施策



問12 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いますか。(〇は3つまで)

～就労における男女の機会均等を進める企業の取組支援や介護、保育・子育て支援の取組が上位～

男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは、「就労における男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」が40.5%と最も割合が高く、次いで「介護の施設・サービスや介護支援の充実」が39.7%、「保育の施設・サービスや子育て支援の充実」が36.1%となっている。

男女別で見ると、「介護の施設・サービスや介護支援の充実」「子育てや介護等で離職した人の再就職支援」は男性より女性の割合が高くなっている。

性・年代別で見ると、「就労における男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」の割合は男性の20歳代と50～60歳代、女性の50～60歳代で高く、「保育の施設・サービスや子育て支援の充実」の割合は男性の30歳代、女性の20～30歳代で高くなっている。また、「介護の施設・サービスや介護支援の充実」の割合は女性の50歳代以上で高くなっている。

図35 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきこと(n=1,642)

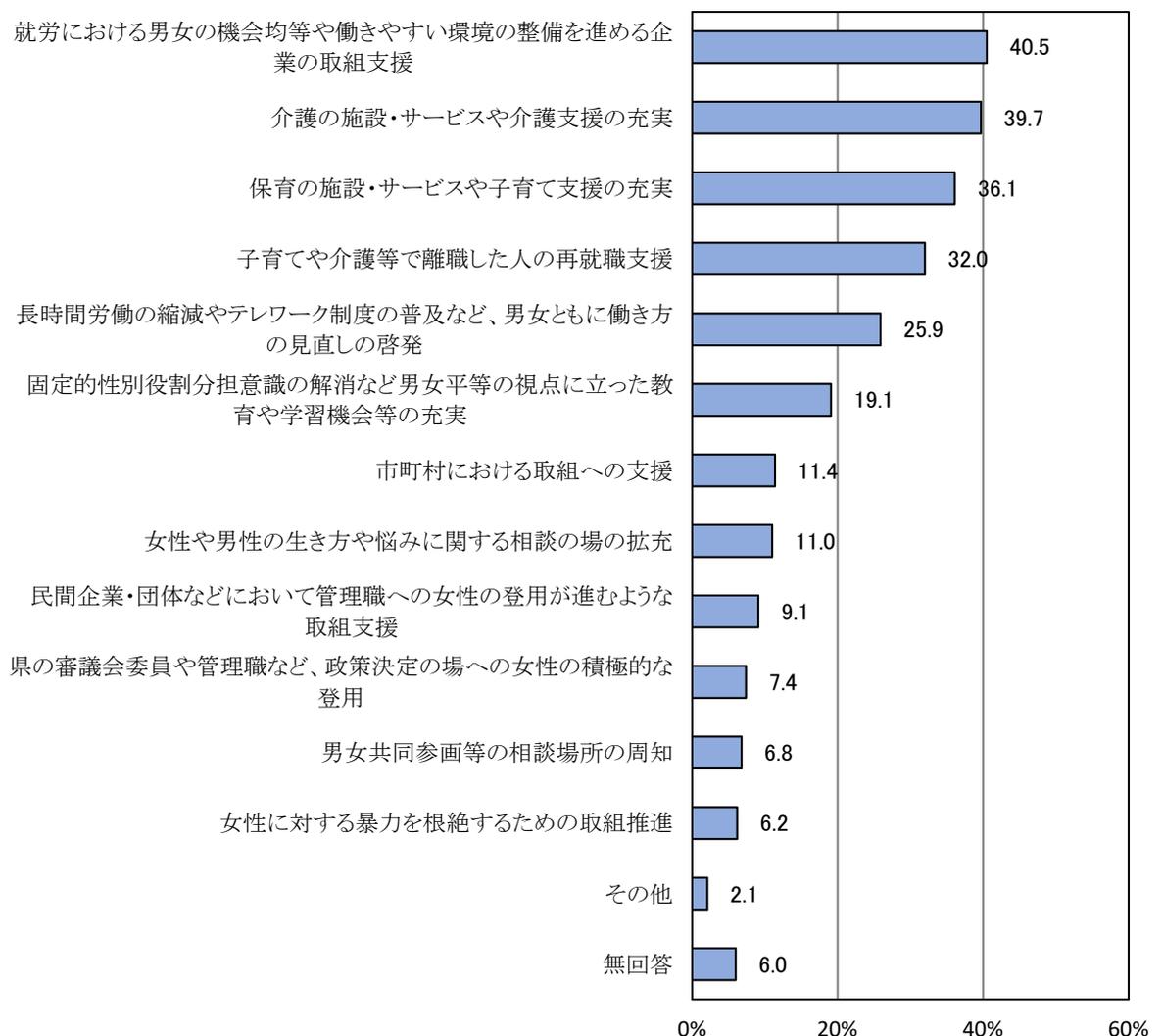
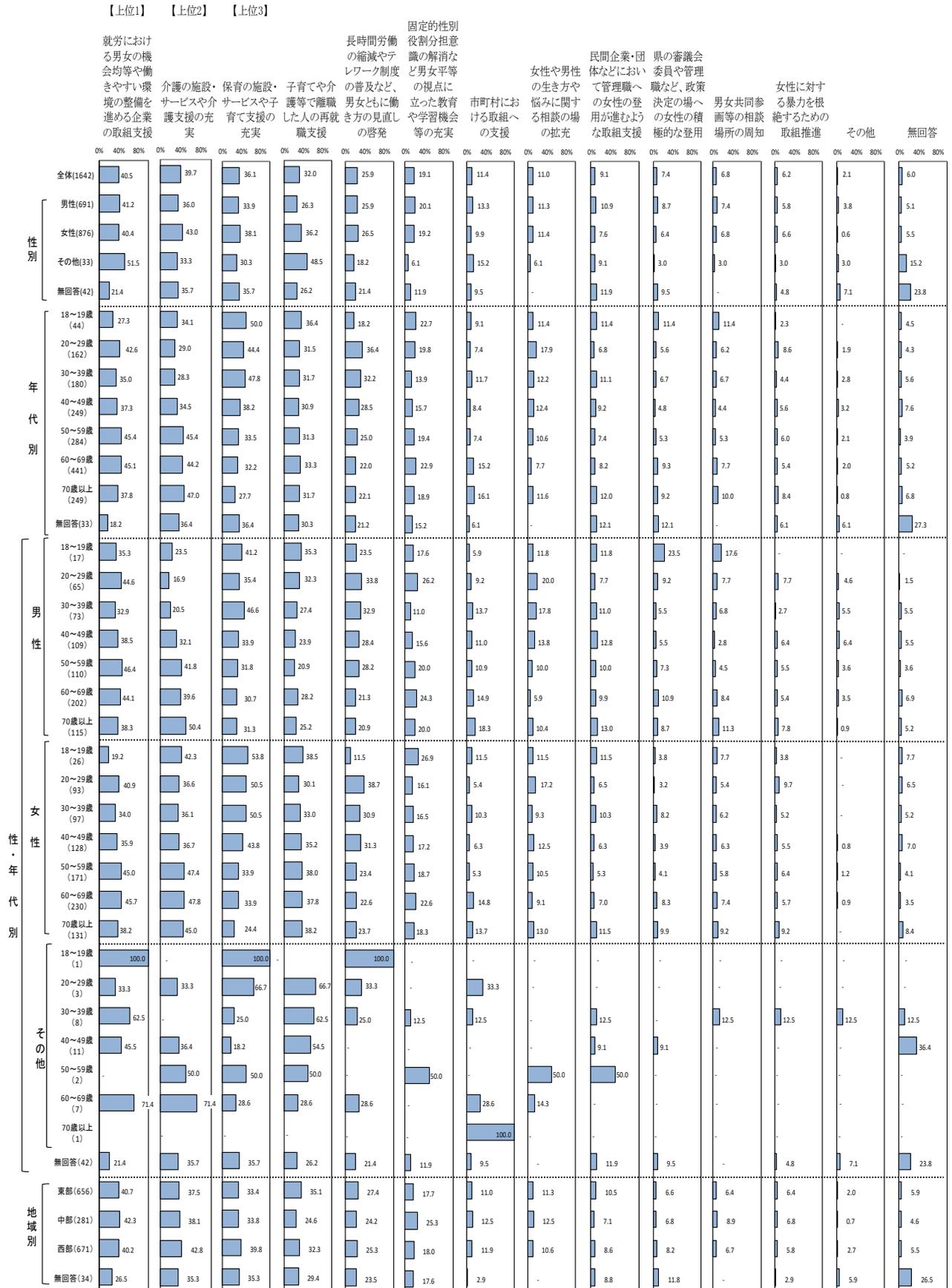


図 36 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきこと



Ⅲ 重点施策への関心・認識<SDGs（持続可能な開発目標）の認知度について>

問 13あなたは国連で採択された SDGs という言葉・内容を聞いたことがありますか。

～「聞いたことがある」が約3割、「聞いたことがない」が約7割～

国連で採択された SDGs という言葉・内容を聞いたことがあるかについて、「聞いたことがある」が 29.9%、「聞いたことがない」が 68.9%となっている。

「聞いたことがある」割合は、年代別にみると、20～50 歳代の比較的若い世代では3割以上となっており、標本数が少ないため参考データとなるが、特に 18～19 歳では約5割となっている。

性・年代別でみると、「聞いたことがある」の割合は男性の 40 歳代は約4割、女性の 20～30 歳代で3割台の後半となっており、他の年代より高くなっている。

図37 SDGsという言葉・内容をきいたことがあるか(n=1,642)

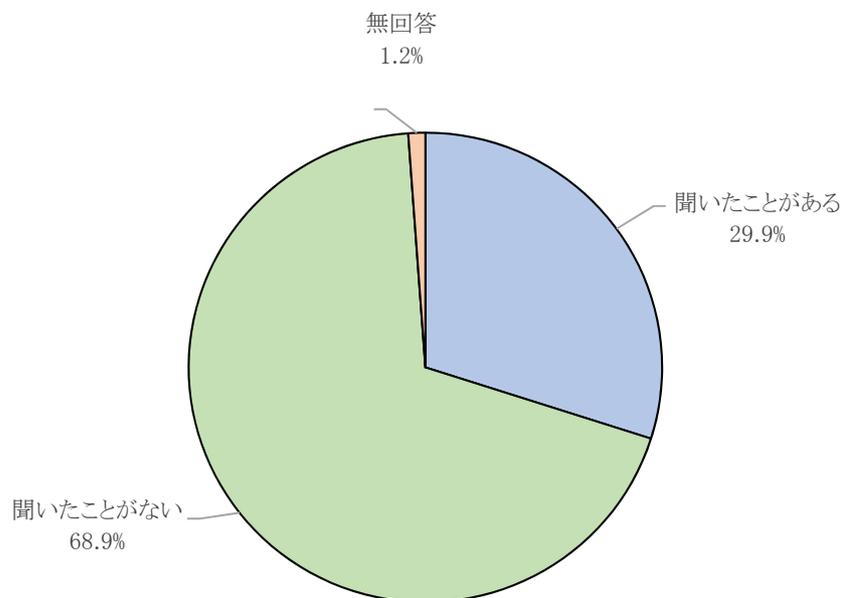
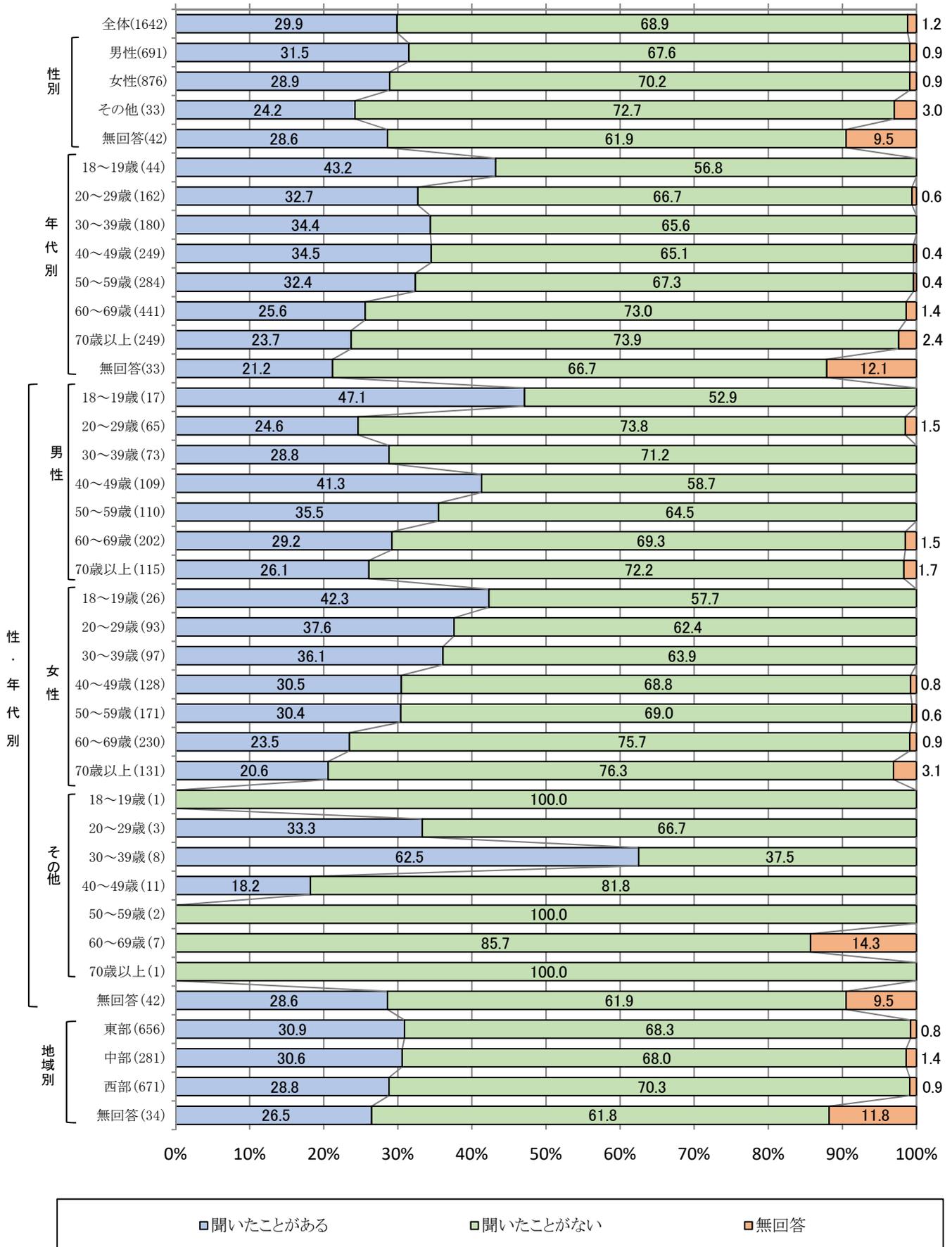


図38 SDGsという言葉・内容を聞いたことがあるか



問 14 (「聞いたことがある」と回答した方へ)SDGsという言葉・内容をどうやって知りましたか。
(〇はいくつでも)

～「テレビ」「新聞・雑誌」が4割以上～

SDGsという言葉・内容をどうやって知ったかについて、「テレビ」が 48.5%と最も割合が高く、次いで、「新聞・雑誌」が 44.4%、「インターネット」が 23.0%となっている。

年代別でみると、「テレビ」は 30～40 歳代、70 歳代以上で高く、「新聞・雑誌」は 60 歳代以上で高くなっている。

図39 SDGsをどうやって知ったか(n=491)

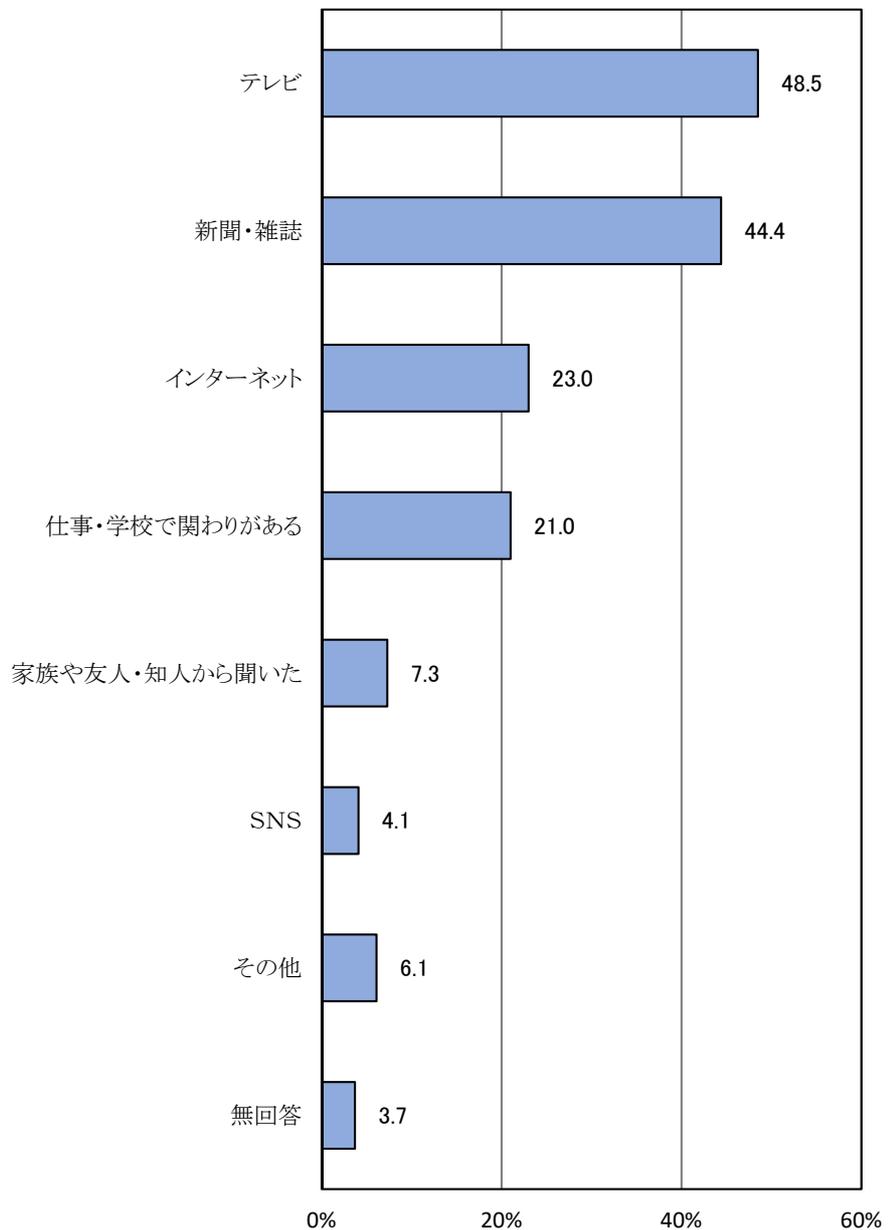
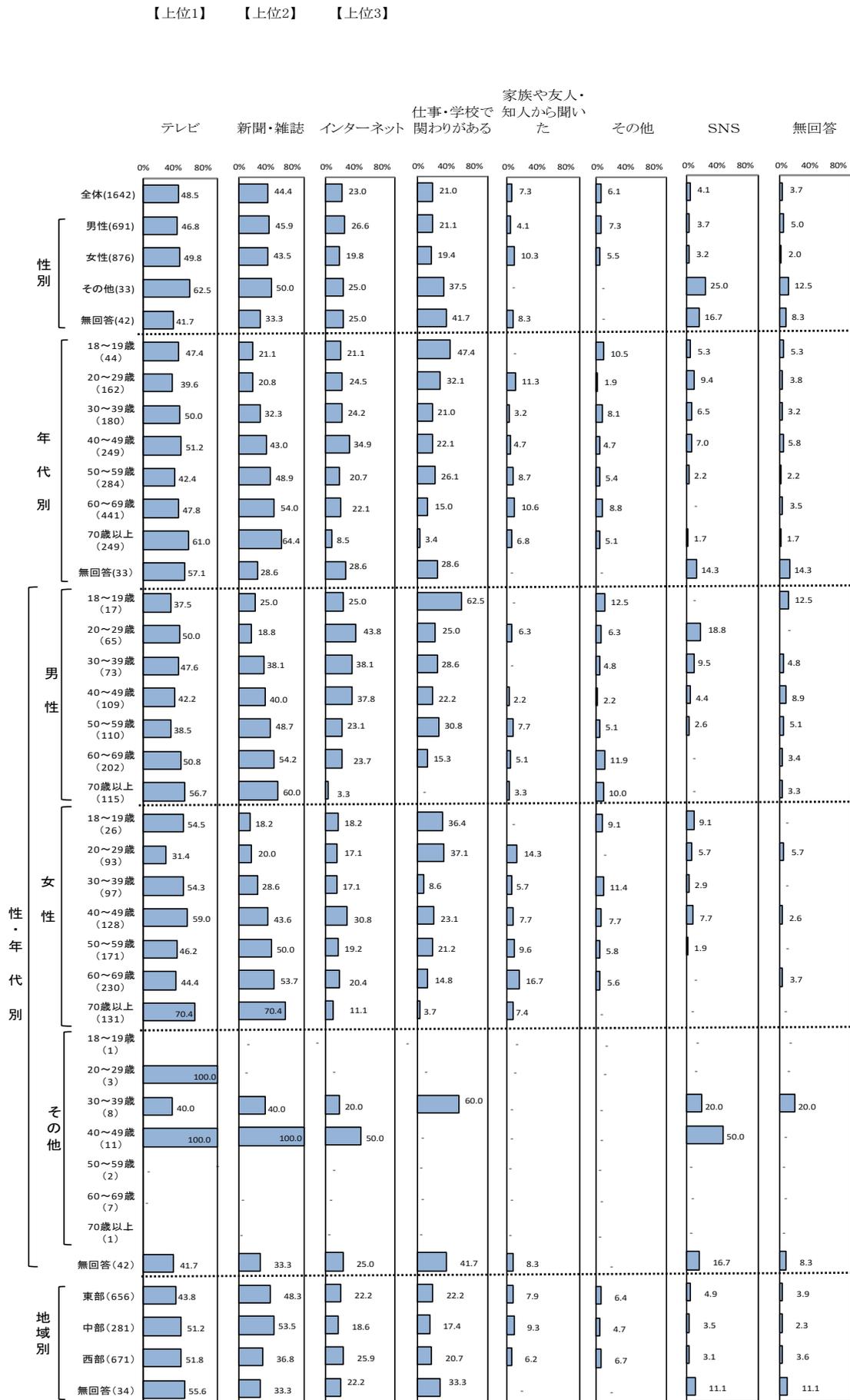


図 40 「聞いたことがある」と回答した方へSDGsという言葉・内容をどうやって知りましたか



問 15 あなたは SDGs の17のゴール(8つの優先課題)のうち、どの課題に関心がありますか。
(〇はいくつでも)

～「平和と安全・安心社会の実現」「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が上位～

SDGsの17のゴール(8つの優先課題)のうち、関心がある課題について、「平和と安全・安心社会の実現」が54.4%と最も割合が高く、次いで「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が43.5%、「生物多様性、森林、海洋等の環境の保全」が34.0%となっている。

性・年代別でみると、「平和と安全・安心社会の実現」の割合は男性の50歳代以上、女性の40歳代以上で高く、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」の割合は男性の40歳代以上、女性の30歳代と50歳代、70歳代以上で高く、「あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現」は女性の20～40歳代で高くなっている。

図41 SDGsの17のゴール(8つの優先順位)のうち、どの課題に関心があるか (n=1,642)

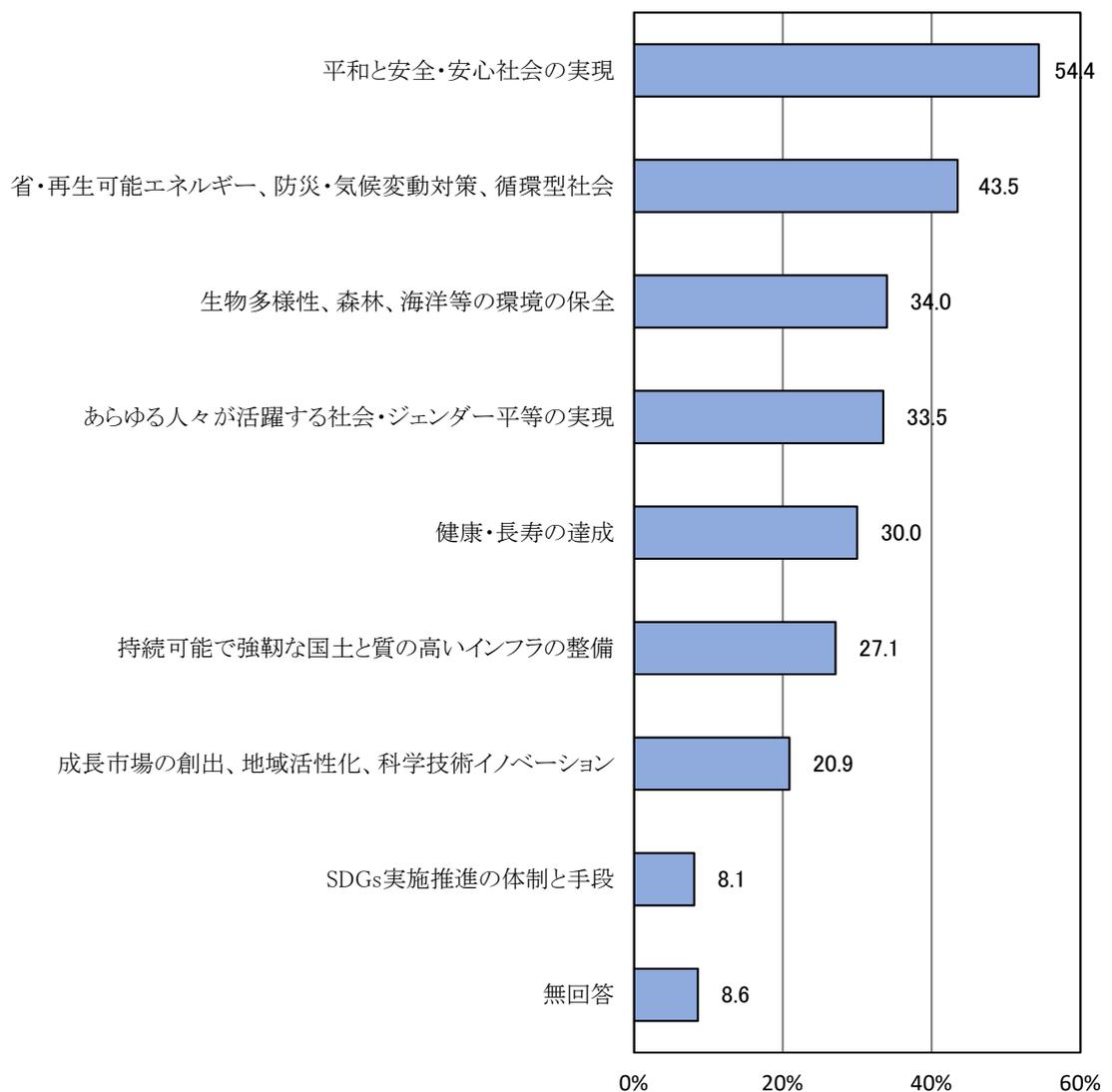
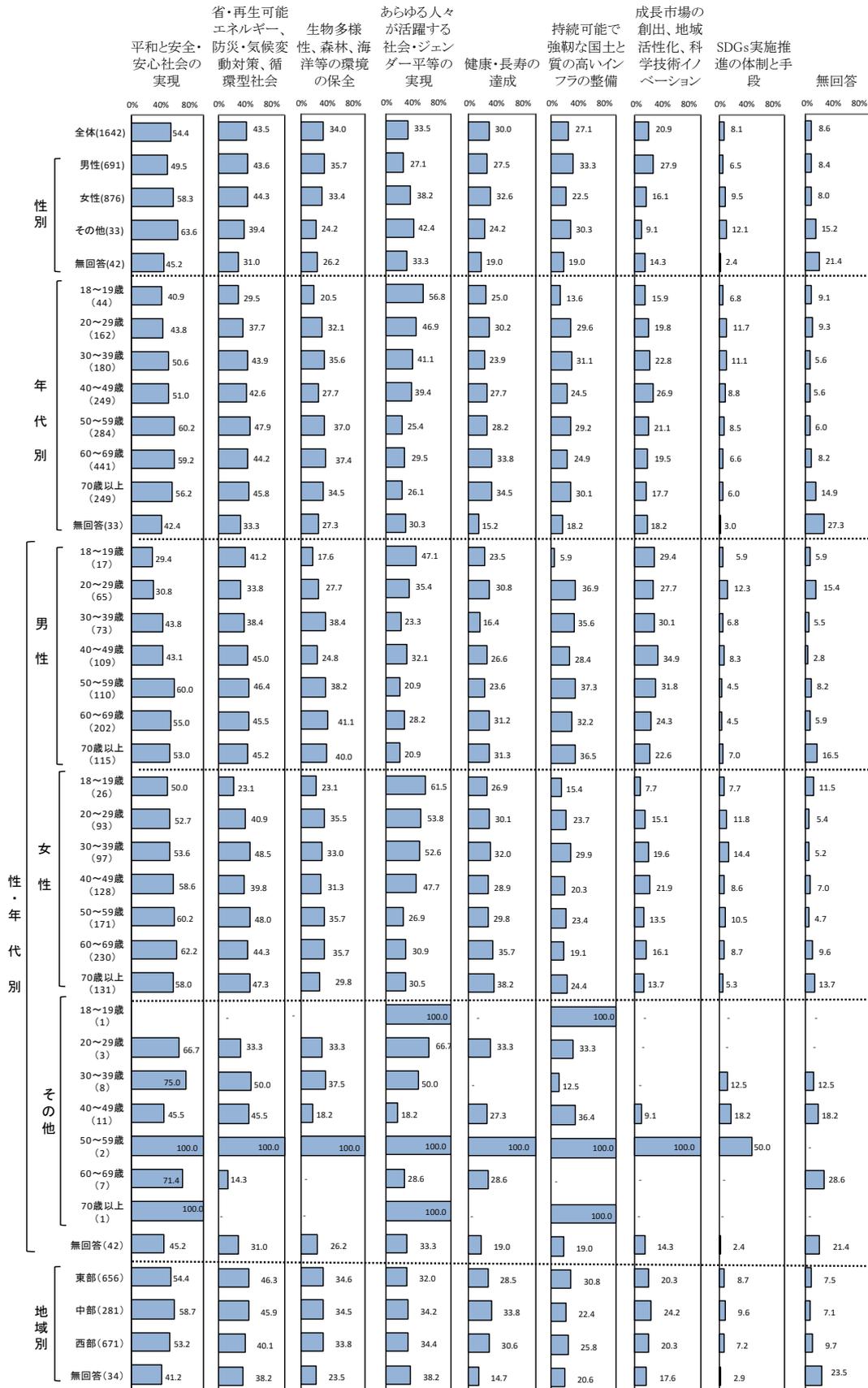


図 42 SDGsの 17 のゴール(8つの優先課題)のうち、どの課題に関心がありますか

【上位1】 【上位2】 【上位3】



【自由記載】

県民の多くの方々からたくさんのご意見をいただきましたので、一部を紹介いたします。

問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。

<input type="radio"/> すべて。 ◆(50～59歳 男性 鳥取市)
<input type="radio"/> 自己実現。 ◆(70歳以上 - 鳥取市)
<input type="radio"/> 美味しいものがある。 ◆(20～29歳 その他 八頭町)
<input type="radio"/> 判断したことがないので分からない。 ◆(60～69歳 男性 鳥取市)
<input type="radio"/> 家族の健康と幸せ。 ◆(50～59歳 女性 鳥取市)
<input type="radio"/> 世界平和。 ◆(40～49歳 男性 鳥取市)
<input type="radio"/> 一人なので安気。 ◆(70歳以上 女性 米子市)
<input type="radio"/> 自然災害の頻度。 ◆(20～29歳 女性 米子市)

問9 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思いますか。

<input type="radio"/> 行政内から男女の偏差現状を調査、情報をオープンにし、自浄作用して行く慣習を常態化していく風土をつくること。周りは良いことは自然と取り入れます。 ◆(60～69歳 男性 倉吉市)
<input type="radio"/> 各家庭で決める事であり、世間のルールで決まることはない。家庭内で相互の話し合いで実施すること。 ◆(50～59歳 男性 若桜町)
<input type="radio"/> 男性が家庭での割合を増やすという考えがそもそも違う。女性が社会で男性と同等の待遇を受けられれば格差は生まれない。自分の事を自分でするのは当たり前で、その余裕を与えられるように変えてほしい。 ◆(30～39歳 女性 鳥取市)
<input type="radio"/> 大人になってから変えるのは難しいと思います。子供の頃からの環境が影響すると思うので、教育に取り入れていければ良いと思います。 ◆(50～59歳 女性 倉吉市)
<input type="radio"/> 男性に限らず、個人に対して、育児や介護をするよう呼びかけるのではなく、各個人が、育児や介護を行う事、行わないことによって起こる誰かへの負担軽減や増大における問題と、そこから派生して考えられる社会、それぞれの家族の問題へつながるという一連的な悪循環または、その逆について細かく教える活動。 ◆(20～29歳 女性 倉吉市)

問 10 男女ともにワーク・ライフ・バランスの実践を促す労働環境をつくるために、行政が行うべき施策は何だと思えますか。

○経営者への意識啓発。 ◆(50～59歳 男性 倉吉市)
○ワークライフバランスを実践している企業への税金減額、補助金支給などの優遇措置。 ◆(60～69歳 男性 鳥取市)
○大きな企業や公務員の場合、出来るかもしれないが会社の収益をぎりぎりで行っているような中小企業にとって難しい話だと感じる。 ◆(40～49歳 男性 鳥取市)

問 11 介護と仕事を両立するために、行政が行うべき施策は何だと思えますか。

○支援、何とかの会開催ではなくて、モデル企業・組織を取材し紹介すること。 ◆(60～69歳 男性 倉吉市)
○研修会や情報提供は無意味。個人への経済支援や税金免除等の直接支援。 ◆(40～49歳 女性 南部町)
○入所施設の充実。 ◆(50～59歳 男性 日野町)
○そもそも家族だけで介護するのは無理なので業者との連携が不可欠。 ◆(40～49歳 女性 鳥取市)
○介護を家族がした時に補助金を出す等、経済的に援助する方法があれば。施設等に入れると税金も使われる事になるので、その費用があれば家族で看たい時にとっても助かる。 ◆(60～69歳 男性 南部町)
○介護施設の拡充。希望する人がもれなく利用、入居できるように。 ◆(60～69歳 男性 米子市)

問 12 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思えますか。

○小中で育児、料理などの実習時間を多くする。 ◆(60～69歳 男性 鳥取市)
○夫婦の役割分担が重要で、夫の家事の習慣化が当たり前の社会となるように。 ◆(70歳以上 男性 鳥取市)
○男性の育休の義務化。 ◆(40～49歳 男性 境港市)

問 14 SDGsという言葉・内容をどうやって知りましたか。

○鳥取県庁に行った時、初めて知った。 ◆(40～49歳 男性 鳥取市)
○セミナー。 ◆(50～59歳 女性 鳥取市)
○講演会。 ◆(70歳以上 男性 鳥取市)
○この書面。 ◆(50～59歳 女性 米子市)
○研修会。 ◆(60～69歳 男性 鳥取市)

○婦人会で。 ◆(50～59歳 女性 米子市)
○日南町で盛んに言っている。 ◆(50～59歳 男性 日野町)

問 16 (問 15 で回答した8つのうち)関心ある課題について、「2030 年の鳥取県」に向けて実践しよう(実践したい)と思うことはなんですか。

【問 15-1あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現について実践したいこと】

○自分と異なる考えを理解する努力をする。 ◆(70歳以上 女性 鳥取市)
○子供に平等の実現の大切さを教育する。 ◆(40～49歳 男性 鳥取市)
○ボランティア、社会奉仕に多く参加する。 ◆(60～69歳 男性 日南町)
○多様な価値観について知識を持つことで、それを正しい認識が出来るようにする。 ◆(20～29歳 男性 大山町)
○あいさつ等で、老若男女、幅広いコミュニケーションをとることを大切にする。自分自身の差別意識をなくす。 ◆(18～19歳 女性 日南町)
○差別のない平等な社会を目指して、身の回りの差別に気づいて、声掛けできるよう心掛ける。 ◆(60～69歳 女性 倉吉市)
○子供の貧困について、寄付をしたり、フードバンクを利用したり自分出来る事を行う。 ◆(30～39歳 女性 八頭町)
○どの世代、どんな環境の人も安心して安全な社会であるよう、まずは地域の中で手助けできることがあればしていきたい。 ◆(40～49歳 女性 鳥取市)
○社会的弱者への偏見をなくす。たくさんの人と関わり話を聞き、いろいろな考え方を学ぶ。 ◆(18～19歳 女性 米子市)
○自分の意見をきちんと言う。悲しい事、困った事を表に出し、なかった事にしない。 ◆(30～39歳 その他 米子市)

【問 15-2健康・長寿の達成について実践したいこと】

○10 年後、20 年後の為に日々できる健康管理をする。 ◆(70歳以上 女性 鳥取市)
○少子高齢化が進んでいる中、お年寄り若い世代の交流があると、健康につながるのでは。 ◆(18～19歳 女性 琴浦町)
○健康的な食生活を意識する。 ◆(20～29歳 女性 米子市)
○町が行う健康イベントに積極的に参加する。また、家族や友人、知人にも進めて、皆で健康に対する意識を高める。 ◆(50～59歳 女性 伯耆町)
○自分自身健康に気を付けて生活するのはもちろんな事、町でお年寄りにあった時は挨拶を積極的にするとか、お話を聞く相手になるとかして、お年寄りが少しでも生活をさらに楽しいと思えるような社会の一員になりたい。 ◆(18～19歳 女性 北栄町)

○健康に過ごせるよう毎日運動不足にならないようにする。食事に気を配りストレスが少ない様に過ごす。 ◆(70歳以上 女性 倉吉市)
○地域の人と運動・健康イベントに積極的に参加し、いろんな世代の人と交流を深め、ストレス等のない地域にして、皆が健康・長寿の達成が出来るようにしたい。 ◆(30～39歳 男性 南部町)
○まずは自分自身が心のゆとりをもてるようにする。(生活リズムを整える、健康に気を付ける等)その上で家族や職場など自分にとって身近な人に誠実に接する。 ◆(30～39歳 男性 米子市)
○定期健診・がん健診などを積極的に受ける。家族にも受けるよう促す。 ◆(30～39歳 女性 鳥取市)

【問 15-3成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーションについて実践したいこと】

○県内産業を引っ張っていく企業を積極的に応援する。 ◆(40～49歳 男性 鳥取市)
○新しい試みを行う企業を支援する。 ◆(20～29歳 女性 米子市)
○ICT 等、先端技術に触れる。 ◆(18～19歳 男性 倉吉市)
○SDGs に取り組んでいる県内企業に注目し、商品やサービスを利用することで応援する。 ◆(20～29歳 女性 北栄町)
○地元企業の商品の選択をする。 ◆(40～49歳 男性 琴浦町)
○鳥取ならではの商品やサービスを利用するよう心掛ける。 ◆(60～69歳 女性 米子市)
○若者に昔からの技術を受け継ぐ。 ◆(20～29歳 男性 倉吉市)

【問 15-4持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備について実践したいこと】

○地球温暖化の豪雨により全国的に河川氾濫が多いので堤防等の見直しを行う。ハザードマップを普段から見るようにして家の位置を確認する。 ◆(60～69歳 男性 鳥取市)
○地産地消、季節の物を食べ、地元の物を使い未来の県民に渡すことを考える(ひどくならない様に)。 ◆(60～69歳 男性 日南町)
○ごみを減らす努力をする。物を大切にし、無駄なものを買わないようにする。地域や職場でのあいさつや声掛けなど、人間関係が潤滑になるよう、人を不快にさせない行動をとるよう心掛ける。困っている人を見かけたら、声をかけ出来ることがあれば手助けをするようにする。 ◆(40～49歳 女性 南部町)
○各地域ごとのインフラ整備に対する積極的な意見発信。 ◆(20～29歳 男性 鳥取市)
○防災意識を持つ。 ◆(20～29歳 男性 湯梨浜町)

○自然災害等が増えているので、身の回りの安全について考えることから始め、インフラ整備について関心を持つようにする。 ◆(20～29歳 女性 北栄町)
○農業の維持。 ◆(40～49歳 男性 若桜町)

【問 15-5省・再生可能エネルギー、防災、気候変動対策、循環型社会について実践したいこと】

○ゴミを少なくするよう使用できる物は最後まで使う。 ◆(70歳以上 女性 鳥取市)
○むだなエネルギーを使わないように心がける(節電、節水など)。 ◆(40～49歳 女性 八頭町)
○家族の生ゴミは、家庭菜園の土中に埋め肥料代わりにしている。 ◆(60～69歳 女性 米子市)
○公共交通機関の使用。 ◆(40～49歳 男性 米子市)
○買い物をするときは、本当にそれが必要か考えてから買う。 ◆(20～29歳 女性 八頭町)
○ゴミ等の削減、コンポスト利用や資源回収等に出す。 ◆(50～59歳 女性 八頭町)
○ハザードマップの確認、家族に周知する。 ◆(50～59歳 女性 米子市)
○車をなるべく使わずに自転車を利用したり、自分で準備できるもの(マイバッグ、マイボトル、マイ箸等)は自分で準備し行動する。 ◆(20～29歳 女性 北栄町)
○家庭内での省エネルギーに努める。環境に配慮した製品を使用する。食物の無駄を省く。 ◆(60～69歳 男性 米子市)
○防災訓練への参加。 ◆(60～69歳 男性 岩美町)

【問 15-6生物多様性、森林、海洋等の環境の保全について実践したいこと】

○レジ袋を使わず、エコバックを利用する。 ◆(20～29歳 女性 倉吉市)
○リサイクルできる資源ごみはきちんと分別する。ゴミ分別など取り組むことで海や森林を汚さないように。 ◆(20～29歳 女性 境港市)
○身の回りのゴミを拾う。ゴミを持ち帰る。 ◆(30～39歳 女性 米子市)
○海や山の清掃活動をして生物の住みやすい環境を作る。 ◆(20～29歳 男性 三朝町)
○子供たち(地域の)とともに学習する機会を持つ。 ◆(30～39歳 女性 鳥取市)
○なるべく地産地消につとめる。 ◆(60～69歳 女性 鳥取市)
○川や海を汚さない。環境にやさしい洗剤を使う。 ◆(50～59歳 女性 湯梨浜町)

○環境にやさしい食品や生活に気をつけてみる。 ◆(20～29歳 男性 米子市)
○環境問題を学習する。 ◆(20～29歳 男性 倉吉市)

【問 15-7平和と安全・安心社会の実現について実践したいこと】

○身近な人間関係の中から、他人を大切にする心を共有できるよう努力する。 ◆(60～69歳 男性 鳥取市)
○困った様子の人を見かけたら、出来る限りの手助けをする。 ◆(20～29歳 女性 境港市)
○選挙に参加する。社会について知ろうと知る(関心・興味を持つ)。 ◆(20～29歳 女性 米子市)
○子供たちが安全に過ごせるように見守ったり、普段からあいさつなどの声掛けをする事。 ◆(30～39歳 女性 鳥取市)
○戦争体験のお話を聞く。 ◆(50～59歳 女性 米子市)
○平和への取組、平和学習へ参加する。継続的に学び続ける機会を作る。 ◆(30～39歳 女性 八頭町)
○交通ルールを守る。 ◆(18～19歳 女性 米子市)
○住んでいる周りとのコミュニケーション、あいさつ等を積極的に行って、犯罪などが起きにくい環境づくりをしていきたい。 ◆(20～29歳 女性 米子市)

【問 15-8SDGs 実施推進の体制と手段について実践したいこと】

○自分が出来ることを実践し、その大切さを身の周りの人に伝える。 ◆(40～49歳 女性 八頭町)
○周囲(家族、職場の仲間)への啓発活動。 ◆(30～39歳 男性 境港市)
○SDGsに参加している県内企業を知ることからはじめ、商品やサービスを選択する。 ◆(50～59歳 女性 鳥取市)
○まず、その言葉を知らなかったので、生涯学習みたいな感じで学習の場を設けていいと思うし、あったら参加したい。 ◆(20～29歳 女性 琴浦町)
○SDGsについて学ぶ。行われている取り組みを調べる。 ◆(18～19歳 男性 鳥取市)
○自分の日常の取り組んでいること(SDGs 実施)を友達に話したり、知ってもらい。活動の輪を広げていく。世界で起きている問題に関心を持ち、理解して、自分の出来ることから取り組んでいきたい。 ◆(60～69歳 女性 伯耆町)

自由記載欄

○地域活性化に取り組む、NPO法人等への助成をもう少し考えてほしいと思います。 ◆(70歳以上 男性 鳥取市)
--

<p>○男だから女だからではなく、やりたい人がやりたい事を出来る社会になっていけたらなと思います。長時間働いてたくさん稼ぎたい人は稼ぐ。子育て、介護で短時間しか働けなくとも空き時間に労働できる様な仕組みもあればいいと思います。長く働く事が偉いわけではなく、人にはそれぞれ人それぞれあり、それを認めあえる社会であればいいと思います。</p> <p>◆(20～29歳 男性 米子市)</p>
<p>○高齢者が安心して免許証を返納できるよう、公共交通を整備していただきたい。</p> <p>◆(50～59歳 男性 倉吉市)</p>
<p>○コロナで戦う中、人の価値観が変わって来た今、鳥取県はチャンスだと思う。豊富な特産物、心優しい県民性、福祉、医療の充実。自然豊かな美しい鳥取。大都市にはない魅力を出し、安心安全を維持して移住者、企業誘致を成功させてほしい。</p> <p>◆(40～49歳 女性 米子市)</p>
<p>○文化地域の美化・整備が足りないと思う。久松公園周辺、駅前周辺、布勢、湖山池周辺等、県市民が散策したくなるような憩いの場の美化が他県に比べて劣っていると思う。(例)山形市内の美しさ、整備状況、霞城公園の美しさは素晴らしい。せめて半分でも鳥取にあれば、研修して真似たらいいと思う。</p> <p>◆(60～69歳 女性 鳥取市)</p>
<p>○これから都市一極集中から地方に人が移住するような流れになっていくと思います。自然に恵まれた鳥取県が人が生活する環境として安心して住める利便性と安全性のある環境が今後作られていく事を望みます。特に高齢者と若い人たちが共存していける地域作りが今後大切になってくると思います。(多様なコミュニティー作り)。</p> <p>◆(60～69歳 女性 米子市)</p>
<p>○コロナの影響で必要以上に不安になったり、それが人を傷付ける発言につながったりもする。そういうときのホットラインや情報の提供も引き続き取り組んでほしいと思います。</p> <p>◆(30～39歳 女性 鳥取市)</p>
<p>○マイナンバーとSDGsとを効果的に活用し、全住民の現状と課題を把握しスモールステップの課題解決策で、住みよい鳥取県作りをしていってはどうでしょうか。</p> <p>◆(60～69歳 男性 三朝町)</p>
<p>○鳥取県は、とても素晴らしいところなのに、働く場所が少ないように思います。もっとたくさんの方が働けて人口流出を防いでほしいです。他の県、島根の隠岐の島や、沖縄と比べても、見劣りしない素晴らしい景観がたくさんあるのに、PRが少ないように思います。色々なところを掘り下げていってどんどんPRして、海外に負けないような旅行のプログラムをつかって、若い人の働き場所の確保などにしていただけたらと思います。またテレワークが流行している今こそ企業を誘致していただく政策などに力を入れていただきたいと思います。</p> <p>◆(50～59歳 女性 伯耆町)</p>
<p>○星取県の取組をこれからも推進してください。一昨年はあちこち(大山、米子児童文化センタープラネタリウム、江府 むきばんだ)の星を見る会に参加し楽しかったです。星空の美しさに感動をしました。(今まであまり気づかなかった)鳥取県って気づかなかったけど、いいものいっぱいありますね「あるものをいかした政策」をさらに進めてください。</p> <p>◆(60～69歳 女性 伯耆町)</p>
<p>○障がい者に働きやすい環境と介護者の育成。高齢者の介助サービスの充実。</p> <p>◆(20～29歳 男性 倉吉市)</p>
<p>○無いものを創造するのは困難だし、高望みしても上を見上げればキリがない。あるものをとことん活用し、ベースレベルUPが鳥取らしいのでは?と思う。</p> <p>◆(30～39歳 男性 鳥取市)</p>

<p>○行政の担う業務が多様化しているにも関わらず、県や市町村の職員が少なく、一人一人の負担が大きくなっていると思います。余裕のない業務対応をされると県民としては、いくらい政策でも不満となります。政策を行う行政側の人員体制を整え、余裕をもって一つ一つに丁寧な対応ができる体制づくりにも取り組んでもらいたい。</p> <p>◆(40～49歳 男性 鳥取市)</p>
<p>○人材育成と教育に力を入れてほしいと思います。鳥取県は人口の減少が続いており、今後もそれは続いていくのだらうと思います。その状況の中でも新しいアイデアを生み出せるような人材を育てていく必要があると思います。コロナ禍の中でリモート化が進み、IT業界は一定の雇用が期待できるのではないのでしょうか。そのような分野で活躍できる人を育成していくことが必要だと思います。また、そのような分野の人材を育てるために各教育機関の活性化を図ることはできないのでしょうか。第一線で活躍しておられるプロの方にリモートで講義を行っていただく等のやり方で若い世代の方に最新の技術情報を提供していくことは可能と思います。</p> <p>◆(60～69歳 男性 鳥取市)</p>
<p>○形式だけの対策はいらないので、現場に聞いて下の意見を吸い上げてほしい。規則だから、決まりだから・・・古い規則は変えればいい。</p> <p>◆(30～39歳 男性 日吉津村)</p>
<p>○子供向けの屋内施設等、県で子育て王国を謳っているだけで、実際は本当に少ないと思いますので、充実させてほしいです。</p> <p>◆(30～39歳 女性 倉吉市)</p>
<p>○大学進学と同時に県外で下宿を始め、改めて鳥取県での住みやすさや治安の良さを実感しています。いつ帰っても安心できる、帰る場所がある、そう思える地元があり、とても心強いです。県外で出来た友達にも私の大好きな鳥取の自然を自慢できます。それくらい海も綺麗で、食べ物も美味しくて観光スポットもあります。もっともっと鳥取の良いところを沢山広めていくべきだと思います。関西の学生は田舎に行ってみたい、そこで自然を満喫したいとよく言っているのを耳にします。県外の若者に向けての観光戦略ももっと充実していても良いと思います。</p> <p>◆(20～29歳 女性 鳥取市)</p>

鳥取県の政策に関する「県民意識調査」に ご協力をお願いします

鳥取県には、都会にはない「豊かな自然」や「人と人との絆」、心豊かな暮らしを実現できる「幸せを感じる時間」があります。県では、このような鳥取県の強みを活かし、県民の皆さんとともに様々な地方創生の取り組みを進めています。

これからも、県民の皆さんが、住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けていただけるよう、現在の状況や今後の要望などに対する、あなたの率直なご意見をお伺いし、今後の県政に活かしていきたいと思えます。

ついては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただきますようよろしくお願いいたします。

令和2年7月30日

- この調査は鳥取県が行う「鳥取県政に関する県民意識調査」（今年で5回目）です。
- 調査をお願いする方の選定にあたりましては、県内在住の18歳以上の方から3,000人を各市町村の住民基本台帳より無作為に抽出させていただきました。
- 調査票は無記名になっていますので、お名前を記入していただく必要はありません。
- ご回答いただいた内容は、無記名のまま統計的に集計・分析するため、個人が特定されたり、個々の回答内容が公表されることはありません。
- 調査票は、封筒のあて名の方ご本人がお答えください。ただし、ご本人の回答が難しい場合（病気入院中、長期出張や学生で県外に出ている等）は、ご家族の方など代わりの方（18歳以上）がお答えいただいても構いません。
- 回答は、鉛筆又はボールペン等で、この調査票に直接記入してください。一旦記入した内容を訂正する場合は、訂正後の回答が分かるようにしてください（方法は問いません）。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信封筒に入れて **令和2年8月18日（火）まで** に郵便ポストに投函（切手不要）してください。
- この調査についてご不明な点がございましたら、問合せ先までご連絡ください。

【問合せ先】

鳥取県地域づくり推進部県民参画協働課
〒680-8570 鳥取市東町一丁目220
電話：0857-26-7848
ファクシミリ：0857-26-8112
電子メール：kenminsankaku@pref.tottori.lg.jp



Ⅱ 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

【問6】鳥取県が実施している施策等について、あなたの満足度をお聞きしますので、【評価の基準】を参考にそれぞれ5段階で回答をお願いします（各項目の1～5のいずれかの数字に○をしてください。）
また、テーマごとに今後の優先度（重要度）が高いと思われる施策等について3つずつお選びください。

【評価の基準】



1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

- | | |
|---|---|
| <p>① 豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組
 〔 地域資源を活かした周遊観光、自転車、エコツアー
 農山漁村生活体験等の体験型観光・旅行の推進など 〕</p> | <p>5 4 3 2 1
 ←満足 不満→</p> |
| <p>② 外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり
 〔 多言語化やキャッシュレス決済等の受入体制整備、
 鳥取の魅力を発信してくれる国際関係人口の増加など 〕</p> | <p>5 4 3 2 1
 ←満足 不満→</p> |
| <p>③ スポーツによる交流促進を進める取組
 〔 大規模スポーツ大会・国際大会のキャンプ誘致や
 ホストタウン交流の推進、障がい者スポーツや生涯
 スポーツ推進など 〕</p> | <p>5 4 3 2 1
 ←満足 不満→</p> |
| <p>④ 農業の活力増進に関する取組
 〔 鳥取和牛や星空舞などの県開発種の導入促進、
 6次産業化(注1)など農業ビジネス創出、ICT(注2)を
 活用した機械化・省力化など 〕</p> | <p>5 4 3 2 1
 ←満足 不満→</p> |
| <p>⑤ 農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組
 〔 産地自らが行う後継者育成等への支援、高校でのより
 実践的な職業教育の推進など 〕</p> | <p>5 4 3 2 1
 ←満足 不満→</p> |
| <p>⑥ 地球規模での環境課題への対応
 〔 脱プラスチック（マイカップ・マイボトル運動等）、
 食品ロス削減、省エネ住宅の普及啓発促進など 〕</p> | <p>5 4 3 2 1
 ←満足 不満→</p> |
| <p>⑦ 海洋・森林等の環境保全と利活用の推進
 〔 森林体験・保全活動、野外保育・自然体験活動の取組
 推進、環境保全に関する条例制定など 〕</p> | <p>5 4 3 2 1
 ←満足 不満→</p> |

※ 上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思うものを3つ選んでください。

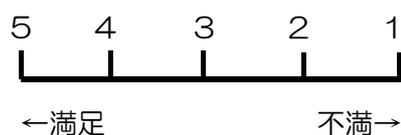
【 】【 】【 】

注1：農林漁業者自らが、生産から加工・製造、流通・販売までを主体的に取り組みることにより、新たな付加価値を生み出す取組のこと。
 注2：「Information and Communication Technology」の略語で、「情報通信技術」のこと。

2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

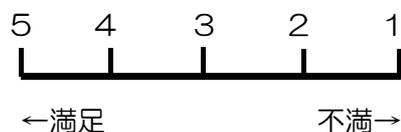
① 結婚・出産・子育ての希望を叶える取組

出会いの機会の充実、不妊治療や子育て世帯の経済的負担の軽減、保育所等の体制整備や放課後児童クラブ等の充実など



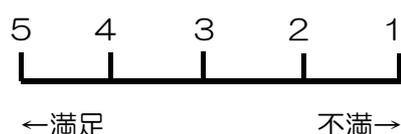
② 地域で子育て世代を支える取組

医療ケア児の受け入れ支援の充実、子どもの貧困対策の推進、不登校等の相談支援、男性の家事・育児参加の促進など



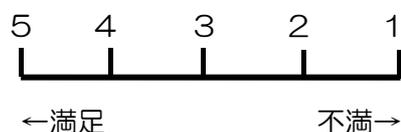
③ 未来を拓く人づくりの取組

グローバル化に対応した英語教育の推進、主体的に学習する児童生徒の育成、プログラミング的思考(注3)や情報活用能力の育成など



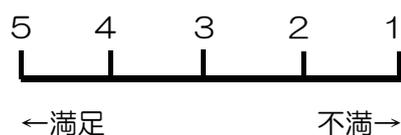
④ 地域を支える人財育成の取組

郷土愛を育むふるさとキャリア教育、地域の自然、歴史、文化等から学ぶ体験活動など



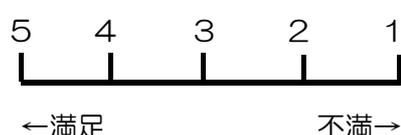
⑤ 女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組

人権教育の推進、NPO(注4)や地域活動の推進、あいサポート運動(注5)の普及、障がい者の職場定着支援、外国人材の就労支援など



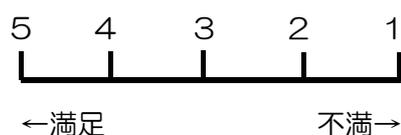
⑥ 絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組

地域運営組織づくりの支援、買い物や見守り生活サービスの確保、共助交通など生活交通の再構築など



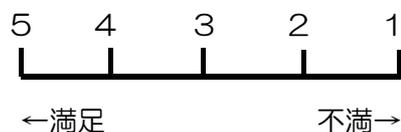
⑦ 健康寿命の延伸

健康マイレージ事業(注6)、がん検診受診率の向上、とっとり方式認知症予防プログラムの普及など



⑧ 鳥取ならではの防災文化づくり

住民や地域が主体的に避難行動を起こす防災文化の定着、市町村と連携した避難体制の整備、鳥取らしい支え愛活動推進など



※ 上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思うものを3つ選んでください。

【 】【 】【 】

注3：自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく

注4：NPO法人（特定非営利活動法人）

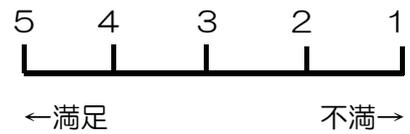
注5：県民が、多様な障がいの特性の理解に努め、障がいのある者に温かく接するとともに、障がいのある者が困っているときに「ちょっとした手助け」を行うことにより共生社会を目指す運動をいう。

注6：指定の健康づくり関連事業（健康診断、健康づくり講演会、スポーツ教室など）に参加した場合にポイントを付与し、一定のポイントがたまったら、景品等のインセンティブを付与する制度。

3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

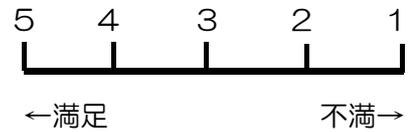
① 移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を
創造していく取組

〔地元企業と若者の交流促進、県内就職への支援、魅力的な移住環境づくりの推進と情報発信など〕



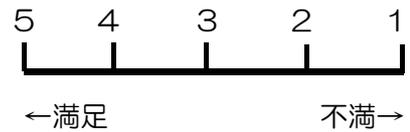
② 関係人口の拡大を進める取組

〔都市圏在住者・企業への情報発信、ワーケーション(注7)実施支援等受入体制の整備、農村体験・農泊促進など〕



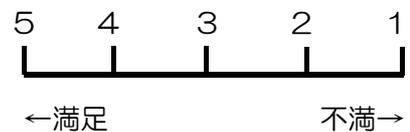
③ 次世代産業の成長による県経済の持続的発展と
商圏拡大をめざす取組

〔先端技術の開発・導入支援、金融機関等と連携した創業支援、海外需要獲得推進など〕



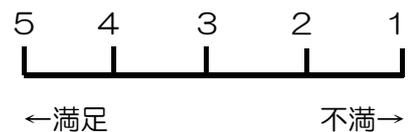
④ 戦略的な産業人材の育成・確保

〔学術機関と連携した課題解決型教育推進、職業訓練の充実、様々な媒体を活用した県内企業情報発信など〕



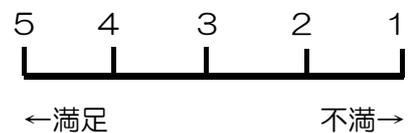
⑤ 自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす
取組

〔女性の就業・起業支援、イクボス・ファミボス(注8)の普及、高齢者の就業支援など〕



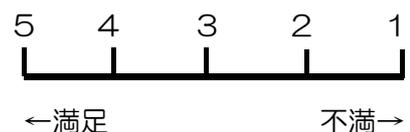
⑥ 暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組

〔空き家の利活用、ひきこもり・DV問題に関する啓発、防犯・交通安全対策の推進など〕



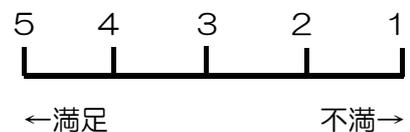
⑦ アート・文化による地域づくりへの取組

〔県立美術館による拠点づくり、まんが・伝統芸能等の文化資源や歴史・文化遺産の活用など〕



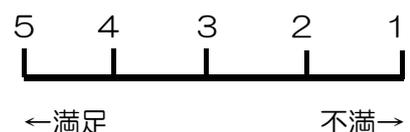
⑧ 強靱な防災基盤の構築に向けた取組

〔ハザードマップ(注9)作成等による防災減災対策、原子力防災体制整備、新技術によるインフラ維持・人材の育成など〕



⑨ 持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組

〔超高速情報通信基盤整備の推進、空港・駅の利便性向上・賑わい創出、ICTを活用した自治体業務の効率化など〕



※ 上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思うものを3つ選んでください。

【 】【 】【 】

注7：「ワーク（仕事）」と「ワーケーション（休暇）」から作られた造語。普段働いている職場を離れて、リゾート地などで休暇を取りながら遠隔勤務を行うこと。

注8：育児はもちろん、介護しながら働き続けられる職場環境づくりを実践する家族志向のリーダーのこと。

注9：防災を目的に、災害に遭う地域を予測し表示した地図。災害危険予測地図。

4 男女共同参画社会づくり

【問7】あなたは、次の言葉をご存じですか。1、2の設問ごとに表中の選択の中から1つ選んで○を記入してください。

設 問	選 択		
	知っている	聞いたことがある	知らない
1 ワーク・ライフ・バランス(注10)			
2 男女共同参画社会			

【問8】男女に関する役割などについてお聞きします。次の項目（設問）についてどう思われますか、1～8の設問ごとに表中の選択の中から1つ選んで○を記入してください。

設 問	選 択				
	そう 思う	どちらかと言 えばそう思う	どちらかと言え ばそう思わない	そう思 わない	分から ない
1 現実として家事が女性の役割となっていると思う					
2 現実として子育てが女性の役割となっていると思う					
3 現実として介護が女性の役割となっていると思う					
4 学校教育の場において男女差は無いと思う					
5 就職の機会に男女差は無いと思う					
6 就労環境、待遇に男女差は無いと思う					
7 社会的立場や地位は男女とも平等だと思う					
8 性別に関係なく個人が輝ける社会になっていると思う					

【問9】男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思えますか。 (○は3つまで)

- 1 男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成
- 2 男性の家庭での活躍を促す、経営者・従業員に向けた職場における意識啓発
- 3 ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援
- 4 家族・パートナー間での家事・育児の分担を見直すような研修会の開催
- 5 男性向けの家事・育児・介護の手法研修（講習）会開催
- 6 その他（下記に具体的にお書きください）

[]

注10：ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは、だれもが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、さまざまな活動を自分の希望するバランスで実現できる状態のことをいいます。

【問10】男女ともにワーク・ライフ・バランスの実践を促す労働環境をつくるために、行政が行うべき施策は何だと思えますか。 (〇はいくつでも)

- 1 部下の仕事と家庭の両立を応援する「イクボス・ファミボス」の理念普及、機運醸成のための広報
- 2 イクボス・ファミボスとしての取組の具体例（優良事例）の情報提供
- 3 イクボス・ファミボスの取組の必要性・メリットを広めるための講演会等の開催
- 4 企業（雇用主）対象のイクボス・ファミボス研修会等の開催
- 5 ワーク・ライフ・バランスを実現するための労働環境整備の支援
- 6 その他（下記に具体的にお書きください）

[]

【問11】介護と仕事を両立するために、行政が行うべき施策は何だと思えますか。(〇は3つまで)

- 1 企業（雇用主）対象のイクボス・ファミボス研修会の開催
- 2 企業における介護と仕事の両立支援の取組事例の情報提供
- 3 ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援
- 4 介護による離職者を再雇用した企業（雇用主）に対する経済的支援（補助金制度）
- 5 従業員の仕事と介護の両立に関するアドバイザーの派遣
- 6 夫婦間での家事・介護の分担を見直すような研修会の開催
- 7 男性向けの介護の手法研修（講習）会の開催
- 8 男性の介護休暇（介護休業）取得に関して企業（雇用主）に対する経済的支援（補助金制度）
- 9 その他（下記に具体的にお書きください）

[]

【問12】男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思えますか。(〇は3つまで)

- 1 固定的性別役割分担意識(注11)の解消など男女平等の視点に立った教育や学習機会等の充実
- 2 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場の拡充
- 3 男女共同参画等の相談場所の周知
- 4 就労における男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援
- 5 保育の施設・サービスや子育て支援の充実
- 6 介護の施設・サービスや介護支援の充実
- 7 長時間労働の縮減やテレワーク制度の普及など、男女ともに働き方の見直しの啓発
- 8 子育てや介護等で離職した人の再就職支援
- 9 県の審議会委員や管理職など、政策決定の場への女性の積極的な登用
- 10 民間企業・団体などにおいて管理職への女性の登用が進むような取組支援
- 11 市町村における取組への支援
- 12 女性に対する暴力を根絶するための取組推進
- 13 その他（下記に具体的にお書きください）

[]

注11：男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」というような性別に基づく固定的な役割分担意識のこと。

Ⅲ 重点施策への関心・認識

鳥取県が重点的に施策を展開している事業についての認識や意識をお聞きしますので、設問別に該当する選択肢に○をお願いします。

<SDGs（持続可能な開発目標）の認知度について>

エスディージーズ

「SDGs(Sustainable Development Goals)」(持続可能な開発目標)

とは、2015年9月に国連で採択された、2030年に向けた世界共通の目標です。SDGsは、「誰ひとり取り残さない」ことを理念に掲げており、貧困・飢餓・教育などの社会目標、気候変動・エネルギー・生物多様性などの環境目標、雇用・インフラ・生産消費など経済目標に加え、不平等・平和など**全17のゴール(目標)**で構成されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



◎ 日本政府では、SDGsのゴールを踏まえ、次の「**8つの優先課題**」を取組の柱に掲げています。

People 人間

- ① あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現 (注1 2)
- ② 健康・長寿の達成

Prosperity 繁栄

- ③ 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション (注1 3)
- ④ 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備

Planet 地球

- ⑤ 省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会
- ⑥ 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全

Peace 平和

- ⑦ 平和と安全・安心社会の実現

Partnership パートナーシップ

- ⑧ SDGs 実施推進の体制と手段



わたしたち一人一人には何ができるんだろう？
みんなも一緒に考えてみよう！

注1 2：ジェンダーとは、生まれつきの生物学的性別（セックス/sex）に対して、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」（男らしさ・女らしさ）のことをいいます。

注1 3：既存の商品や仕組みなどに対して、新しい考え方や方法、技術を取り入れ、社会に大きな変革をもたらすこと。

Ⅳ 回答者の情報

あなたの年代や性別などをお答えください。該当する項目に○印をお願いします。
なお、この情報はアンケート集計以外には利用いたしません。

【問17】年代

- | | | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|--------|---|--------|
| 1 | 18～19歳 | 2 | 20～29歳 | 3 | 30～39歳 | 4 | 40～49歳 |
| 5 | 50～59歳 | 6 | 60～69歳 | 7 | 70歳以上 | | |

【問18】性別

- 1 男性 2 女性 3 その他（回答したくない）

【問19】お住まいの住所

- | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|-----|----|-----|----|------|----|------|
| 1 | 鳥取市 | 2 | 米子市 | 3 | 倉吉市 | 4 | 境港市 | 5 | 岩美町 |
| 6 | 八頭町 | 7 | 若桜町 | 8 | 智頭町 | 9 | 湯梨浜町 | 10 | 三朝町 |
| 11 | 北栄町 | 12 | 琴浦町 | 13 | 南部町 | 14 | 伯耆町 | 15 | 日吉津村 |
| 16 | 大山町 | 17 | 日南町 | 18 | 日野町 | 19 | 江府町 | | |

【問20】職業

- | | | | | | |
|---|------------|---|--------------|---|-----------|
| 1 | 会社員（含 公務員） | 2 | 自営業（含 家族従業者） | 3 | パート・アルバイト |
| 4 | 学生 | 5 | 専業主婦・主夫 | 6 | 無職 |

Ⅴ 自由記載欄

ご意見・ご要望があれば自由にお聞かせください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました

記入もれがないか再度ご確認ください。同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函（切手不要）してください。なお、本調査の結果は11月下旬に「とりネットホームページ」に掲載予定です。

性別	年代別	間3-6.鳥取県内の暮らしについて⑥地域の治安が良 いと感じている		間3-7.鳥取県内の暮らしについて⑦子育て支援が充 実している		間3-8.鳥取県内の暮らしについて⑧医療や介護の 体制が充実している		間3-9.鳥取県内の暮らしについて⑨子どもの教育環 境が充実している		間3-10.鳥取県内の暮らしについて⑩ストレスなく 日常生活を送ることができている	
		そう思う （はい）	そう思わ ない（いい え）	そう思う （はい）	そう思わ ない（いい え）	そう思う （はい）	そう思わ ない（いい え）	そう思う （はい）	そう思わ ない（いい え）	そう思う （はい）	そう思わ ない（いい え）
全体(1642)		66.8	28.0	67.7	32.3	67.7	32.3	67.7	32.3	67.7	32.3
男性(891)		67.6	26.8	67.6	32.4	67.6	32.4	67.6	32.4	67.6	32.4
女性(676)		66.2	29.3	67.7	32.3	67.7	32.3	67.7	32.3	67.7	32.3
その他(33)		66.7	27.3	67.7	32.3	67.7	32.3	67.7	32.3	67.7	32.3
無回答(42)		66.7	19.0	7.1	7.1	11.9	11.9	26.2	26.2	52.4	52.4
18～19歳(44)		79.5	15.9	4.5	4.5	56.8	40.9	2.3	2.3	52.3	38.6
20～29歳(162)		69.1	23.5	5.6	19.0	40.1	48.1	9.9	1.9	40.7	44.4
30～39歳(180)		66.7	29.4	3.9	43.3	45.0	11.1	0.6	27.2	56.3	17.8
40～49歳(249)		67.1	28.5	4.0	45.0	43.8	10.8	0.4	33.3	53.0	9.6
50～59歳(284)		67.0	27.1	3.2	39.4	52.8	5.6	2.1	34.9	62.0	9.9
60～69歳(441)		63.9	31.7	1.8	35.8	55.8	5.2	3.2	37.4	49.2	11.1
70歳以上(248)		65.9	26.5	3.5	44.1	47.0	5.2	6.0	48.2	40.6	6.8
無回答(33)		63.6	21.2	6.1	30.3	54.5	15.2	15.2	21.2	54.5	12.1
18～19歳(17)		88.2	5.9	5.9	64.7	35.3	41.2	58.8	41.2	64.7	35.3
20～29歳(65)		66.2	24.6	4.6	29.2	55.4	10.8	4.6	18.5	56.5	18.5
30～39歳(73)		64.4	28.8	6.8	41.1	45.2	12.3	1.4	30.1	57.5	20.5
40～49歳(109)		60.9	30.7	0.9	37.6	49.5	11.9	0.9	37.6	51.4	10.1
50～59歳(110)		63.3	32.7	5.5	38.2	64.3	9.2	0.9	28.2	59.1	12.7
60～69歳(202)		69.3	25.7	2.5	36.1	53.0	6.4	4.5	40.1	45.0	11.4
70歳以上(115)		68.7	24.3	0.9	39.1	48.7	5.2	7.0	50.4	35.7	6.1
18～19歳(26)		73.0	23.1	3.8	63.8	46.2	7.7	48.2	46.2	48.2	43.3
20～29歳(93)		71.0	22.6	1.1	46.2	44.1	9.7	25.8	46.2	44.1	10.8
30～39歳(97)		67.0	30.9	2.1	44.3	47.4	8.7	22.7	61.3	14.4	1.0
40～49歳(128)		64.8	28.7	5.5	55.1	38.3	8.6	28.9	39.4	9.4	0.8
50～59歳(171)		74.3	23.4	1.8	47.4	44.4	5.3	2.9	38.8	50.3	9.9
60～69歳(200)		59.1	1.3	35.7	58.3	3.9	2.2	35.7	52.6	10.4	1.3
70歳以上(131)		64.1	28.2	4.6	44.3	45.8	5.3	4.6	32.1	53.4	6.1
18～19歳(1)		100.0	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-
20～29歳(3)		66.7	33.3	-	66.7	33.3	-	-	66.7	33.3	-
30～39歳(8)		75.0	25.0	-	50.0	12.5	37.5	-	25.0	37.5	-
40～49歳(11)		63.6	18.2	-	18.2	54.5	27.3	-	27.3	63.6	9.1
50～59歳(2)		50.0	50.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-
60～69歳(7)		71.4	28.6	-	28.6	57.1	14.3	-	71.4	28.6	-
70歳以上(1)		100.0	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-
無回答(42)		66.7	19.0	7.1	35.7	50.0	2.4	11.9	26.2	52.4	11.9
東部(856)		64.2	29.7	4.1	44.2	45.6	7.8	2.4	33.2	51.8	12.5
中部(281)		70.8	24.6	2.1	50.5	40.9	6.0	2.5	36.7	49.8	11.4
西部(571)		67.5	28.2	3.1	12.1	36.8	53.4	7.2	27.2	42.0	8.9
無回答(34)		70.6	17.6	5.9	35.3	52.9	14.7	11.8	20.6	45.8	8.8

性別	年代別	間4.鳥取県に暮らし、あなたは今の程度(「幸せ」)ですか		間5.あなたの「幸福度」を判断するときに、重視することは(いくつでも)		間6.あなたの「幸福度」を判断するときに、重視することは(いくつでも)		間7.あなたの「幸福度」を判断するときに、重視することは(いくつでも)		間8.あなたの「幸福度」を判断するときに、重視することは(いくつでも)		間9.あなたの「幸福度」を判断するときに、重視することは(いくつでも)		間10.あなたの「幸福度」を判断するときに、重視することは(いくつでも)		間11.あなたの「幸福度」を判断するときに、重視することは(いくつでも)		間12.あなたの「幸福度」を判断するときに、重視することは(いくつでも)											
		0「とても不 幸」	1	2	3	4「普通」	5	6	7	8	9	10「とても 幸せ」	無回答	家事の状況	就業の状況	自身の健康 の状況	自由な時間 (作業した 後)	仕事(学 校)の充実 した程度	精神的な ゆとり	趣味などの いきがい	家族関係	友人関係	職場(学 校)の人間 関係	地域コミュ ニティとの 関係	自己満足 (ほみやす さ)	その他	無回答		
全体(1642)		0.5	0.2	0.8	1.8	3.7	25.9	12.7	18.9	21.1	5.8	6.9	1.6	68.4	31.4	68.0	42.8	28.9	55.0	33.3	56.8	32.6	27.8	14.4	14.4	55.3	2.4	0.4	
男性(891)		0.6	0.3	1.2	2.6	4.2	23.3	13.9	19.1	22.1	4.3	5.4	1.9	62.1	29.4	68.0	42.0	27.8	47.3	38.2	48.5	26.2	22.4	16.1	16.1	52.0	3.0	0.4	
女性(676)		0.3	0.2	0.6	1.3	3.1	27.3	12.0	18.1	20.9	7.2	7.3	1.0	70.4	36.4	69.7	42.4	30.3	59.3	29.6	54.0	35.4	32.3	13.6	13.6	55.1	1.8	0.2	
その他(33)		-	-	-	3.0	9.1	42.4	9.1	16.1	12.1	14.3	2.4	9.1	55.4	36.2	64.3	26.6	44.4	30.3	46.3	21.2	63.6	16.2	33.3	3.0	63.8	3.0	0.8	
無回答(42)		2.4	-	-	3.0	4.8	48.2	13.8	20.8	14.3	2.4	11.1	7.1	55.4	36.2	64.3	26.6	44.4	30.3	46.3	21.2	63.6	16.2	33.3	3.0	63.8	3.0	0.8	
18～19歳(44)		-	-	2.3	2.3	1.9	18.2	13.8	15.9	22.7	2.6	2.6	2.0	55.3	45.2	68.6	50.0	32.3	39.1	35.1	54.0	25.2	24.9	14.3	14.3	43.0	4.8	4.8	
20～29歳(162)		0.6	-	2.3	5.3	1.9	20.8	15.8	19.2	24.8	6.2	6.2	2.8	58.3	43.3	68.6	50.0	32.3	39.1	35.1	54.0	25.2	24.9	14.3	14.3	43.0	4.8	4.8	
30～39歳(180)		0.6	-	0.1	2.4	1.1	23.3	15.8	20.8	24.8	2.6	2.6	2.8	58.3	43.3	68.6	50.0	32.3	39.1	35.1	54.0	25.2	24.9	14.3	14.3	43.0	4.8	4.8	
40～49歳(249)		0.8	-	0.4	2.4	1.4	19.7	13.3	20.1	21.3	4.0	4.0	2.8	58.3	43.3	68.6	50.0	32.3	39.1	35.1	54.0	25.2	24.9	14.3	14.3	43.0	4.8	4.8	
50～59歳(284)		0.7	0.2	1.4	3.2	4.2	21.5	12.3	17.6	19.2	10.2	10.2	2.5	75.7	44.4	72.5	40.1	36.3	56.7	33.8	52.3	26.9	32.7	12.7	12.7	50.7	3.5	3.5	
60～69歳(441)		0.7	0.2	0.9	2.7	2.7	28.6	12.9	20.4	16.5	22.5	4.4	6.8	60.2	13.3	70.7	33.3	20.2	51.0	28.6	59.2	30.6	15.2	17.0	61.5	2.4	2.4		
70歳以上(248)		0.4	0.4	0.4	0.8	3.6	32.9	10.4	16.5	22.5	3.0	3.0	6.1	61.4	24.2	71.1	35.3	21.2	41.4	29.7	52.6	34.5	23.2	18.5	63.5	2.4	1.2		
無回答(33)		-	-	-	6.1	24.2	15.2	17.6	23.5	15.2	3.0	3.0	6.1	61.4	24.2	71.1	35.3	21.2	41.4	29.7	52.6	34.5	23.2	18.5	63.5	2.4	1.2		
18～19歳(17)		-	-	-	5.9	23.5	17.6	23.5	17.6	17.6	-	11.8	11.8	41.2	11.8	41.2	52.9	35.3	35.3	41.2	5.9	23.5	17.6	11.8	41.2	11.8	41.2	5.9	5.9
20～29歳(65)		1.5	-	4.6	3.1	1.5	32.3	15.4	12.3	20.0	4.6	4.6	3.1	50.8	47.7	67.7	36.9	55.8	55.8	40.0	32.3	35.4	10.8	36.5	15.1	15.1	31.1	3.1	3.1
30～39歳(73)		-	-	1.4	5.5	1.4	17.8	16.4	19.2	26.0	2.7	9.6	38.4	42.5	58.4	24.7	50.7	38.4	43.8	32.9	39.4	43.8	32.9	35.4	12.3	46.6	2.7	2.7	
40～49歳(109)		0.9	-	2.8	9.2	2.8	16.5	14.7	20.2	21.1	4.6	6.4	2.8	63.3	26.6	64.1	48.5	40.4	45.0	38.4	43.1	25.7	29.1	17.4	46.8	1.8	1.8		
50～59歳(110)		-	0.9	2.7	4.5	4.5	20.9	14.5	20.8	18.2	5.5	4.5	3.6	73.6	41.8	69.1	35.5	39.1	35.5	36.1	51.8	23.6	24.9	13.6	48.1	5.5	5.5		
60～69歳(202)		1.0	0.5	2.7	1.5	3.0	24.3	13.9	20.8	21.8	5.4	6.4	1.5	58.4	25.2	74.3	33.2	20.3	48.0	35.1	54.0	25.2	24.9	18.8	57.9	4.0	4.0		
70歳以上(115)		-	-	-	0.9	4.3	28.7	9.6	17.4	27.0	3.5	7.8	0.9	58.3	13.9	67.8	33.0	13.9	35.7	32.2	54.8	23.5	23.5	7.8	20.0	61.7	1.7	0.9	
無回答(42)		-	-	-	3.8	3.8	15.4	-	19.2	26.9	15.4	11.5	30.8	57.7	34.6	46.2	61.5	30.8	32.2	65.4	50.0	65.4	50.0	11.5	57.7	3.8	3.8		
18～19歳(26)		-	-	-	1.0	2.2	1.0	26.8	12.9	20.4	7.5	8.6	1.1	77.3	46.4	61.3	69.9	44.1	66.8	50.0	65.6	49.2	39.2	52.6	16.5	45.2	2.2	2.2	
20～29歳(93)		1.0	-	1.0	1.0	2.0	25.8	15.5	22.7	23.7	3.1	4.1	1.0	77.3	46.4	61.3	69.9	44.1	66.8	50.0	65.6	49.2	39.2	52.6	16.5	45.2	2.2	2.2	
30～39歳(97)		0.8	-	1.6	7.0	21.1	12.5	19.5	22.7	3.9	10.2	10.2	2.8	75.8	39.1	73.4	44.5	43.0	56.3	28.6	67.2	29.7	49.2						

性 別	年 代 別	間8-1. 男女に関する役割：①職業として家事が女性の役割になっていると思う				間8-2. 男女に関する役割：②職業として子育てが女性の役割になっていると思う				間8-3. 男女に関する役割：③職業として介護が女性の役割になっていると思う				間8-4. 男女に関する役割：④学校教育の場において男女差はないと思う											
		そう思う	どちらかど う思はない	わからない	無回答	そう思う	どちらかど う思はない	わからない	無回答	そう思う	どちらかど う思はない	わからない	無回答	そう思う	どちらかど う思はない	わからない	無回答								
全体(142)		437	60	48	10	12	88	51	12	14	300	16	274	346	195	10.1	66	18							
男性(69)		336	85	12	09	252	530	114	14	10	174	42	329	315	188	11.1	43	13							
女性(73)		521	404	43	18	07	453	68	27	08	397	427	100	37	26	8.8	78	15							
その他(3)		455	424	91	30	303	91	121	30	364	424	91	121	152	182	27.3	82	-							
無回答(42)		357	353	48	24	48	190	24	24	190	285	357	119	48	190	286	143	7.1	95	190					
1.8～1.9歳(44)		407	432	68	23	500	318	68	58	44	273	341	159	136	386	285	182	11.4	23	-					
2.0～2.9歳(102)		477	469	56	43	12	384	463	62	74	19	95	420	173	222	315	210	154	74	25					
3.0～3.9歳(209)		422	472	50	56	-	353	528	83	50	-	272	408	156	111	50	206	156	84	-					
4.0～4.9歳(289)		398	438	38	64	20	472	482	86	84	22	269	428	157	108	56	04	221	361	209	64				
5.0～5.9歳(284)		511	394	46	42	04	405	453	83	39	07	377	419	159	46	246	360	208	93	63	14				
6.0～6.9歳(441)		458	410	68	43	04	383	487	83	38	11	383	420	136	83	237	371	179	47	61	44				
7.0歳以上(249)		384	384	64	48	12	382	494	82	60	32	323	462	158	80	341	177	177	47	61	44				
無回答(33)		353	294	61	176	59	454	61	176	30	162	342	158	212	303	182	116	50	91	182	-				
1.8～1.9歳(17)		323	482	46	92	31	252	470	62	138	18	343	374	52	294	176	142	116	50	91	182				
2.0～2.9歳(65)		363	482	31	15	13	262	470	62	138	18	343	374	52	294	176	142	116	50	91	182				
3.0～3.9歳(10)		248	482	95	119	18	-	211	158	57	184	32	137	374	202	44	203	293	154	205	68	8			
4.0～4.9歳(108)		382	482	82	73	3	-	255	555	118	64	4	38	482	284	82	27	09	309	365	216	64	3		
5.0～5.9歳(111)		556	345	23	23	06	0.6	503	404	53	23	12	0.6	480	374	88	23	12	211	388	193	70	82		
6.0～6.9歳(200)		530	387	48	22	04	0.9	387	478	78	48	04	0.4	422	345	78	43	2.8	257	386	174	70	86		
7.0歳以上(131)		481	455	31	23	08	1.8	489	61	23	15	3.8	450	420	84	0.8	0.8	321	328	321	168	3.8	53		
1.8～1.9歳(1)		1000	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	1000	
2.0～2.9歳(3)		333	667	-	-	-	-	333	333	-	-	-	333	667	-	-	-	-	333	667	-	-	-	1000	
3.0～3.9歳(8)		625	375	-	-	-	-	500	375	-	-	-	375	500	-	-	-	-	500	375	-	-	-	125	
4.0～4.9歳(11)		455	364	-	-	-	-	545	273	-	-	-	545	455	-	-	-	-	500	500	-	-	-	182	
5.0～5.9歳(2)		500	500	-	-	-	-	500	500	-	-	-	500	500	-	-	-	-	500	500	-	-	-	500	
6.0～6.9歳(7)		286	429	-	-	-	-	286	429	-	-	-	429	286	-	-	-	-	429	429	-	-	-	143	
7.0歳以上(1)		1000	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	
無回答(66)		357	333	48	24	48	190	500	71	24	24	190	286	357	119	143	190	286	357	119	143	190	286	357	
東部(66)		428	72	52	09	335	485	98	61	11	282	419	149	95	40	15	255	212	110	73	15	15	15	15	
中部(281)		409	327	46	46	07	278	404	50	50	10	287	438	192	62	21	285	352	214	78	60	60	60	60	
西部(671)		462	411	55	48	12	386	469	73	45	13	329	414	140	72	33	12	288	361	170	104	60	60	1.8	
無回答(34)		324	441	59	-	-	-	176	559	88	-	-	295	382	176	-	-	-	294	206	-	-	-	88	14.7

性 別	年 代 別	間8-5. 男女に関する役割：⑤健康の機会に男女差はないと思う				間8-6. 男女に関する役割：⑥労働環境、待遇に男女差はないと思う				間8-7. 男女に関する役割：⑦身体的立場や地位は男女とも平等だと思う				間8-8. 男女に関する役割：⑧性別に関係なく個人が預ける仕事になっていると思う										
		そう思う	どちらかど う思はない	わからない	無回答	そう思う	どちらかど う思はない	わからない	無回答	そう思う	どちらかど う思はない	わからない	無回答	そう思う	どちらかど う思はない	わからない	無回答							
全体(142)		105	228	343	263	43	17	82	172	37	16	321	298	33	18	59	221	364	272	71	13			
男性(69)		130	324	274	274	30	12	104	175	36	29	310	269	26	13	68	236	342	269	55	10			
女性(73)		79	253	369	255	49	14	59	170	39	41	10	92	156	382	318	255	212	382	261	82	11		
その他(3)		91	152	303	394	61	14	91	152	303	424	30	333	455	61	30	182	242	424	121	-			
無回答(42)		262	119	167	167	95	190	95	238	262	71	167	167	214	71	167	119	190	429	95	48	119		
1.8～1.9歳(44)		227	273	182	182	91	182	205	273	321	114	167	167	214	71	167	119	190	429	95	48	119		
2.0～2.9歳(102)		123	191	315	290	68	12	105	160	352	51	56	12	136	205	309	346	43	12	80	278	309	198	123
3.0～3.9歳(209)		100	256	294	300	50	37	89	189	317	32	32	32	361	317	32	0.8	4.6	61	339	261	283	56	0.9
4.0～4.9歳(289)		104	259	329	329	40	10	100	161	349	361	28	-	124	149	389	317	32	0.8	4.6	61	339	261	283
5.0～5.9歳(284)		74	250	384	254	32	0.6	46	197	398	327	25	0.7	113	190	359	303	21	1.4	4.6	232	335	304	60
6.0～6.9歳(441)		95	222	372	249	45	16	63	147	413	317	39	2.0	136	177	356	295	25	1.1	4.1	154	435	304	57
7.0歳以上(249)		112	233	386	213	16	40	88	193	382	269	32	3.6	133	229	317	233	44	4.4	8.4	181	386	249	76
無回答(33)		529	176	152	235	59	212	152	121	118	118	176	118	152	61	152	61	152	61	152	61	152	61	152
1.8～1.9歳(17)		185	154	200	369	77	15	138	138	292	323	77	31	200	138	277	323	31	31	123	308	277	200	62
2.0～2.9歳(65)		96	260	301	288	58	-	110	205	288	384	14	-	178	192	274	342	14	-	110	384	192	301	14
3.0～3.9歳(10)		147	239	266	321	28	-	119	202	339	312	28	-	165	229	321	248	28	-	46	248	413	202	92
4.0～4.9歳(108)		100	236	418	218	18	0.9	45	218	418	309	312	2.3	102	86	414	359	31	0.8	5.3	250	320	313	55
5.0～5.9歳(111)		124	213	337	282	25	20	84	119	401	351	25	2.5	20	163	208	287	307	25	1.0	5.0	129	396	366
6.0～6.9歳(200)		87	278	400	209	09	1.7	104	243	383	200	35	3.5	35	139	304	322	174	35	2.6	7.0	270	357	252
7.0歳以上(131)		38	269	423	154	115	-	269	385	231	115	-	-	468	154	482	231	115	-	3.8	385	231	251	115
1.8～1.9歳(1)		66	204	409	237	54	1.1	86	172	297	290	43	-	75	194	344	344	43	-	5.4	269	344	194	140
2.0～2.9歳(3)		103	268	289	289	52	-	72	186	340	361	41	-	62	155	381	361	41	-	21	330	299	258	93
3.0～3.9歳(8)		70	234	328	320	47	-	86	141	359	391	23	-	102	86	414	359	31	0.8	5.3	250	320	313	55
4.0～4.9歳(108)		58	257	363	275	41	0.6	47	181	386	339	41	0.6	70	187	374	327	23	1.8	5.3	216	351	298	64
5.0～5.9歳(111)		61	235	400	230	61	1.0	426	300															

令和2年度「鳥取県の政策に関する県民意識調査」結果報告書
令和2年11月発行

【編集・発行】

鳥取県地域づくり推進部県民参画協働課
〒680-8570 鳥取市東町一丁目 220 番地

